

第八十四回 帝國議會
衆議院

大日本育英會法案外一件委員會議錄（速記）第四回

昭和十九年一月二十六日（水曜日）午前十時

十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小柳 牧衛君

理事柏原 幸一君 理事庄司 一郎君

理事永山 忠則君

池崎 忠孝君

黒田 巖君

坂本 一角君

高城 憲夫君

圖師 兼貳君

桶口 善右衛門君

眞崎 勝次君

水谷長三郎君

最上 政三君

八角 三郎君

遠山 多田 薩摩

暉男君 雄次君

堀内 一雄君

三木與吉郎君

森田重次郎君

山野 平一君

渡邊 泰邦君

出席國務大臣左ノ如シ

出席政府委員左ノ如シ

司法省刑事局長

文部大臣 子爵岡部 長景君

出席政府委員左ノ如シ

文部省總務局長

文部省專門教育局長

文部省國民教育局長

文部省教育局長

文部省科學局長

文部書記官

大東亞次官

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

大日本育英會法案（政府提出）

青年學校教育費國庫補助法中改正法律案（政府提出）

○小柳委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前日ニ引續キマシテ質疑ヲ御願ヒ致シマス——

○圖師委員 先日來同僚議員各位ノ質問ニ對スル政府ノ答辯ニ依リマシテ、文教ノ大體ノ點ニ付テハ、片鱗ナリトモ御意圖ノ存スル所ガ窺ハレタノデアリマス、又私ノ質問セント欲スル點モ、相當既ニ質問濟ミニナツテ居リマスルノデ、唯殘サレタ二、三ノ點ヲ簡單ニ御伺ヒシタイト思フノデアリマス、文相ハ昨日目下ノ狀態ニ於テハ、大東亞共榮圈ノ建設ノミナラズ、世界新秩序ノ建設ニ付テモ考慮ヲ要スル時期デアル、斯ウ御言明ニナツタノデアリマス、無論今日五、六歳ノ子供ニ向ツテモ、兄サンハ何處ニ行ツタカト言ヘバ、南方ニ行ツタ、斯ウ云フヤウナ時代デアル、東亞共榮圈ノ建設ハ無論ノコト、私共ハ將來ノ世界新秩序ノ建設ト云フコトヲ、モウ既ニ計畫的ニ御考ヘニナツテ然ベキ時期ニアラウト思ウテ居ルノデアリマス、此ノ見地カラ學制諸般ノ根本的仕組及ビ學科ノ種目、サウ云フコトニ對スル所ノ系統的ノ何カ御腹案デモ立ツテ居リマス

スレバ、片鱗デモ宜シウゴザイマス、或ハ御抱負ノ一端デモ宜シウゴザイマス、此ノ際御伺ヒ出來レバ非常ニ幸セト存ズル次第ニアリマス

○岡部國務大臣 御答ヘ申上ガマス、只今圖師君ノ仰セラレタ通リノ情勢デアルト考ヘマスルノデ、世界新秩序ノ建設ト云フコトニ付キマシテハ、先ヅヤハリ世界ニ關スル實情、又過去ニ於ケル歴史ト申シマスルカ、今日ノ情勢ノ由ツテ來ツタ所以ニ付テノ認識ヲ十分ニ持タセルコトガ、先づ先決デアルト考ヘマスルノデ、學校教科課程ニ於キマシテハ、サウ云フヤウナ點ヲ多分ニ取入レマシテ、十分ノ認識ヲ與ヘ、隨テ將來ニ對スル覺悟ヲ持タセルヤウニ教育指導ヲシテ參ル方針ヲ以テ、之ヲ各方面ニ取入レテ居ル次第アリマス

○岡部國務大臣 積角法文科系統ノ丁年ニ達シタル者ハ、軍ニ入ツテ幹部候補生トシテノ教育ヲ受ケルコトニナリマシタ、理工科系統ノ者ハ、軍ノ技術要員タルノ資質ヲ完備サセル爲ニ、學校ニ殘ツテ授業ヲ受ケリマス

○岡部國務大臣 積角法文科系統ノ丁年ニ達シタル者ハ、軍ニ入ツテ幹部候補生トシテノ教育ヲ受ケルコトニナリマシタ、理工科系統ノ者ハ、軍ノ技術要員タルノ資質ヲ完備サセル爲ニ、學校ニ殘ツテ授業ヲ受ケルコトニナツテ居リマスルノデ、入營ヲ直チニサセルカ、或ハ暫ク延期サセルカト云フ取扱ヒノ相違カラ、法文系ヲ輕視シテ居ルヤウナ誤解ヲ與ヘテ居リマスコトハ非常ニ遺憾ナコトデアリマシテ、決シテサウ云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居ルノデハアリマセヌノデ、法文系系統、理工科系統トモ兩々相俟ツテ國家ノ教育ヲ推進シテ行カナケレバナラヌコトハ勿論デアリマス、唯此ノ戰

ノデアリマスルカラ、將來ニテアリマス

○圖師委員 私ノ御尋ネシタイノハモウ少シ根本的ニ改組、改革ヲ要スル點ハナイカト云フコトヲ主トシテ御尋ネシタカツタノデアリマスガ、深クハ時間ノ關係モアリマスルノデ追究ハ致シマセス

次ニ此ノ法文系學校ニ付テコトヲ御伺ヒシタイノデアリマスガ、昨年デアリマシタカ御決メニナツタ閣議決定等コトハ、既ニ天下周知ノ事實デアリマス、非常ニ國民ガ將來ノ法文系ノ教育ニ付テ歸趣ニ迷ウテ居ルノデハナメカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、非常ニ父兄ノ人

心ガ安定ヲ缺イテ居ルヤウナ狀態デハナイ

付託議案
大日本育英會法案（政府提出）（第一四號）
青年學校教育費國庫補助法中改正法律案（政府提出）（第七號）
公立學校職員年功加俸國庫補助法（第一八號）
中改正法律案（政府提出）（第一八號）
公立學校職員年功加俸國庫補助法（第一八號）

來ニ對スル我が國ノ學問ノ體制ト致シマシテハ、法文科系統、理工科系統ト各、均衡ノ取レタ、而モ充實シタル教育ヲナシ、又總テノ學問、學術ノ振興ヲ圖ルト云フコトニ、後大イニ力ヲ用ヒナケレバナラスト考ヘテ居ル譯デアリマシテ、其ノ點ニ付テハ丁度好イ機會デアリマスカラ、此ノ席ヲ通シテ廣ク一般國民ニモ認識ヲ持タシ、又誤解ヲ解クヤウニシタイト考ヘテ居ル譯デアリマス

見地カラ考へマスルト、法文系が何モ科
技術ニ對シテ重イトカ、優先トカ云フコト
ハ考ヘマセヌケレドモ、現在以上ニ相當振
作作興シテ行ク御方針デ御進ミヲ願ヒタイ、
是ハ私ノ要望デゴザイマス
更ニ極ク切詰メテ簡單ニ申上ゲタイトと思
ヒマスガ、育英事業ニ付キマンシテ、全ク結
構ナ法案デアリマス、唯私ガコ、デーツ考
ヘタイコトハ、アノ育英會ノ法案ハ無論通
過致シマセウガ、左様致シマスルト是ト不
可分的ニ考ヘナケレバナラナイ問題ガアラ
ウト思フノデアリマス、今日ノ國民教育ノ
ヤリ方ハ、結論的ニ申セバ敢テ英才トカ、天
才トカ云フモノヲ發見シテ之ヲ育成スルト
云フヨリカ、詰リ一人ノ英才ヲ作ルヨリカ、
千人ノ普通人ヲ作ルト云フヤウナ建前ト見
ナケレバナラナイヤウナ劃一的學級組織ニ
ナツテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、一
方ニ育英ト云フ文字ヲ冠シテ天下ノ英才ヲ
育テ行ク、是ハ國家ノ要請上喫緊ノ要務
デアリマス、然ラバ是ト相隨伴シテ、國民
學校ノ所謂學級編成ト云フモノノ相當考ヘ
ル必要ガアルノデハナイカ、現在ノヤウナ
畫一主義デハ、折角天賦ノ才能ヲ持ツテ生
レタ兒童モ、芽生エル機會ガ殆ドナイノデ
アリマス、又之ヲ發見スルコトモ中々困難
デアリマス、ソコデ端的ニ申シマスルガ、
特別學級ト云フモノヲ一つ御設置ニナル御
用意ハナイカ、ソレハ五人デモ十人デモ宜
イ、又サウ大シタ時間ハ要シナイ、毎日デ
ナクテモ宜イ、一週間ニ一、二回デモ宜イ
ノデアリマスガ、自由修學——自由ニ自分
ノ才能ヲ發揮スル機會ヲ與フルト同時ニ、
又學科ノ正科目ニ付キマシテモ進メルダケ
ハ進マシテ見ル、例ヘバ國民學校三年生ナ

ノ三年生ノ全能力ヲ發揮スレバ何處マニノクノデアルカ、四年、五年ニ匹敵スルダケノモノガナイトハ限ラナイト思フ、ザラニアルノデハナイカ、サウ云フコトヲ一面オヤリニナラナイト、將來育英事業デ育テ、行ク人間ヲ發見スル機會ガナイデハナイカト思フノデアリマス、大體其ノ點ニ付テノ御意見ヲ拜聽シタイ〇岡部國務大臣 教育ノ内容ニ付テノ、非常ニ適切ナル御質問ト考ヘルノデアリマスルガ、是ハ稍私見ニ瓦リマスケレドモ、今日ノ教育ガ動モスルト試験制度ト云フモノニ制約セラレマシテ、學校ニ於ケル教育ヲ受ケテ居ル間ニ、寧ロ得意ナモノニ對シテハ餘リ力ヲ用ヒズニ、不得意ナモノニ非常ニナツテシマヒマシテ、特長ガ發揮出來ナナ努力ヲ拂ハナケレバ試験ガ通ラナイト云フヤウナ缺陷ガアリハシナイカト考ヘルノデアリマス、隨テ今御話ノ通リノ畫一主義ニアリマス、同ジ教育ヲ受ケル間ニ不得意ナモノニ努力ヲシテ、或ル水準マデドウヤラ漕ギト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、固ヨリ軍付ケルト云フヨリハ、寧ロ得意ナモノニ力ヲ注イデ、其ノモノヲドンヽ伸バセルヤウナ教育方針ヲ採ツタ方ガ適當デハナイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、固ヨリ軍ノ方ニ入リマスル場合ノ要求モアリマスルシ、又國民ト致シマシテ、或ル程度ノ常識ハ固ヨリナケレバナラヌノデアリマスルガ、今御話ノ通り、特ニ優レタルモノノ大イニ伸バスクトノ出來ルヤウナ教育方針ヲ是非採ラナイト、國家全體トシテノ非常ニ損失テハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマステ、特ニ特別學級ヲ設ケルトカト云フコトニ付テハ、マダ具體的ノ研究ハ致シテ居リ

セラヤウナ教育方針ヲ採リ、社會ニ出テモ、又社會デ實際仕事ヲシテ行キマスル上ニ於テモ、各人ノ特長ヲ認メテ、其ノ人ガドン伸ビテ行クト云フヤウナ一般ノ考ヘ方ニナツテ行カナケレバ、今後ノ此ノ日本ノ發展ト云フモノニ對シテモ、中々十分ナコトハ出來ナイノデハナカラウカト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、御趣意ノアル所ハ全然御同感デアリマス、何トカ一ツサウ云フヤウナ方法ヲ篤ト研究シテ、教育ノ方面ニモ一ツノ新シイ行キ方ヲシテ行キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス

○圖師委員 モウ一ツ育英ニ關シマシテ御尋ネ致シマスルガ、私ハ昭和三、四年頃カラ、小サイ町デアリマスルガ、育英事業ヲヤツテ來タ體驗ヲ持ツテ居ルノデアリマス、今モ繼續シテヤツテ居リマスガ、私共大正八、九年頃カラ天下ノ英才ハ國家ノ寶デアル、是ハ國家デ教育スペキモノデアルト云フヤウナ見地カラ、盛ニ叫ンデ居ツタノデスガ、ソレガ幸ヒニ實現サレテ地方デ今ヤツテ居リマスルガ、唯憾ムラクハ甚ダ現狀ガ最初ノ豫想通りニ行カナイノデアリマス、ドウモ思ツタ程ノ英才モ得ラレナイ、英才ト云フコトハ學校ノ卒業ノ結果デスガ、ドウモ得ラレナイ、期待ガ外レルト云フヤウナコトガ多イノデアリマス、此ノ原因ハ何處ニアルカト申スト、先づ第一ハ事務的考ヘニアルト思フノデアリマス、豫算ガ幾ラアルカラ來年ハ何人出セル、其ノ何人ハ必ず得ナケレバ豫算ノ手前一寸世間體ガ悪い、又其ノ主任ノ人間モ、何ヲボンヤリシテ居ルカト云フヤウニ思ハレルコト

又之ヲ銓衡スル者ガ、民間ノ各方面カラモ是委員トシテ出テ居ルノアリマスガ、往々情弊トカ運動ト云フコトガ伴ツテ困ルノデアリマス、此ノ法案ハ極メテ良好ナ、我々ガ年來渴望シテ居ツタ法案デアリマスルガ、希望ムラクハ嚴選ト云フコトニ付テ、相當ノ御用意ヲシテ戴キタイトノアリマス、若シ是ガ、育英貸費ヲ受ケテ卒業シタ彼ノ成績ハドウダ、何等特色ハナイデハナイカト云フヤウナコトデ、世間ノ信頼ヲ失スルヤウナコトニナリマスルト、此ノ事業ノ將來ハ甚ダ憂フベキ結果ニナルノアリマス、延イテ此ノコトハ總テノ社會改良的ノ仕事ニ影響ヲ及ボシテ、國民ノ信頼ヲ失スル端緒ヲ開クヤウナコトニナリマスルト、國政運營上是レ亦非常ニ遺憾ナコトヲ招來スルノデハナイカト者ヘルノアリマス、私ハ斯様ニ考ヘテ居リマスルガ、曩ニ文相ハ此ノ法案ノ説明ニ付テ、一年ニ何人ト云フ内譯マデ御示シニナツタノデスガ、アレヲ何處マデモ、何人採ツテヤルノダト云フノデアリマスカ、アノ範圍ニ於テ嚴選ニ嚴選ヲ加ヘテ、若シナケレバ一人モ採ラナクテモ宜シイ、其ノ代リアレバアレ以上デモ構ハナイ、一定ノ標準ノ下ニ、相當人格ノアル所ノ銓衡委員ヲ置イテ、嚴選ニ嚴選ヲ加ヘテ、若シナ數ノ半數ニモ満タナケレバ、其ノ瀟タナイ程度デヤル、決シテアノ豫算ノ範圍内デ、何處マデモヤラナケレバナラナイト云フヤウナ、事務的感情ヲ一掃シテ御掛リニナル御決心ガアルカドウカト云フコトヲ、先ヅ以テ御伺ヒ致シテ置キタイト思ヒマス

○岡部國務大臣 只今ノ御質問、是レ亦全然御同感デアリマシテ、此ノ事業ニ依ツテ

補助ヲ受ケタ者ハ、將來其ノ中カラ優秀ナル者ガ多數輩出スルコト私ハ信ジテ居リマスルガ、苟クモ人選ヲ誤ツテ、サウ云フ結果ヲ得ラレナイト云フヤウナコトガアツテハ淘ニ申譯ナイコトデアリマス、育英會ノ事業ニ對シマシテハ、監督官廳トシテモノナラスト考ヘテ居リマス

○圖師委員 次ニ、主ニ國民學校ノ現狀ニ付テ申上げタイト思フノアリマスガ、第一ニ、倫理教育ト申シマセウカ、道德教育、詰リ德育ノコトデゴザイマスガ、德育ノ本旨ハ無論天下周知ノ通り、教育勅語ニ示サレタル德目ニ從ツテ國民ヲ鍛冶鍊成シテ行クト云フコトデ、此ノ點ニ付テヘ何等我々ガ彼此レ申上げル筋デハナイノアリマス、唯從來私ガ非常ニ私個人ノ感想カモ知レマセヌガ、遺憾ニ思フ點ヘ、折角此ノ德目ニ從ト云フヤウナコトガアツタヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、詰リ通俗ニ申セバ、偉人ノ前へ行ツタナラバ之ヲ少シ輕ク見テ向ヘ、ト云フコトデアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フヤウナコトハ、今ノ支那人ノ氣質風格カラ考ヘテ見テ、斯ウ云フコトガ非常ニ影響シテ居ルノデハナイカト私ハ考ヘルノセヌガ、遺憾ニ思フ點ヘ、折角此ノ德目ニ從ツテ修練サレタル所ノ青少年ガ、之ヲ盛ル器トシテ果シテ今日ノ時代、私共カラ見テ適當デアルカドウカツ十分デアルカドウカ、斯ウ云フ疑問ヲ得テ持ツノデアリマス、モウ既ニ大東亞共榮圈ノ宣言ハ世界ニ向ツテ發表セラレ、又一步進ンデ世界新秩序ノ建設ニマデ邁進シナケレバナラス、立働くナケレバナラスト云フ此ノ時代ニ於テ、我ガ国民ノ風格トカ、所謂氣質トカ、態度トカ、或ハ底力ノアル熱意ノアル上ニ、又悠揚追ラズト云フヤウナ點モアラウシ、世界各民族ヲ、場合ニ依レバ敵トシテモ避ケナイガ、併シナガラ各民族ヲ包容スル所ノ雅量ヲ持リニアル御考ヘハナイカドウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ御所見ヲ承リタイ

○岡部國務大臣 御趣意ノ點ハ是レ亦私ノ常ニ感ジテ居ル所デアリマシテ、氣字ノ大キイ而モ教養ノ高イ國民トナツテ、共榮圈ノ諸民族カラモ尊敬ヲ受ケ、信頼モサレルノ中心トシテノ推進ヲシテ行クコトハ困難ナコトデアルノデアリマシテ、是ハ勿論教

ヲ消極的、或ハ反省的、自省的ノ教育トセズシテ、此ノ御德目ヲ何處マデモ積極的ニ遂行スルニハドウ云フ性格ノ人間ヲ要スル結果ヲ得ラレナイト云フヤウナコトガアツテハ淘ニ申譯ナイコトデアリマス、育英會ノ事業ニ對シマシテハ、監督官廳トシテモノナラスト考ヘテ居リマス

○圖師委員 次ニ、主ニ國民學校ノ現狀ニ付テ申上げタイト思フノアリマスガ、第一ニ、倫理教育ト申シマセウカ、道德教育、詰リ德育ノコトデゴザイマスガ、德育ノ本旨ハ無論天下周知ノ通り、教育勅語ニ示サレタル德目ニ從ツテ國民ヲ鍛冶鍊成シテ行クト云フコトデ、此ノ點ニ付テヘ何等我々ガ彼此レ申上げル筋デハナイノアリマス、唯從來私ガ非常ニ私個人ノ感想カモ知レマセヌガ、遺憾ニ思フ點ヘ、折角此ノ德目ニ從ト云フヤウナコトガアツタヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、詰リ通俗ニ申セバ、偉人ノ前へ行ツタナラバ之ヲ少シ輕ク見テ向ヘ、ト云フコトデアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フヤウナコトハ、今ノ支那人ノ氣質風格カラ考ヘテ見テ、斯ウ云フコトガ非常ニ影響シテ居ルノデハナイカト私ハ考ヘルノセヌガ、遺憾ニ思フ點ヘ、折角此ノ德目ニ從ツテ修練サレタル所ノ青少年ガ、之ヲ盛ル器トシテ果シテ今日ノ時代、私共カラ見テ適當デアルカドウカツ十分デアルカドウカ、斯ウ云フ疑問ヲ得テ持ツノデアリマス、モウ既ニ大東亞共榮圈ノ宣言ハ世界ニ向ツテ發表セラレ、又一步進ンデ世界新秩序ノ建設ニマデ邁進シナケレバナラス、立働くナケレバナラスト云フ此ノ時代ニ於テ、我ガ国民ノ風格トカ、所謂氣質トカ、態度トカ、或ハ底力ノアル熱意ノアル上ニ、又悠揚追ラズト云フヤウナ點モアラウシ、世界各民族ヲ、場合ニ依レバ敵トシテモ避ケナイガ、併シナガラ各民族ヲ包容スル所ノ雅量ヲ持リニアル御考ヘハナイカドウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ御所見ヲ承リタイ

○岡部國務大臣 御趣意ノ點ハ是レ亦私ノ常ニ感ジテ居ル所デアリマシテ、氣字ノ大キイ而モ教養ノ高イ國民トナツテ、共榮圈ノ諸民族カラモ尊敬ヲ受ケ、信頼モサレルノ中心トシテノ推進ヲシテ行クコトハ困難ナコトデアルノデアリマシテ、是ハ勿論教ヲ消極的、或ハ反省的、自省的ノ教育トセズシテ、此ノ御德目ヲ何處マデモ積極的ニ遂行スルニハドウ云フ性格ノ人間ヲ要スル結果ヲ得ラレナイト云フヤウナコトガアツテハ淘ニ申譯ナイコトデアリマス、育英會ノ事業ニ對シマシテハ、監督官廳トシテモノナラスト考ヘテ居リマス

○圖師委員 能ク分リマシタ、之ニ關聯シマシテ私大變申シニクイコトデアリマスガ、是ハ天下一般トハ申シマセヌ、私ノ見聞スル範圍ニ於キマシテ、國民學校ノ教職員殊ニ校長ニ付テ、遺憾ヲ感ズル點ガ多々アルノデアリマス、詳シク申上げタクナイノデアリマスルガ、決シテ人間ノ惡イ人ハナ

蜀ヲ望ムノデヘアリマセヌガ、モウ少シ欲
直ニ忠實ニ御勤メヲナサツテ居ル、私共尊
敬ハ致シテ居リマスルガ、唯所謂隴ヲ得テ
シモナインデアリマス、惡ク申セバ、單ニ
時ノ權門清華ノ下ニ走ツテ學校ノ修理修
繕、校具ノ買入——後援會ト云フノガアリ
マスルカラ、ソレモ必要ナコトデアリマス
ガ、或ハ又自己ノ榮轉其ノ他昇進ト云フヤ
ウナコト、是ノミニ沒頭シテ居ルノデモア
リマスマイケレドモ、露骨ニサウ云フコト
ヲナサルヤウナ人ガ可ナリ私ハ多イヤウニ
思フノデアリマス、人間ノ本能力モ知レマ
セヌガ得テ長所ヨリアラガ分り易イノデ
アリマス、學校ノ校長先生ト申セバ、至尊
上御一人ニ次イデ生徒ノ爲ニハ偉イ方デア
ル、所ガ其ノ校長ガ、一縣會議員ガ來タ時
ニ草履ヲ揃ヘテ玄關ニ迎ヘル、斯ウ云フヤ
ウナコトデモ假ニ生徒ガ見テドウ云フウヤ
ナ感ジヲ持ツカ、斯ウ云フコトハ些々タル
コトデ、ソレハ場合ニ依ツテハ禮儀ノ一端
トシテサウ云フコトモアリマセウケレドモ、
度重ナルト、アノ無邪氣ナ生徒自身スラモ
校長ヲ輕ンズルト云フコトガアルノデアリ
マス、是デ果シテ先刻申上ゲマシタル大國
民タル所ノ雄大ナル氣宇ヲ持ツ日本臣民ガ
養ヘルカト思フノデアリマス、斯ウ云フ方
ニ任シテ、果シテ我々ノ念願スル所ノ大國
民ノ風格ト云フモノガ養成出來ルカドウガ、
此ノ點ヲ私ハ非常ニ心配ヲ致シテ居リマス、
皆ガ皆デナインデアリマスルカラ、是ハ極
端ナ例トシテ御考ヘニナツテモ宜シイノデア
リマス、此ノ點ニ付テハ昨日同僚議員ヨリ

モ御質問ガアツタヤウニ思ヒマスガ、一體此ノ校長先生ト云フモノハ、私共非常ニ重キヲ置イテ居ルノデアリマス、一般ニ重キヲ置クノデアリマスルガ、校長先生ガシツカリシテ居レバ、國民學校ノ教育ハ振作サレテ、根強イ帝國ノ基礎ガ大體出來上ルヤウニ考ヘテ居リマス、所ガ今申スヤウナ品位、風格ノ校長先生デハ、人格的ニ非常ニ憂慮ヲ禁ジ得ナイ、ソコデモウ少シ世間ニモ憤レ、世相ニモ通ジ、色々ナ經驗ヲ經テ居ル人ハ澤山アル、サウシテ人格高邁ナ人モアル、風格ノ世人ノ尊崇ニ值スル人モアリマスガ、サウ云フ人ヲ名譽校長ト云フモノデモ宜イト思フ、モウ少シ教育界ノ視野ヲ廣ゲテ、責任者ナラバドナタデモ宜イ、サウ云フ人ヲ迎ヘテ校長ニ据エテ、ソコノ學校ニ磐石ノ重ミヲ付ケテ、兒童ノ訓育ニ當ツタナラバ、非常ニ國民ノ品位、風格ニ影響スル所多大ナモノガアルノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスルガ、之ニ對シテノ御所見ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

ナケレバナラヌ問題デアラウカト考ヘテ居リマス、御説ノ通り経験モアリ、又人格ノ高イ色々ノ人ガ社會ニモ多イノデアルカラシテ、サウ云フ人ヲ採用シテ其ノ局ニ當ラシタラ宜クハナイカト云フ御意見、是モ御同感デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ既ニ閣議ニ於テモ、サウ云フ方針ヲ採ルコトニ決定致シマシテ、先般文部省令ヲ以テ、此ノ採用ノ範圍ヲ擴張シテ、今マデノヤウナ資格ノアル者、デナケレバ校長或ハ教員ニナレナイト云フ窮屈ナ制限ヲ多少緩和致シマシテ、經驗ノアル、德望ノアル人ハ、サウ云フ資格ガナクテモ採用出來ルト云フコトニ致シタ譯デアリマス、此ノ點ハ既ニ御期待ノ措置ヲ執ツテアリマスルノデ、今後ハ適當ノ人間ヲ選ンデ、教育界ニ招クト云フコトニシテ行キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス

マセヌガ、其ノ上司ガ其ノ上ニ取次ガナカツタノカモ知レマセヌ、只今私ハ校長先生等ニ付テ申シタコトガ、大體教育界ニサウ云フ眞ニ至誠ヲ貫遂スル勇氣ノナイ人ガ充チ滿チテ居ルノデハナイカ、是ガ抑、原因デヤナイカト私ハ痛感致シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點モ御考ヘ合セノ上、ドウカ少クトモ中等學校程度ノ教職員ニ至ルマデ、殊ニ國民學校ノ校長ニ付テハ深甚ノ御留意ヲ拂ツテ戴キタイ、是ハ私ノ希望デアリマス。

次ニ武道殊ニ劍道ノコトニ付テ簡単ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、私ハ其ノ方ノ専門家デモ何デモアリマセヌガ、之ニ付テハ相當ノ趣味ヲ持ツテ居リマスシ、又先輩ニモ聽イタ譯デアリマス、只今國民學校等ノ正科ニ採り入レラレテ、相當成績ヲ擧ゲツ、アルノデアリマス、殊ニ教師ノ養成ニ付テハ、ドウ云フ心構ヘツ持ツテ居ラレルノデアリマスカ、又現在ノ仕組ハドウナツテ居ルノカ、詳シク私ハ存ジテ居ラスノデアリマスガ、殊ニ教師ノ劍道ニ伴フ精神修養、鍛錬ト云フヤウナコトハドウナツテ居ルノデアリマスカ、申スマデモナク劍道ハ日本武士道ノ典型的ノ道デアリマス、所謂攻擊ノ一途アルノミ、受ケルトカ槻ストカ云フコトハ第二義、ソシテ劍ヲ抜ケバ正義ノ爲ニ抜ク劍デアル、正義ヲ貫徹スル爲ニハ敵ヲ斃シテモ已マナイ、其ノ喉笛マデモ止メヲ刺ス、非常ニ殘虐ノヤウデアリマスガ、正義ノ爲ニ抜イタ劍デアルカラ、正義ヲ貫徹スル爲ニハドウシテモ止メマデ刺サナケレバ

ヤクザ者トカ博徒トカ云フ者ガ果シ合ヒヲ
ヤツテ敵ヲ斃シテモ、其ノ作法トシテ止メ
ヲ刺スコトダケハ許サレテ居ナカツタ、所
ガ武士ガ一旦刀ヲ拔クト云フコトハ、是ハ
正義ノ爲メデアル、君ノ爲ニ拔キ國ノ爲ニ
拔ク、其ノ正義ノ一念ニ依ツテ拔クノデア
ルカラ、ソレヲ貫徹スルコトガ目的デアル、
當然止メヲ刺スベキモノデアル、斯ウ云フ
ヤウナコトノ一端ヲ考ヘマシテモ、如何ニ
剣道ガ日本武士道ノ精神ヲ端的ニ現ハシテ
居ル一ツノ技デアリ、道デアルカト云フコ
トガ分ルノデアリマス、是ハ私ハドコマデ
モ一日モ速カニ、盛大ニ此ノコトヲ全國ノ
兒童ニ普及徹底サシテ行カナケレバナラス
ト思フ、是ハ技ト云フヨリハ寧ロ私ハ精神
ニ重キヲ置クノデアリマス、今日軍隊ノ精
神、皆此ノ剣道ノ精神カラ行ツテ居ルノデ
アリマス、大勇ハ一劍ヲ頼マズト云フコト
ガアリ、又今日ノ戰爭技術カラ申セバ、劍
術ノ術ノ如キハ實際ニ役ニ立ツカ立タヌカ
知リマセヌガ、少クトモ剣道精神ト云フモ
ノハ、身體ヲ練リ、心ヲ練ルト云フ上カラ
行キマシテモ、個人ノ體育上輕視スベカラ
ザルト同時ニ、日本武士道ノ華トシテ、殆
ド理想的ノ道デアラウト私ハ思フノデアリ
マスガ、下ウ云フ風ニ此ノ教師ヲ現在養成
サレテ居ルノデアルカ、又其ノ養成科目ニ
付テ、精神的方面ヲドウ御扱ヒニナツテ居
ルノデアルカト云フコトヲ、御伺ヒシテ置
キタイノデアリマス

リノ氣持ヲ以チマシテ教員ノ養成ナリニ努メテ居リマス次第デゴザイマス、教員ノ養成ニ付テ申シマスナラバ、實ハ中等學校以上ノ武道教師ハ、特別ニ學校等ガゴザイマシテ養成ノ致シテ居リマス、國民學校ニ於ケル武道ノ教授ヲ致シマス者ハ、特ニ武道專門ノ教員ト云フモノハゴザイマセヌデ、一般ノ教員ノ中ニ適當ナ者ガ之ニ當ツテ居ルト云フ員ノ中ニ適當ナ者ガ之ニ當ツテ居ルト云フ實情デゴザイマス、中等學校以上ノ教員ヲ養成致シマス官立ノ各學校ニ於キマシテヘ、何レモ武道ト云フモノガ本來ノ精神的ナ部面ノ重要サニ鑑ミマシテ、單ニ武技ト申シマスカ、其ノ術技ノミヲ教ヘルト云フヤウナコトニ終始致シマセヌデ——勿論術技モ大事デゴザイマスカラ、是ニハ十分鍛磨ヲ致スヤウニ努メテ居リマスガ、同時ニ精神的ナ部面ノ訓育ト云フコトニ、大イニ力ヲ注イデ居ル次第デゴザイマス、同時ニ又武道ノ精神的方面ト申スノデハナイカモ知レマセヌガ、學校ノ教師トナルノデゴザイマスカラ、教育ノ根本義デアルトカ、倫理デアルトカ、或ハサウ云フ精神的ナ部面ニ關聯ノアルヤウナ學科等モ相當多量ニ加ヘマシテ、或ル意味カラ申シマスナラバ、武道ノ教師ニナルノニ斯ウ云フコトガコンデサヘル位ニ、ソレ等ノ科目等モ規定シテ、實施サセテ居ル次第アリマス、又中等學校以上ノ武道科ノ教員ニ付キマシテハ、既ニ教師トナリマシタ者モ、毎年文部省ノ主催ヲ以チマシテ、三週間ヅ、東京其ノ他ニ澤山入用デアラウカト云フ批評ヲスル人等ノマシテ、或ル意味カラ申シマスナラバ、武道ノ教員ニ付キマシテ講習會ヲ開キ、謂ハダ再教育、再訓練ト云フ機會ヲ設ケテ居ルノデアリマスガ、此ノ際ニ於キマシテモ、單ニ技ヲ修

練スルト云フバカリデナク、精神的ナ部面ノ修練ト云フコトヲ非常ニ重ンジテヤツテ居ル次第デアリマス、國民學校ノ教員ニ付キマシテハ先程申シマシタヤウニ、國民學校ノ教員全部ガ武道ノ指導ニ當ルト云フコトニナツテ居リマシテ、又國民學校ニ於ケル武道、剣道、柔道何レニ致シマシテモ、實ハ技ト云フ點カラ見マスト、極メテ簡單ナモノデアリマシテ、或ハ技ト云フ見地カラ見マスト、斯ウ云フモノハ大シテ意義ハナイデヤナイカト云フ批評ヲ受ケルカモ知レナイヤウナモノデゴザイマス、寧ロ之ヲ行フ際ノ精神的ナ訓練ト云フコトニ重點ヲ置イテ、科目内容モ既ニ定マツテ居リマス、次第デゴザイマス、之ヲ指導スルニ當リマシテノ教師ノ心構ヘト致シマシテハ、ソレ等ノ教師ガ師範學校ニ在學致シマス間ニ、師範學校ニ於テ受ケル教育ニ於テ、武道ノ修練ニ於キマシテヤハリ精神的ナ要素ヲ入レマシテ、又師範學校ニ於ケル武道ノ教授要目ノ中ニモ武道史デアルトカ、武道ノ本義デアルトカ云フコトノ講義講話等モ加ヘマシテ、十分精神的ナ方面ニ力ヲ入レルヤウニナツテ居リマスガ、同時ニ又既ニ國民學校ニ就任致シマシタ者ニ對シマシテモ、隨時講習會等ヲ開キマシテ、文部省ノ方カラ適當ナ者ヲ派遣致シ、講習、再教育等ヲ行フコトニナツテ居ルノデゴザイマスガ、イマス、大要左様ナ實情デゴザイマスガ、ソレ等ノ機會ニ於キマシテモ、常ニ精神的方面ノ重要ナコトヲ力説致シマシテ、此ノ方面ヘノ修練ニ努メテ居リマス次第デゴザソレ等ノ機會ニ於キマシテモ、常ニ精神的方面ノ重要ナコトヲ力説致シマシテ、此ノ方面ニ只今御話ノヤウナ御趣旨全ク御同感デゴザイマスノデ、一層之ニ努メタイト考へテ

○圖師委員 私ノ質問ハ終リマシタ
○八角委員 議事進行ニ付テ發言ヲ求メマス——昨日堀内君ノ質問ニ對シテ御約束ニナツタノデ、今日書キ物カ刷物デ御示シナルカト思ツテ待ツテ居リマシタガ、何ニモアリマセヌノデ、左ノ二點ヲ明カニシタガ、第一ハ問題ニナリマシタ「クラウン・リーダー」ノ訂正スル箇所ヲ今日ノ委員會ニ於テ御示シニナルト云フ御約束デアリマシタガ、マダ御示シニナリマセヌガ、其ノ箇所ヲ御示シ願ヒタイ、第二ハ此ノ問題ニナリマシタ所ノ英語教育ニ對シテ、各府縣ニ指示ヲサレタト云フコトデアリマシテ其ノ指示ノ内容、日時等ヲ質問ニナツタ筈デアリマスルガ、ソレヲマダ御示シニナリマセヌカラ、其ノ二點ヲ明カニセラレテ御質疑ヲ續行セラレンコトヲ望ミマス

○阿原政府委員 昨日申上ゲマシタ指示致シマシタ點ニ付テ先づ申上ゲタイト思ヒマス、昨年ノ五月十七日、十八日ノ兩日ニ瓦マシテ、道府縣ノ教科書、主任者ノ參集ヲ求メマシテ、霞山會館デ昭和十九年度ニ使用致スペキ中等學校等ノ教科書ニ關スル事務ノ打合會ヲ開催致シタノデアリマス、其ノ席上、注意事項ノ一つ致シマシテ、昭和十九年度使用ノ教科書圖書修正ニ關スル件トシテ指示ヲ致シタノデアリマス、同時ニ既ニ生徒ガ十八年度ニ買ツテ居リマスル英語ノ教科書ニ關シマシテモ、此ノ點ニ付キマシテ同様ノ注意ヲ與ヘマシテ、殊ニ取扱上注意ヲ致シテ教授スルヤウニ、其ノ時ニ指付キマシテハ、卷ノ一ト卷ノ二ハ十九年度付

第六類第四號 大日本育英會法案外一件委員會議錄 第四回

第四回 昭和十九年一月二十六日

ニ於キマシテハ、從來使ツテ居リマシタ教科書ヲ使用セシメマセヌデ、新タニ中等敎科書株式會社デ編纂シマシタ教科書ヲ使用サスコトニナツテ居リマス、ソレ以外ノ卷ノ三、卷ノ四、卷ノ五ニ付キマシテハ、親米、親英的氣分ヲ醸セヤウナ文章、米英ノ物質文明ヲ謳歌スルヤウナ記事、米英人ノ日本ヲ蔑視スルヤウナ感ヲ與ヘルヤウナ文章、斯様ナ點ニ付キマシテ改メマシテ遺憾ノチイヤウニ致シタイ、斯様ニ考へテ居リマス、問題ニナリマシタ國歌ハ卷ノ二デゴザイマシテ、是ハ使用セシメナイコトニ相成ツテ居リマス

○八角委員 昨日私竝ニ同僚最上委員カラウ云フ所ヲ削除スルトカ、ソレカラドウ云フ點ヲ止メルトカ云フ具體的ノ箇條ヲ伺ヒタイト云フヤウナ御質問ノヤウニ思ツテ居リマシタガ、堀内君カラ其ノ點ヲ明カニシテ御質疑ヲセラレタイト思ヒマス

○堀内委員 昨日私竝ニ同僚最上委員カラノ質疑ハ、次ノヤウニ承知シテ居リマス、私ノハ「クラウン・リーダー」其ノ他現在使用シテ居リマスル英語ノ教科書ノ中デ、削除セラレマスルモノハドウ云フ點デアルカ、ソレハ今ノ御話デ一、二巻ダケハ全部止メテシマツテ、アトハ全部削除モシナイ、手モ入レナイト云フ風ニ承ツタノデアリマスガ、果シテ三巻以後ハ何モサウ云フ風ニ手ノモノニ對シテモサウ云フヤウナ點ガアルト思フガ、其ノ點ヲ一緒ニ示シテ戴キタイ、斯様ニ御願ヒシタヤウニ思ツテ居リマ

○最上委員 私ノ昨日申シタノハ、只今堀内委員ガ言フ通り、他ノ中等教科書竝ニ其ノ他ノ教科書ノ中ニ、英米崇拜ノ文章ノミナラズ、特ニ私ハ、大東亞共榮圈内ニ於ケル友好關係ヲ結ンデ居ル諸獨立國ニ對シ、動モスルト之ヲ輕蔑スルガ如キ感ヲ抱ク文章ガアルカニ承知シテ居ルノデアリマス、又散見シテ居ルノデアリマス、是等ニ付テ如何ニ御取計ラヒニナルカト云フコトヲ御聽キシタノデアツテ、是等モ同時ニ速カニ削除或ハ訂正セラレルヤウナ御意同ガアリマセウカ、伺ヒタノデアリマス

○阿原政府委員 先程堀内サンカラ御話ノアリマシタ卷ノ三、卷ノ四、卷ノ五ニ付キマシテモ、只今申上ゲマシタ點ニ付キマシテ削除致シテ居リマス、例ヲ舉ゲテミマス、卷ノ三ノ中ニ「ペリー」ノ寫眞ヲ掲載シマシテ、日本ノ開國ノ話ヲ載セタ記事ガ載ツテ居リマス、又「ロンドン」ヲ禮讚シタヤウナ記事モ載ツテ居リマス、斯ウ云フモノハ削除致シテ居リマス、ソレカラ卷ノ四ニ於キマシテモ、英國ノ英國魂ト申シマスカ、サウ云フモノヲ謳歌シタ文章ガ載ツテ居リマス、是モ削除致シテ居リマス、ソレカラ卷ノ五ニモ、英語ノ效用ヲ非常ニ誇張シテ書イタモノガゴザイマスノデ、教授上面白クナイト云フコトデ、是モ削除致シテ居リマス、尙又卷ノ四ト同様ニ、英國魂ヲ謳歌スルヤウナ歌ガゴザイマスノデ、是モ削除致シテ居リマス

慥カ三ノ卷デアリマスルガ、ソレニ「ニユーヨーク」ノ話モ出テ居リマス、ソレカラ「ロンドン」ノ歌モアリマス、其ノ外私共ガ見テドウカト思フヤウナモノガ相當アル、同時ニ私ハ此ノ際、昨日モ申シマシタガ、時局ニ鑑ミテ、宣戰ノ大詔デアルトカ、東洋共榮圈確立ニ關スル根本理念デアルトカ、大東亞宣言デアリマストカ、今度ノ戰史ニ關シマシテ國民教育上ニ参考ニナルヤウナモノハ、日本ノ「ニッポンタイムス」其ノ他ニモ載ツテ居ツタ資材等モアルノデアリマスカラ、サウ云フモノモ補足資材トシテ御利用ニナリヤウニ御願ヒ申シタイト存ズルノデアリマス、サウ云フコトニ對シテ御用意ガアリマスルカ

○阿原政府委員 只今ノ點尙ホ能ク調べマシテ、十分ニ検討シタイト思ツテ居リマス、又事情ガ許スナラバ、補足的ナモノヲ教材トシテ使用セシメルト云フコトニ付キマシテモ、十分注意ヲ興ヘタイト思ヒマス

○最上委員 英語以外ノモノハ如何デセウカ
テ申上げマス

○堀内委員 尚ホ只今ノ御話ノ八角委員ニ對スル御答辯ノ中ニ、十九年度ノ事務打合會ノ御話ガアリマシタガ、昨日モ申上げマシタヤウニ、此ノ問題ハ斷然タル御處置ヲ執ツテ戴クト云フコトニナリマセスト、一般ノ國民ノ中ニモ相當問題ニナツテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テ、責任ノ歸趨ト云ツタヤウナコトニ付テ

一寸申スノデアリマスガ、昭和十九年度ノ英語ノ教育ニ關スル指示ノ内容ハ、私今ノ程度デ具體的ニドウ云フコトガアツタカ分リマセヌガ、若シ十分ニ指示シテアルニ拘ラズ、各縣、各學校等ニ於テ、特ニ特別ナ處置ヲ執ラズニ教育ヲシテ居ツタト云フコトニナリマスルト、其ノ責任ハ地方廳竝ニ學校ニ移ル譯デアリマスルガ、斯ウ云フヤウチコトニ付キマシテ、今日マデ御監督ノ見地カラ御調査ニナツタ結果ハドンナヤウニナツテ居リマスルカ、其ノ邊ヲ一寸御伺ヒ致シタイ

○阿原政府委員 私マダ關係致シマシテ日ガ淺イモノデアリマスカラ、詳シイコトハ聽イテ居リマセヌガ、尙ほ能ク其ノ點ハ責任ヲ持ツテ調べタイト思ツテ居リマス

○堀内委員 重ネド申スノデアリマスガ、思想ノ中心デアリマスル文部省ニ於キマシテ、苟且ニモ責任逃レ的ナヤウナコトガアリ、若シ誤解デモ起ルヤウナ態度ニナラレマスルト、各縣竝ニ各學校ノ當局者ト云ツタヤウナ關係ニ於テ、非常ニ問題ニナルノデヤナイト思ヒマスノデ、申スマデモナイコトデアリマスガ、サウ云フ間違ヒガ又起リマスト困リマスカラ、其ノ點十分御留意ノ上、嚴重ニ御調査ニナツテ、此ノ弊害ヲ除クヤウニ願ヒタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○多田委員 關聯シテ居リマスシ、昨日ノ問題モアリマスカラ一寸……昨日堀内君カラ思想上ノ問題ハ極メテ重要ナ事柄デアル、而モ文部省ハ責任ヲ持ツテ之ヲ取扱ツテ居ラレルト言明シテ居ルノデアリマスガ、事ハ極メテ重大デモアリマスシ、其ノ他伺ヒタイコトモアルノデ、總理大臣ニ此ノ席ニ

御出席ヲ願ツテ我々ノ質問ヲシタ、斯ウ云フ提案ヲシテアルノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付テ委員長カラドウ云フ手續ヲ執ラレテ居リマスカ、又ドンナ状況ニナツテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○小柳委員長 昨日堀内君カラ思想戦ニ關シテ統一シタ機関ガ欲シイト云フヤウナ提案ガアリ、總理大臣ノ出席ヲ要望サレタノデアリマシテ、直チニ交渉シタノデアリマスガ、今日ハドウモ外ノ委員會等ノ關係デ時間ノ都合ガ付カナイ、殘念ナガラ斯ウ云フ回答デアリマシタ

○多田委員 今日ハオイデニナラスト云フコトデアリマスケレドモ、總理大臣ハ何モ豫算總會ダケニ踏ミ止マツテ意見ヲ聽カナケレバナラスト云フ譯ノモノデモアリマスマイシ、斯ウ云フ戰時下デアルカラ、私共モ手間ヲ取ラセマセヌカラ、短時間デ宜シイカラ、出來ルダケコチラヘモ御出席願ヒタイ、文部大臣モ勿論豫算總會ノ方へ時々行カレテ質問ヲ受ケテ居ラレルノデアスカラ、此ノ意味ヲ參酌サレマシテ、是非御出席下サルヤウニ、重ネデ委員長カラ交渉サレンコトヲ希望致シマス

○小柳委員長 薩摩君

○薩摩委員 私ガ大臣ニ質問シタイト思ヒマスルコトハ、多クノ委員ガ大體色々ノ角度カラ質問ヲシタヤウデアリマスルガ、マダ残ツテ居リマスル點ト、特ニ私ハ私衬衫テノ角度カラ質問ヲ致シタイト思ヒマスル點ガ三、四點アリマスノデ、ソレヲ質問致シマス、時間ノ關係上マダ後ニ多クノ質問者モアルヤウデアリマスカラ、簡單ニ一、二、三、四ト云フ風ニ分ケテ質問ヲ申上げマスカラ、ソレヲ御忘レノナイヤウニ簡單

ニ御答辯ヲ御願ヒ致シマス

第一ハ法案ニ關スルコトデアリマス、大點デアリマスルガ、今回文部省カラ提案サス、其ノ疑點ハ大日本育英會法案ノ發生シタ其ノ主ナル目的、原因ト云ヒマスカ、「ロジヤ」ニ於ケル育英會、「ドイツ」ニ於ケル育英會、サウ云フヤウナコトガ日本ニ非常ニ流布サレテ、其ノ結果遲鈍ナガラ日本ガヤツタト云フ觀ナキニシモアラズデアリマス、「ロジヤ」ニ於テハ飽クマデ秀才教育ト云フヤウナコトヲヤリマシタガ爲ニ、之ニ對スル非難ガ囂々ト起キテ居リマス、私直接「ロジヤ」ノ「モスクワ」デ其ノ非難ヲ聽イテ來テ居リマスガ、秀才ダケヲ國家ガ養成スルノダ、凡才ハドウデモ宜イノダト云フヤウナ意味ニ取ラレテシマツテ居ルノデアリマス、「ドイツ」ニ於キマシテハ「ヘルマン、ゲーリング」ガ「ロヤツテ居リマスガ、養成シタル人間ハ大抵「ナチス」ノ組織體ノ中ニ入ツテ、或ハ「ヒトラー・ユーゲント」ノ指導者ニナルトカ云フヤウナコトヲヤツテ居ルノデアルカ、寄宿舎ヲ設ケルノカ、或ケル罰デアリマスガ、此ノ後ノ業務ト、初メノ第一條ノ二項ノ育英上必要ナル業務ト云フ點トハ、重大ナル人間ノ懲罰ニ關スル問題ハ指導所ヲ設ケルノカ、或ハサウ云フ連中ノ全部何處カノ鍊成院へ入レテ鍊成スル、サウ云フ業務カ、ソレトモ全國ニ革鞋ヲ履シタラ、其ノ點ヲハツキリシテ戴キタイト

思ヒマス、ソレカラ第十六條ノ二項ニ「學資ノ貸與ヲ受クル學徒ノ輔導」トアリマス、

此ノ學徒ノ輔導ト云フ點ハ實ニ重大ナル問

題デアリマス、國家ガ今日マデ巨萬ノ金ヲ使ツテ經營シテ居ル帝國大學ガ赤化思想ノ搖籃ニナツテ居ツタト云フヤウナ點ハ、國民ニ付シテ申譯ノナイ點デアリマシタノデ、

サウシテドウ云フ方法デヤルノカト云フ點ニ付テ、私ハ多分ニ疑問ヲ持ツテ居ルノ

デアリマス、優秀ナル學徒ノ根據ヲ何處ニ置カレルカ、過去ノ例ニ見マシテモリマ

スヤウニ、優秀ナル學徒ハ多ク身體ガ弱イ、

或ハ業ヲ修メタ場合ニ社會主義者ニナルトカ、共產主義者ニナルトカ、國家性ト相反對スル思想ヲ持ツテ居ル者ガ多カツタコトハ、

今日マデノ歴史ニ明カデアリマス、ソレデ優秀ナル學徒ノ定義ト言ヒマスルカ、ソレデ此ノ際大臣カラハツキリ決メテ置イテ戴ク必要ガアルト思ヒマス

ソレカラ其ノ次ハ「學資ノ貸與其ノ他之ガ育英上必要ナル業務」デアリマスガ、此ノ必要ナル業務ト云フ點ハ、罰則ノ第二十九

條ノ二項ニ「本法ニ規定セザル業務ヲ營ミタルトキ」ハ之ニ罰ヲ加ヘルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ當事者ガ受

ケル罰デアリマスガ、此ノ後ノ業務ト、初メノ第一條ノ二項ノ育英上必要ナル業務ト云フ

點トハ、重大ナル人間ノ懲罰ニ關スル問題ハ指導所ヲ設ケルノカ、或ハサウ云フ連中

ノ全部何處カノ鍊成院へ入レテ鍊成スル、サウ云フ業務カ、ソレトモ全國ニ革鞋ヲ履

シタラ、其ノ點ヲハツキリシテ戴キタイト

思ヒマス、ソレカラ第十六條ノ二項ニ「學

資ノ貸與ヲ受クル學徒ノ輔導」トアリマス、

此ノ學徒ノ輔導ト云フ點ハ實ニ重大ナル問

題デアリマス、國家ガ今日マデ巨萬ノ金ヲ使ツテ經營シテ居ル帝國大學ガ赤化思想ノ搖籃ニナツテ居ツタト云フヤウナ點ハ、國

民ニ付シテ申譯ノナイ點デアリマシタノデ、

サウシテドウ云フ方法デヤルノカト云フ點ニ付テ、私ハ多分ニ疑問ヲ持ツテ居ルノ

デアリマス、優秀ナル學徒ノ根據ヲ何處ニ置カレルカ、過去ノ例ニ見マシテモリマ

スヤウニ、優秀ナル學徒ハ多ク身體ガ弱イ、

或ハ業ヲ修メタ場合ニ其ノ細則ト云ヒマスカ、サウ云

フヤウナモノモ出来テ居ル筈ダト思ヒマス

カラ、其ノ輔導ノヤリ方、又輔導ヲヤル人、

人間、サウ云フ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス、ソレカラ第三項ノ「修學上必要

ナル施設ノ設置及經營」デアリマス、其ノ必

要ナル施設トハドウ云フモノヲヤルノカ、

所謂寄宿舎ヲ作ルノカ、或ハ鍊成院ヲ作ル

ノカ、塾ノヤウナモノヲ作ルノカ、其ノ他

ノ方法ニ依ル施設ト云フモノガアリマセウ

ガ、サウ云フ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイト

ノ方法ニ依ル施設ト云フモノガアリマセウ

ガ、サウ云フ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイト

ト思ヒマス、ソレカラ總括的ニ經濟的事情ニ

因ツテ學資ヲ出スコトノ出來ナイ人間ニ補

助スルト云フコトニナツテ居リマスガ、此

ノ經濟的事情ニ因ル貧困ト云フ定義ガ何處

ニアリマスカ、生來小作人トカ、或ハ日傭

勞働者ノヤウニ、貧乏ナ者モ貧困ノ者ノ中

ニ入リマセウシ、事業上失敗シタル貧困者

モアリマセウ、又非常ニ澤山財産ヲ持ツテ

居ツテモ、全部ソレガ餘所へ擔保ニ入ツテ

居ツテ、子供ノ教育ガ出來ナイ、併シ借金

モアリマセウ、又非常ニ澤山財産ヲ持ツテ

<p

ソレカラテ此ノ法案ノ最後ノ質問ト致シマ
シテ、飽クマデモ本案ハ業成ツタ曉ニハ金
ヲ返スト云フコトガ本旨ニナツテ居リマス、
今日日本ガ要求スルモノハ、返スト云フ觀
置カズシテ、大東亞共榮圈ノ眞只中ニ飛込
念ニ依ツテ月給取ニナル人間ヲ養成スルノ
ガ日本ノ目的デハナイト思ヒマス、自分ノ
一身ノ榮達、或ハ收入ト云フコトヲ念頭ニ
ノ日ノ生活ニモ困ルヤウナ人間、サウ云フ
ヤウナ精神的ニ旺盛ナル人間ヲ養成スルコ
トガ、國家ノ最モ切實ナル要求デアラウト
私ハ思フノデアリマス、所ガ此ノ法案ニ依
リマスト、卒業シタラ必ズ金ヲ返スト云フコ
トニナツテ居テ、是ハ過去ノ立身出世主義
ニ囚ハレタ月給取ヲ養成スルコトニナル、
又サウシナケレバ金ヲ返スコトガ出來ナイ
斯ウ云フ場合ニ於テ、國家トシテハ此ノ人
間養成ガ唯單ナル世界各國ノ育英會ノ方法
ヲ真似テ作ツタノデアツテ、日本ノ本來ノ精
神、將來伸びテ行ク日本ニ於ケル中核體タル
ベキ挺身の人物ヲ作ルト云フ點ニ於テ、少
シク缺ケテ居リハシナイデアラウカト思ヒ
マスノデ、此ノ法築ヲ作ラレタ時ニサウ云
フ點ハ如何ニ考慮ヲサレタノデアルカ、是
ガ此ノ委員會ニ課セラレタ育英會法案ニ對
スル私ノ第一ノ質問デアリマス

アリ、又同時に身體を強健ナル者ト云フ、ヤ
ウナ點ニ大體合致スル者ヲ選擇銓衡致シマ
シテ、將來國家有用ノ人材ヲ育成スルト云
トコトニアルノデアリマス、國家有用ノ人
材ト云フノハ、固ヨリ政府ノ役人トシテ使フ
ト云フ趣意デハ無論ナイノデアリマシテ、
國家全體カラ見マシテノ問題デアリマスル
カラ、其ノ點ハサウ狭イ役人養成ノ目的ヲ
以テヤルト云フヤウナコトハ決シテナイノ
デアリマス、尙ホ其ノ他ノ點ニ付キマシテ
ハ政府委員カラ御答辯ヲ致シマス

○永井政府委員 育英上必要ナル業務ト云
フモノハドンナモノデアルカト云フ御話デ
ゴザイマシタガ、是ハ第十六條ノ第一項ニ
列舉致シマシタモノノ外、第二項ニ定メマ
シタ通リニ、本法人ノ目的達成上必要ナ業
務ヲ指スモノデゴザイマスガ、具體的ニ申
シマスト、貸費學徒ノ輔導、寄宿舎ノ經營、
身上相談所ノ設置等ノ如キ業務ヲ意味スル
ノデアリマス、尙ホ十六條第一項第三號ノ「修
學上必要ナル施設ノ設置及經營」ト云フ中、
「必要ナル施設」下へ何カト云フ御話デゴザイ
マシタガ、是モ只今申上げマシタヤウニ、
或ハ寄宿舎ノ經營デアルトカ、或ハ身ノ上
相談所ノ設置ト云フヤウナコトヲ意味シテ
居ル譯デアリマス、是モ亦他ノ委員カラ御
質問ノ時御答へ申上ゲマシタヤウニ、將來
ルノデアリマシテ、自下ノ問題ト致シマシ
テハ、此ノ前御話申上ゲタヤウニ、貸費ヲ
主眼點トシテ運營ヲ致シテ行キタイト考ヘ
テ居ル次第デアリマス

次ニ學資ノ貸與ヲ受ケル學徒ノ輔導ト云

フノハドウ云フコトデアルカ、尙ホ其ノ輔導ニハ誰ガ當ルノデアルカト云フ御質問デゴザイマシタガ、學資ノ貸與ヲ受ケル學徒、此ノ者達ニ對シマシテ、例ヘバ親ニ代ツテノ相談事モ色々ゴザイマセウシ、又色々進學上ノ相談モゴザイマセウ、サウ云フヤウナ事柄ニ付キマシテ、本會ニ於キマシテ是等ノ學徒ニ對シテ輔導ヲ致スト云フ意味デアリマシテ、之ニ當ルモノハ本會ノ役員デアリマストカ、又各府縣ニ支部ガ出來マシテ、其ノ支部長ハ先般モ申上ダマシタヤウニ知事デアリマスシ、其ノ支部ノ職員ト云フモノハ、ソレノ教育者並ニ教育關係者等が關係致スコトニナルト思フノデアリマスガ、是等ノ者ガ只今申上ダマシタヤウナ意味ノ輔導ニ當ルト云フコトニ相成ルノデアリマス
次ニ「經濟的理由ニ因リ」云々タルガ此ノ「經濟的理由ニ因リ修學困難ナルモノ」ト云フノハドウ云フコトデアルカト云フ御尋ねデゴザイマシタガ、經濟的理由ニ因ル修學困難ナルモノハ、必ズシモ貧困者ノミトハ限定致シテ居ラナイノデアリマス、固ヨリ貧困ナル家庭ノ子弟ハ經濟的理由ニ依ツテ修學困難デアルコトハ、是ハ申スマデモナイコトデゴザイマスガ、或ル程度ノ社會的地位ヲ有スル階層ニ於キマシテモ、或ハ子女ノ數ガ非常ニ澤山アリマスルトカ、或ハ其ノ他ノ理由ニ依リマシテ、ヤハリ相當アリマスガ、斯ウ云フ種類ノ家庭ノ子弟ニ對シマシテモ、是ハ貸費ヲ致ス積リデゴザ難ヲ生ズルト云フ者モ相當アルト思フノデノソニ他ノ理由ニ依リマシテモ、經濟的理由ニ依リマシテ、其ノ子弟ノ教育ニ困難ヲ生ズルト云フ者モ相當アルト思フノデノソニ他ノ理由ニ依リマシテモ、是ハ貸費ヲ返スト云フコトハ、何カ月給取ヲ養成スルヤウナ感ガアツテ、裸

一貫デ難局ニ打込ンデ行クト云ツタヤウナ
底力ノアル人間ヲ養成スル點ニナルト、金
ヲ返サナケレバナラスト云フヤウナ建設
際ニ先程大臣カラモ御説明ガアリマシタヤ
ウニ、此ノ育英會ニ於テ育英致シマスル人
間ハ、是ハ第一條ニモアリマスルヤウニ、
國家有用ノ人材ヲ育成スルコトヲ以て目的
トスル、是ガ大眼目デアリマス、國家有用
ノ人材ト云フノハ、御詫ノ如クニ身ヲ捨テ
テ國家ノ爲ニ盡スト云フ底ノ人物ヲ最モ望
シデアルコトデアリマスルノデ、其ノ際ニ
サウ云フヤウナ人材ヲ育成シタイト云フコ
トガ大眼目デゴザイマス、假ニ先程御詫ノ
ヤウニ、身ヲ捨テ國外等ニ於テ色々困難
ナ業務ニ携ハルト云フヤウナ考デアリマシ
テ、事實上ドウシテモ金ヲ一々ニ付テ返還
スルコトガ困難デアルト云フヤウナ場合ニ
付キマシテ、ドウ取扱フカト云フコトニナ
リマスト、ソレ等ニ付キマシテハ出來ルダ
ケ寛大ナ考ヘ方デ取扱ツテ參リタイト云フ
風ニ思ツテ居リマスガ、個々ノ事例ニ付キ
マシテハ、是ハ個々ノ場合デゴザイマスノ
デ、ソレヘ其ノ時々ニ、只今申シマシタ心
持ニ依ツテ取扱ツテ行クト云フコトダケヲ
申上ゲマシテ、御諒承ヲ得テ置キタイト思
ヒマス

スト云フヤウナ人間ガ効ケルヤウナ機構ヲ、ノデアリマス、例ヘバ外國ノ宣教師ノ如キハ、隨分支那或ハ大東亞共榮圈各地ノ方ニモ入り込ンデ骨ヲ折ツテ居ルノデアリマスルガ、斯ウ云フコトガ安心シテ出來ルヤウナ機構ヲ、ツ考ヘテ行クコトガ大切デハナイカト思ソテ居ルノデアリマス、サウ云フコトガ出來マスレバ、今ノヤウナ人間ハサウ云フ所ヘ收容シテ、安心シテ行ケルヤウニナルノデハナイカト考ヘテ居リマス、是ハ將來私ハヤハリ日本トシテハ、サウ云フ大切ナ人間方理論、利害ヲ超越シテ、御國ノ爲ニ命ヲ捧ゲテ行クヤウナ氣持ノ純眞ナル人ニ、シツカリ勵イテ貰フト云フコトガ是非望マシンコトダト思ツテ居リマス

ナイト云フヤウチコトデ、物議ヲ醸シタリ
致シテ居リマス、御承知ノヤウニ武道精神
ノ眞髓ト云フモノハ、其ノ歴史ト傳統ト其
ノ流派ヲ重ンズル點ニアルノデアリマシテ、
其ノ流派ノ中カラ魂ガ出テ参リマス、其ノ
魂ノ中カラ極意ガ生レテ來ルノデアリマス、
私柔道、剣道ヲヤルカラ別ニ茲ニ柔道ノ極
意ヲ説明スル譯デハアリマセヌケレドモ、
武道ノ教育ト云フモノハ普通ノ習字ヲ教ヘ
ルトカ、地理、歴史ヲ教ヘルトカ云フモノ
ト全然違ツテ居リマシテ、大和魂ノ根源ノ
一部ヲナシテ居ルモノガ武道デアルト言フ
テモ宜イ位ニ、日本人トシテハ最モ大切ナ
モノデアリマス、甲源一刀流ニハ甲源一刀
流ノ精神ガアリマス、講道館流ニハ講道館
流ノ精神ガアリマス、ソレハ長年ノ流祖ノ
人々ガ、辛苦艱難ヲサレタ結果生ミ出サレ
タモノデアル、ソレカラ現ハレテ來テ居ル
ノガ今日ノ所謂各學校デ教ヘテ居ル講道館
流ノ柔道デアリ、甲源一刀流ノ剣道ニツツ
タリシテ居ルノデアリマス、ソレデ文部省
ガ武道教育ノ上ニ於テ、武道ヲ教ヘル場合
ニ、新シク發足シタル大日本武德會ノ此ノ
統制ノ下ニ武道教育ヲヤツテ行カレルノカ、
ソレトモ文部省ハ獨自ノ立場ニ於テ武道教
育ト云フモノヲヤツテ行カレルノカ、或ハ
其ノヤツテ行ク上ニ於テ、武道ノ昔カラ傳
ハツテ居ル流派ト云フモノハ全然無視シテ
シマツテ、唯體育尊重ノ上カラヤツテ行カレ
ルノカ、ソレトモ武道ノ極意ヲ少シデモ多
クノ者ニ、精神的ニ或ハ技術的ニ知ラシメ
ヨウト云フ點カラヤツテ行カレルノカ、サ
ウ云フ點ニ付テ文部省ノ武道教育ノ根本精
神ト云フモノハ何處ニアルカ、今ヤツテ居
リマス相撲ニシテモ、國技館ノ相撲ハ飽ク

マデ倒スト云フ決心デヤツテ居リマス、併シ海軍ニ於ケル相撲ハ、飽クマデ體育ト云フモノヲ中心ニシテ、敵ニ打突カツテ行クト云フ敢闘精神ヲ中心ニシテ實施シテ居ル、同ジ相撲ニシテモ、ヤリ方ニ於テソレ位ニ違フノデアリマス、大日本武德會ガ今度決メマシタノハ、柔道ノ有段者ノ試合ニ當身ヲ許ス、當身デ宜シイト云フコトニナツタ、ソレヲ學校ノ教育ニヤツタナラバ、怪我人ト引繩返ル人間バカリ出來テ、肋骨ヲ折ル人間ハ何百人ト出ル、ア、云フ當身ト云フモノハ、武道ノ極意ニ達シタ者ガ初メテヤレルノデアツテ、有段者以上ノ試合ニハ當身デ宜シイ、當身デ行ケ、斯ウ決定シテ居ル、恐ラク厚生省モ此ノ問題デハ非常ニ困ツテ居ルト思フガ、學校ノ試合ニ於テサウ云フモノヲ許ス、ソレカラ劍道ノ方面ニ於テモ袈裟斬リデ宜シイト云フ、若シ劍道ノ三段、四段ニナツタ人間ガ、竹刀ヲ以テ肩ニ打込ンデ行ツタナラバ、大抵ノ人間ハ肩ノ骨ヲ折ツテシマヒマス、是ハオ面ガヤレルコトニ依ツテ初メテ袈裟斬リガ出来ル、オ面ヲ打込ンデ行ツタ場合ニ、敵ガスツト頭ヲカハシタ時ニ、ソレガ直チニ袈裟斬リトナルノデアツテ、此ノ武道ノ極意ヲ知ラナイ武道統制會社ト言ツテ宜イカ、ア云フ人々ガ勝手ニ決メタコトニ依ツテ日本ノ昔カラノ武道ト云フモノヲ劃一的ニ統制シヨウドシテ非常ナル物議ア釀シテ居ル、故ニ、文部省ハサウ云フコトニ囚ハレナイデ、文部省ハ文部省トシテノ武道教育ノ根柢ヲ何處ニ置イテヤツテ行カレルノカ、先程圖師委員ノ質問中ニアツタ武道教師ノ養成竜ニ教師ニ如何ナル精神的教育ヲヤツテ行カレルカト云フ點ニ付テハ私諒承致シマ

シタガ、此ノ武道ト云フモノハ先刻言ヒマ
シタヤウニ、普通ノ教育ト違ヒマスノデ、
武道ノ新流派ノ精神ヲ教ヘテ行ク上ニ於テ
ハ單ニ武道ノ本義デアルトカ、或ハ武術家
ノ精神的訓練デアルトカ云フ以外ニ一ツノ
魂ガ必要ニナルノデアリマス、サウ云フ點
ハ全然度外視シテヤツテ行カレルノカ、文
部省ノ武道教育ニ對シテノ方針ヲ承リタイ
○小笠原政府委員 御答ヘ申上ゲマス、先
づ武德會ノ御話ガゴザイマシタガ、大日本
武德會ハ御承知ノヤウニ、總理大臣ヲ會長
ト致シマシテ、官廳ト致シマシテハ厚生省
ヲ初メト致シマシテ、文部省、陸海軍省、
内務省ノ五省ガ共同ニ監督ヲ致シテ居リマ
スル會デゴザイマス、只今モ御述ベニナリ
マシタヤウニ實ハ從來カラゴザイマシタ武
道團體ト云フモノデナク、詰リ新シク本當
ニ武道ヲ振興スル爲ノ良イ團體ヲ是非トモ
作ルト云フコトデ發足ヲ致シマシテ出來上
ツタ團體デゴザイマシテ、私共ハ所期ノ通
リノ健全ナ發達ヲ大イニ期待致シマスルト
共ニ、之ニ向ツテ大イニ協力ヲ致シテ居ル
次第デゴザイマス、其ノ現狀ニ付キマシテ
ノ御話ハ實ハ五省ニ共管トハ申シマスガ、
厚生省ガ主管ノ官廳デアリマスノデ、武德
會ノ本質トカ或ハ現狀ノドウ斯ウト云フ
問題ニ付キマシテ、私カラ御答ヘ致シマ
スノハ或ハ少シ筋ガ違フカモ知レマセ
ヌガ、併シ私共ト致シマシテハ、武德
會ナルモノハヤハリ日本ノ武道ニ付キ
マシテハ有力ナ、又大イニ尊重スベキ團體
ト考ヘマシテ、是ノ今後ノ健全ナル發達ヲ
大イニ促進シテ行キタク、斯ウ考ヘテ居リ
マス、併シナガラ學校教育ニ付キマシテハ、
學校ニ於ケル武道教育ヲ全部此ノ武德會ノ

リマス、武道ノ教員ノ資格ヲ定メマスト
カ、或ハ學校ニ於ケル武道ヲドウ云フ風ニ
シテ行フカ、其ノ内容ヲ如何ニスルカト云
フコトハ、是ハ申スマデモナク建前ト致シ
マシテハ飽クマデモ文部省ガヤツテ參リマ
スコトデアリマシテ、學校教育ノ中ノ武道ナ
ルガ故ニ、學ゲテ之ヲ武德會ニ任セテシマ
フトフ云ヤウナコトハ是ハナイノデゴザ
イマス、併シナガラ先程申シマシタヤウニ
少クトモ日本ノ武道致シマシテハ、中
心トナルベキ團體デアリマス、又大イニ尊
重スベキ團體デアリマス、武道ニ付テ其處
處デ決マリマシタコトヲ原則的ニ十分良イ
デ考ヘマスコトニ付キマシテハ、恐ラク間
コトヲ採入レマシテ、之ト歩調ヲ合セテ學
校ノ武道ヲモ行ツテ行キタイト云フコトニ
ハ極力心掛けマスシ、又サウアランコトヲ
望ミマスケレドモ、併シソコデ定マツタモ
ノデアルガ故ニ無條件ニ絶對的ニ直ぐ學校
教育デ實施スル、斯ウ云フ建前ハゴザイ
マセヌ、モウ少シ具體的ニ申シマスレバ學
校ニ於ケル武道ノ實施ニ付キマシテハ、何
レモ文部省ニ於キマシテ制定致シマシタ學
校武道ノ教授要目ニ從ツテ實施ヲ致シテ居
リマス、其ノ要目ノ決定ノ際等ニ於キマ
シテ根本的ナ精神ト云フヤウナコトハ、勿
論大日本武德會デ言ツテ居ラレルヤウナコ
トモ採入レマシテ、大イニ之ヲ参考ニシテ
制定ハ致シマスガ、併シ飽クマデモ文部省
自身ガ制定シタ教授要目ニ從ツテヤツテ參
リマス、先程例ニ御舉ゲニナリマシタヤウ

ナコトニ付キマシテハ、學校ノ教授要目ニ
於キマシテ十分考慮致シマシテ、學校教育
トシテ弊害ノアルコト、或ハ又實施上差支
ノアルト思フヤウナコトハ加ヘテ居リマセ
ス、教授要目ノ制定ニ付キマシテハ或ハ御
承知カト思ヒマスガ、文部省ノミデ決メル
ノデハゴザイマセス、其ノ道ノ權威ノアル
然ルベキ専門ノ方々等ニモ御相談ヲ致シマ
シテ、又一面單ニ武道ノ専門的ナ見地カラ
ノミナラズ、教育ト云フ見地カラモ十分檢
討致シマシテ、ソレ等ノ方々ノ御意見ヲ纏
メマシテ、検討ノ上作ツタ教授要目デアリ
マシテ、少クトモ現在行ハレテ居リマス學
校武道ノ教授要目ニ付キマシテハ、御懸念
ノヤウナ點ハナイモノト信ジテ居リマス、
又専門學校以上ノ學校ニ付キマシテハ、中
等學校以下ノ如ク細カイ教授要目ト云フモ
ノハゴザイマセヌガ、是ハ昨年デゴザイマ
シタカ、サウ云フ上級學校ノ學徒ノ武道ノ試
合要領ト云フモノヲ文部省デ定メマシテ、
之ニ從ツテ試合ヲヤツテ居リマス、試合ノ
方ノ要領が定マリマスレバ、自然平素ノ修
練等ニモ影響ヲ及ボスグラウト思ヒマス、
出來レバ平素ノコトモ細カク規定スレバ宜
シイノデゴザイマセウガ、マダソコマデ上級
學校ニ付テハ行ツテ居リマセヌノデ、敢歎
ズ試合ノ要領ヲ昨年定メマシタ、是ナドニ
付キマシテモ御懸念ノヤウナ點ハ少シモナ
イモノト信ジテ居ルノデゴザイマス

尙ホ今一つ流派ト云フ御話ガゴザイマシ
タガ、全ク御説ノ通リデゴザイマシテ、私
共ニ於キマシテモ尊重スベキモノダ、又其ノ
流派ノ中ニ生命ガアルト云フ風ナ御説ト全
ク同ジヤウニ考ヘテ居リマス、唯學校ニ於

ケル實施ニ付キマシテハ、是ハソレドノ流派ヲ各
学校デ非常ニ區々ニ、或ル學校ハ何々流、
或ル學校ハ何々流ト云フヤウニ分レマスト、
是ハ武道トシテハ十分意義アルコトト私ハ
思ヒマスケレドモ、御承知ノヤウニ今日ノ
學校教育ハ或ル意味ニ於テ劃一的ニ多クノ
學校ヲ一齊ニヤツテ行クトハ別ト致シマシテ、學
校ノ本質ト云フコトハ別ト致シマシテ、學
校ノ運營上困ルヤウナ點モゴザイマス、ソ
レデ各流派ノ長所ト申シマシテハ語弊ガア
ルカモ知レマセヌガ、各流派ノ内容等モ十
分參酌致シマシテ、先程モ御話ガゴザイマ
シタ講道館柔道ナドモサウナンデゴザイマ
セウガ、各流派ヲ十分參酌致シマシテ、サ
ウシテ一面學校ニ於テ實施スルノニ運營上
便利ト云フ點モ考ヘマシテ、先程申上ガタ
教授要目ト云フモノヲ定メテ居ル次第デゴ
ザイマシテ、現在學校ニ於テ正科ノ時間デ
實施シテ居リマス時ニ、流派ト云フモノヲ
ハツキリ致シテハ居リマセヌ、教授要目ト
云フモノデ行ツテ居リマスガ、一面ニ於テ
ソレハ流派ヲ無視シテ居ルト云フコトデハ
ゴザイマセヌノデ、武道ト云フモノニ於ケ
ル流派ノ意義ニ付キマシテハ御説ト全ク同
様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、今色々御
質問ノ内容ガ多カツタノデ、或ハ御答ヘヲ
落シタ點ガゴザイマスカモ知レマセスガ、
一應御答ヘ申上ダスマス

キマスト、下ハ國民學校ノ生徒カラ或ハ産業戰士ニ至ルマデ「ランニング」ノ型ハ少シソレデ「ドイツ」ノ「オリンピック」ヲ見ニ行キマスト、下ハ國民學校ノ生徒ト云ヘバ其ノ型ニナツテ居ル、ソレデ各學校ヲ參觀ニ行キマスト、アレヲ高速度デ映シテ、ソレヲ皆學校ノ運動場デ教ヘテ居ル、此ノ型ガ一番良イノダト云フノデ、「ドイツ」ノ「ランニング」ノ型ハ日本ノ村社型ニ風靡サレテ居リマス、ソレト同様ニ武道ニ於キマシテモ、一劍直チニ敵ヲ殺スヤウナモノ、ソレカラ先程大臣モ委員會ノ初メニ一寸仰シヤイマシタヤウニ、杖術ト云フ「ステッキ」一本デ直チニ敵ヲ倒スト云フノモアリマス、竹刀一本持ツテ居ナクテモ敵ヲヤツツケルト云フヤウナ昔ノ大東流ト云フ種變リノモノモアリマスノデ、此ノ學校教育ニ於ケル武道教育ト云フモノハ普通ノ「スポーツ」ト違ヒマシテ、ソレヲ教ハツテ行ク學生ノ修練ノ階段ニハ非常ナル達ヒガアリマス、非常ニ簡単ニ言ヘバ強クナル者ト何時マデヤツテモ強クナラヌ者トアル、其ノ非常ニ強クナリ術ニ達スル人間ハ、色々ノ流派ヲ容易ク手ニ取り自分ノ體ニ體得スルダケノ素質ガ出來テ居ルモノデアリマス、ソレデ特ニ武道ニ付テ心配シテ居ラレル大臣ニ於カレテハ、尺貫法問題ニ於テモ日本ノ傳統ト歴史ヲブツ潰シテハイカスト云フヤウナ點デ尺貫法ノ存マスル各武道ノ眞精神ヲ特ニ武道ニ熱心ナ

ル人間ニ會得セシムル方法ヲ講ジテ貴ヒタ
イ、武道ニ熱心ナ人間ハ見タダケデ直グニ
分リマス、サウ云フ點ニ付テ文部省ノ武道
教育ノ教範ノミナラズ、廣ク知識ヲ各方面
ニ求メルト云フヤウナコトヲ講ジテ戴キタ
イト云フコトヲ希望トシテ申上ゲテ置キマ
ス

次ニ是ハ大臣ニ直接御伺ヒシタイノデア
リマスガ、私立學校ノ整備統合問題デアリ
マス、他ノ委員カラ御尋ネニモナリマシタ
ケレドモ、私ハ私立學校ノ整備統合問題ヲ
非常ニ重要視シテ居ルノデアリマス、當時
是ガ新聞デ發表サレタ時ニハ、全紙ヲ擧ゲ
テ新聞ハ之ヲ書イテ居ツタノデアリマス、
昔ノ時代ノ新聞ニ書イテ居ル記事ナラバ、
アレハ新聞記者ガ勝手ニ書イタノガカラウカ
二段抜キ以上ニ書イテハイカヌト云フヤウ
ニ制限スルノデ、アノ當時ノ私立學校ノ整
備統合ノ新聞發表ノ記事ト云フモノハ、單
ナル新聞記者ガ興味本位ニ書イタモノトハ
取レナイノアリマス、アノ記事ヲ見マシ
テ、學校經營者ニ於テハ學校ノ浮沈ニ關ス
ル問題ダト言ツテ非常ニ騒イダノデアリマス、
其ノ爲ニ或ル時ニハ授業ニ差支ヘル位ニ騒
イデ居リマス、ノミナラズ此ノ整備統合問
題ハ軍ガ裏面カラ非常ニ關係シテ居ルノダ
ト云フ「デマ」ガ飛ンデ居リマス、今日ハ「デ
マ」ヲ一掃シナケレバナラヌ時代デアリマス
ケレドモ、此ノ聖戰下ニ於キマンシテ、軍ガ
關係シテ居ルト云フコトハ絕對的ノモノデ
アルト言ツテモ宜ノデアリマス、一ツノ
企業整備ニ於キマンシテモ、軍ガ要求シテ居

ルノダト云フ聲ヲ聞イタダケデ、企業整備
ニ當ツテ居ル人間ハ直チニ之ニ應ジテ行キ
マス、ソレデ是マデノ學校ノ整備統合問題

ス
ヲ見テ居リマスト、實ニ遲々トシテ進ンデ
居ラナイ、アレダケ世間ヲ騒ガシ、學校當
局ガ學校ノ浮沈ニ關スル問題ダト言ツテ騒
イデ居ツタニ拘ラズ、文部省當局ハ、今日
ニ於テハ學校經營者ト目下協議中デアリマ
ス、出來ルダケ此ノ協議ヲ速ク進メテヤツ
テ行キタイト云フヤウナ言葉ガ此ノ委員會
デ聽カレタノデアリマス、ソレデ私ハ此ノ
重大ナル教育ニ携ツテ居ル人々ニ對スル叫
ビ聲ガ餘リニ大キ過ギタノデハナカラウカ
ト云フヤウナ點ヲ心配シテ居リマスノデ、
軍ガ戰爭目的完遂ニ必要ナル見地カラ學校
ノ整備統合ヲ文部省ニ要求サレタモノニア
ルカドウカト云フ點ヲ此ノ際ニハツキリ言
ツテ戴キ、若シ其ノ御要請ノ下ニナサレタ
モノナラバ、其ノ決意ヲ以テ當ツテ戴キタ
イ、若シサウ云フコトデナシニ、學校ノ
整備統合ガ一つノ流行ノヤウナ積リデヤラ
レルシタナラバ、文部省トシテハ直チニ
反省サレル必要ガアルト思フ、又教育ノ必
要上絶對ニ學校ノ數ガ多過ギルト云フ點カ
ラナサレタノナラバ、其ノ根據ヲ明カニス
ル必要ガアル、又校舍ガ必要デアルト云フ
ナラバ、學校ノ整備統合トハ別ノ意味ニ於
イデ居リマス、ノミナラズ此ノ整備統合問
題ハ軍ガ裏面カラ非常ニ騒イダノデアリマス、
ト云フ「デマ」ガ飛ンデ居リマス、今日ハ「デ
マ」ヲ一掃シナケレバナラヌ時代デアリマス
ケレドモ、此ノ聖戰下ニ於キマンシテ、軍ガ
關係シテ居ルト云フコトハ絕對的ノモノデ
アルト言ツテモ宜ノデアリマス、一ツノ
企業整備ニ於キマンシテモ、軍ガ要求シテ居

ノ都合上統合スルト云フヤウナコトモ考へ
付テノ明快ナル御答辯ヲ承リタイト思ヒマ
ス、ソレデ是マデノ學校ノ整備統合問題

ス

○岡部國務大臣 私立學校ノ整備統合ト云
フ問題ガ去ル十月閣議デ決定致シマシタノ
ハ、御承知ノ通り其ノ閣議決定ニ於キマシ
テ、丁年ニ達シテ居リマスル學徒ノ徵集猶
豫ノ制度ノ停止ト云フコトガ決定致サレマ
シテ、多數ノ學徒ガ直チニ軍務ニ服スルコ
トニナツタ譯デアリマス、法文科系統ノ學
生ハ直チニ入營ヲシ、幹部候補生トシテノ
教育ヲ受ケルコトニナツタノデアリマス、
是ハ絶對ニ軍ノ戰局ノ要請デアリマシテ、
又理工科系統ノモノモ、是ハ徵集猶豫ハ停
止サレタノデアリマスガ、軍ノ技術要員ト
シテノ必要ナル教養ヲスル爲ニ學校ニ於テ
教育ヲ續ケテ受ケサセル、其ノ爲ニ暫ク入
營ハ延期スルト云フコトニナツタ譯デアリ
マス、其ノ結果ト致シマシテ、學生、殊ニ
法文科系統ノ學生ハ激減スル譯デアリマス、
又其ノ後更ニ徵兵年齡低下ノ問題モ提議セ
ラレマシテ、愈、十九歳ト云フコトニ決定シ
タノデアリマスガ、サウナリマスレバ實
施サレタ場合ニハ、殆ド大學部ノ學生ト云
フモノハ先づ居ラナイヤウニナルノデハナ
カラウカト考ヘルノデアリマス、此ノ問題
ノ提議セラレマシタノガ軍ノ要請デアルカ
ドウカト云フコトニ付テハ、御答辯申上ゲ
ルコトヲ私差控ヘタイト思フノデアリマス、
併シ教育ノ完全ヲ期シマスル上ニ於テハ、
查ニ合格シテ入營スル人數ガ少ケレバ、同
時ニ合格シナイデ殘ル人數ハ比率的ニ多ク
宜イノデヤナイカ、サウシタ場合ニ兵隊檢
查ニ合格シテ入營スル人數ガ少ケレバ、ソレ
シタ根據ハ何處ニアリマスカ、我々カラ見
マスルトヨリ多ク大勢ノ學生ヲ入レタ方ガ
ドウカト云フコトニ付テハ、御答辯申上ゲ
ルコトヲ私差控ヘタイト思フノデアリマス、
ト云フ「デマ」ガ飛ンデ居リマス、今日ハ「デ
マ」ヲ一掃シナケレバナラヌ時代デアリマス
ケレドモ、此ノ聖戰下ニ於キマンシテ、軍ガ
關係シテ居ルト云フコトハ絕對的ノモノデ
アルト言ツテモ宜ノデアリマス、一ツノ
企業整備ニ於キマンシテモ、軍ガ要求シテ居

ス
ノ都合上統合スルト云フヤウナコトモ考へ
付テノ明快ナル御答辯ヲ承リタイト思ヒマ
ス、ソレデ是マデノ學校ノ整備統合問題

ス

○薩摩委員 整備統合ニ關聯致シマシテ、

昭和十九年度ノ各專門學校以上ノ入學學生

ノ數ヲ二分ノ一トカ三分ノ一トカニ減サレ

ルト云フコトデアリマスガ、其ノ人數ヲ減

シタ根據ハ何處ニアリマスカ、我々カラ見

マスルトヨリ多ク大勢ノ學生ヲ入レタ方ガ

宜イノデヤナイカ、サウシタ場合ニ兵隊檢

查ニ合格シテ入營スル人數ガ少ケレバ、ソレ

シテ大東亞ノ各地ニ於テ活躍スル、ソレ

シテ大東亞ノ各地ニ於

好イノダ、同時ニ今日はガ必要ナ問題ダ、
所謂大東亞共榮圈ノ建設ト聖戰完遂ト云フ
一本建デ國家ガ來テ居ル以上ハ、學問ト云
フモノハ成ベク多クノ人ニヤラスト云フ風
ニスルノガ教育ノ本旨ダト思ヒマスガ、政
府ガ人數ヲ減ラシタト云フ根據ハ何處ニア
リマスカ

○岡部國務大臣 此ノ點ニ付キマシテハ今
日ノ學徒ト申シマスヨリハ、寧ロ青年層ニ
對スル要請ハ、軍ノ要請モアルコトデアリ
マスシ、又勤勞方面ノ要請モ非常ニ重イ負
擔ガ其ノ方ニ掛ツテ居ル譯デアリマス、又
教育ノ面カラ申シマスレバ、色々御説ノ如
ク多々益々辨ズル譯デアリマスガ、是等ノ各
方面ノ要請ヲ檢討致シマシテ、大體ニ於テ
只今御話ノヤウニ、高等學校ハ三分ノ一、
專門學校ハ二分ノ一ト云フノハ、十九年度ノ
事情ニ應ジマシテ適當ナル所ニ落付ケテ行カ
ナケレバナラヌト考ヘテ居ル譯デアリマス、
居ル譯デハアリマセヌ、又來年度ハ來年度ノ
アリマスガ、他ノ要請ヲ考ヘマシテ、政府
トシテハ全般的ノ見地カラ決定シテ行カナ
ケレバナラヌト考ヘテ居ル譯デアリマス
○薩摩委員 私ハ大東亞共榮圈建設ニ付テ
ノ政府ノ教育施策ノ問題ニ付テ御尋ネシタ
イノデアリマスガ、他ノ委員ガ色々角度
カラ御尋ネニナリマシタガ、私ハ他ノ委員
ガ御尋ネニナラナカツタ殘ツテ居ル點ダケ
御尋ネシタイノデアリマス、今日ノ日本ハ
大東亞共榮圈建設ト戰爭完遂ト云フ一本建
デ來テ居ルコトハ國策アリマスト同時ニ、
一億國民當然認メテ居ル點アリマス、此ノ

戰爭完遂ニ必要ナル學問系統ハ理工科系統
ガ必要デアルト云フコトハ當然アリマスガ、
大東亞共榮圈建設ニ必要ナルモノハ法文科
系統ノモノガ最モ必要デアルト思ヒマス、大
東亞共榮圈建設ハ政治ノ部面モアリマスシ、
法律ノ面モアリマスシ、經濟的ノ面モアリ
マスサウ云フ人々ガ大東亞共榮圈内ノ各地
ニ於テ、日本ヨリ後レテ居ル民族ヲ指導シテ、
共榮圈ノ堀堀ノ中ニ入ツテ行クト云フヤウ
ニシナケレバ共榮圈ノ建設ハ出來ナインデア
リマス、其處へ入ツテ行クニハ其ノ土地ノ風俗、
人情、民情色々ノモノヲ知ラナケレバナラヌ、
所ガ政府デハ文部省ノ教育ガ大東亞共榮圈
建設ニ必要ナルヤウニヤツテ行クノダト云
フコトヲ言ツテ居リマスガ、未ダ各専門學
校、大學ニ大東亞建設ニ必要ナル學科目ガ
ドウ云フ風ニシテ併置サレテ居ルカ、ソレ
ヲ如何ニ教ヘラレテ居ルカト云フ具體的ニ
實現サレテ居ルコトハ全ク寥タルモノデ
アリマス、日本のニ見タル大東亞ノ歴史ハ
今編纂中ダト云フヤウニ言ハレテ居リマス
ガ、今日ハ過去ノ歴史モ必要デアリマスガ、
脈々トシテ動イテ居ル民族ノ魂ヲ掘ムコト
ガ最モ必要デハナイカ、地理ナドモ相變ラ
ズ昔ナガラノ世界地圖ノ一環トシテノ大東
亞ノ地圖ヲ簡單ニシカ教ヘラレテナイ、日
本ヲ慕ツテ來ルヤウナ民族學モ教ヘラレテ
居ナイ、民族學ト云フト、化石化シタ頭ノ
恰好ガドウ、顏ノ恰好ガドウト云フ此ノ恰
イノデアリマスガ、他ノ委員ガ色々角度
カラ御尋ネニナリマシタガ、私ハ他ノ委員
ガ御尋ネニナラナカツタ殘ツテ居ル點ダケ
御尋ネシタイノデアリマス、今日ノ日本ハ

學ヲ見テモ、僅カ一二校シカ教ヘテ居ナイ、
政府ハ大東亞共榮圈ト云フ此ノ國策ニ向ツ
スノ經濟學シカ教ヘテ居ナイ、大東亞廣域
經濟ノ經濟學ハ、東京市内ノ私立學校、大
學ヲ進ムニハ、勿論、共榮圈ノ最モ大キナ部
ニ付テ大臣ノ御答辯ヲ求メマス

面ヲ擔當スルノハ教育方面デアルト思ヒマ
ス、ソレデ文部省トシテ大東亞共榮圈ノ建
設ニ活躍シ、挺身スル優秀ナル日本民族ヲ

其ノ中ニ飛込マシテ行ク教育方針ガドウ
作ラレテ居ルカ、簡單ニ例ヲ引キマス、時
間ガ長ク掛ツテ恐縮デアリマスガ、南方ノ
島々ヲ廻ツテ「ドイツ」ノ時代、日本ノ時代
トドツチガ良イカト年取ツタ酋長ニ聽クト、
異口同音ニ「ドイツ」ノ時代ガ良イト云フ、
ナゼ日本ノ時代ガイケナイカ、朝カラ晚マ
デ法律ダ制度ダ、往來ニ小便スルマデ文句
ヲ言ヒマス、「ドイツ」ハ船ガ品物ヲ取りニ
來ル時ハ嚴重デス、何月何日何「トン」コ
「ト」ヲ出スト云フ場合ハ嚴重デスガ、ア
トハ我々ノ風習ヲ重ンジ、我々ノ傳統ヲ見
テ吳レタトスウハツキリ言ツテ居ル、聖戰完
遂ニ付テ言ヒタイコトガ澤山アリマスケレ
ドモ、時間ノ關係ヤ何カデ申シマセヌガ、
大東亞共榮圈ノ民族ガ日本ヲ何人慕ツテ居
ルカ、恐ラク何十人ノ司政長官或ハ日本人
ガ行ツテ居ラレマスケレドモ、熱意ハ持ツ
テ居ラレマスガ、其ノ素質ガナイ、素質ガ
ナイト云フコトハ所謂教育ノ缺陷デアリマ
ス、大東亞共榮圈建設ヲヤツテ行クニハ、
素質アル人材ヲ養成シナケレバ、共榮圈ノ
建設ハ出來ナイ、ソレヲヤツテ行ク教育上
ノ問題ハ、文部省ハ研究ノ時代デハナニ、
直チニ實施サレテモ宜イデヤナイカ、其ノ
點ニ付テノ文部省ノはマデ御答辯ニナツタ
抽象的ノ問題デナクシテ、ドウ云フコトヲ
昭和十九年度カラナサウトシテ居ルカ、其ノ
ノナス準備ハドウカ、若シ必要ナラバ追加
マシテ現ニヤリツ、アリマス

尙ホ専門學校ニ於キマシテハ、今回各專
門學校ニ付テ全面的ニ教育内容ノ刷新ヲヤ
ラント致シマスモノノ中、外國語學校ノ教

○岡部國務大臣 具體的ノコトニ付テ少シ
御説明申上げタイト思ヒマズ、政府委員ヨ
リ御答ヘ致シマス

育ト云フコトニ付テモ考ヘラレルノデアリス、外國語學校ノ教育ガ、從來トモスレバ外國語其ノモノノ教育ト云フヤウナ風ニ流レハシナイカト云フ虞ガアツタノデアリスマガ、申スマデモナク外國語ハ、其ノ外國語ヲ話ス所ノ民族ト密接不可分ノモノデゴザイマス、其ノ民族ノ諸事情ヲ知ツテ、初メテ其ノ民族ノ話ス外國語が能ク體得出来ルシ、又其ノ外國語ヲ能ク體得スル爲ニハ、イコトデアリマス、ソレデ外國語學校モ此ノ四月カラハ、是ハ假稱デゴザイマスケレドモ、外事專門學校ト云フ内容ニ致シマシテ、其ノ内容トシテハ第一部、第二部ト云フヤウニ分ケ、其ノ第一部ニ於テハ特ニ大東亞諸民族ノ諸事情、之ト密接不可分ニ其ノ民族ノ言葉ヲ教ヘル、主トシテ大東亞共榮圈内ニ於ケル民族ヲ十分知悉シテ、之ヲ把握シテ行クト云フヤウナ所ニ重點ヲ置イテ參リタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウスウシタ方面ノコトニ付テ專フ教育致シマスル學校ニ付テハ、特ニ重要視シテ參リタイント致シマシテ、例ヘバ東京帝國大學ニハ東洋文化研究所ガアリ、京都帝國大學ニハ人文科學研究所ガアリ、何レモ色々ナ面カラ大東亞ノ精神文化ト云フヤウナコトニ付テト思ツテ居リマス

研究ヲ致シテ來ツ、アリマスガ、其ノ外ニ
昭和十八年度ヨリ東大ニ於テ、或ハ只今御協
賛ヲ御願ヒ致シテ居ル十九年度ノ豫算ニ於
キマシテハ、京都帝國大學ニ於テ、南方科
學研究所ト云フモノヲ設立シ、又ハ設立致
サント御願ヒ致シテ居ル十九年度ノ豫算ニ於
ハ色々ナ面カラ、文科的ナ面カラモ理科的
ナ面カラモ、綜合的ニ南方ノ諸科學ニ付テ、
色々ト考察シテ行カントスル研究所ノ類デゴ
ザイマス、是ハ尙ホ更ニ文部省ノ直轄ト致シ
マシテ、既ニ民族研究所ガ設立シテアリマ
ス、此ノ民族研究所ニ於キマンシテハ専ラ只
今御述ベノヤウニ、大東亞圈内ニ於ケル多
クノ民族現状、其ノ風俗習慣ハ固ヨリ政
治組織、經濟組織其ノ他ノ點ニ付キマシテ、
現實論的ニト申シマスカ、詰リ先程御話ノ
アリマシタヤウニ、唯單ニ頭ノ恰好ガドウ
デアルトカ、骨ノ長サガドウデアルトカ云
フ所謂人類學的ナ、考古學的ナ、民族學デ
ナシニ、現實學的ナル民族學、之ト現實ノ
民族政策ト云フモノト、學問ト實際ト云フ
モノガ十分コ、ニ融合シテ、適切ナル結論
ヲ生ミ出スヤウナコトニ向ヒマシテ、總務部外
五部、全體デ六ツノ部ヲ持ツテ、大東亞共
榮圈其ノ他ノ各地ノ民族問題ヲ分擔致シマシ
テ、目下頻リニ研究ヲ致シ、相當實績ヲ舉
ゲテ居ルヤウナ次第ゴザイマス

ス、此ノ委員會ニ於テモ外國語ト云フモノ
ガ相當問題ニナツタノデアリマスルガ、五
簡條ノ御誓文ノ中ニモ「智識ヲ世界ニ求メ大
ニ皇基ヲ振起スヘシ」ト云フ言葉ガアリマス
ルヤウニ、何處ノ國ニ於テモ何時ノ時代ニ
於テモ、戰爭ト云フコトニナルト小サク凝
リ固マツテシマフト云フコトハ、是ハ過去
ノ歴史ニ於テ事實デアリマス、今日日本ガ
此ノ大キナ戰爭ヲヤツテ居ル時ニ、餘リニ
小サク日本其ノモノニ固マツテシマツテ、
知識ヲ世界ニ求メナイト云フコトニナツタ
ナラバ、當然戰爭ニ勝ツタ後ニ於ケル日本
ノ將來ニ付テ、憂慮シナケレバナラナイ點
ガ多々アルノデアリマス、所ガ知識ヲ世界
ニ求メルト云フ點ノ最モ重大ナル問題ハ、
ヤハリ外國ノ本ヲ讀ム、サウシテ其ノ中ノ
精神ヲ取ルト云フコトニアルノデアリマス
ガ、中等學校ノ修業年限ハ短クナリ、專門
學校、高等學校、大學ノ入學者ハ少クナル
サウシテ教ヘラレルモノハ鍊成的ナモノガ
多クテ、學問ノ蘊奥ヲ研究スル時期ガ少ク
ナル、特ニ外國語ヲ勉強スルト云フヤウナ
コトハ時勢ノ上カラミナラズ、學習ノ上
カラ非常ニ不便ニナル、故ニ此ノ際文部省
ハ民族研究所ヲ非常ナ豫算ヲ以テ置カレタ
ヤウニ、翻譯局ト云フカ、名前ハドウデモ
宜イデスガ、サウ云フヤウナモノヲ設ケラ
レテ、サウシテ世界各國ノ此ノ聖戰完遂ニ
必要ナル本、又必要ナ知識、茲ニ戰ニ勝ツ
タ後ニ於ケル戰後經營ニ必要ナルモノ、斯
云フヤウナモノヲ文部省ガ權威者ニ依ツテ
翻譯セシメ、サウシテ是ハ國民ニ讀マセテ
宜イト思ハレルモノヲ出版サレテ出サレル
コトハ、今日ノ日本トシテ當然ヤルベキ問
題デハナカラウカ、世界ノ先進國ハ總デソ

レヲヤツテ居ルノニ、日本ダケガソレガナ
イノデアリマス、私ハ大東亞省ノ委員ヲシ
テ居リマスルガ、大東亞省テハ痛切ニソレ
ヲ感ジテ居リマシテ、大東亞省ハサウ云フ
點マデ入レナイモノデスカラ、此ノ間モ「イ
ンドネシア」植物誌——是ハ實ニ厖大ナモ
ノデス、恐ラク日本ノ學者ガ十年、二十年
研究シテモ、南洋熱帶植物ノアレダケノモ
ノハ出來ナイ、是ハ「オランダ」ノ學者ノ研
究シタモノデアツテ、翻譯シナケレバ大東
亞省デ讀メル者ハ一人モ居ラス、帝國大學
ニ此ノ翻譯ヲ御願ヒシテ居リマス、マダ半
年掛ツテ漸ク一章シカ翻譯出來ナイト云フ
ヤウナ狀態デアリマス、外國人ノ書イタ文
獻デハアリマシテモ、斯ウ云フヤウナ大切
ナモノハ、之ヲ翻譯シテ國民ニ知ラスベキ
モノガナケレバ、ヤハリ大東亞共榮圈建設
ノ上ニモ差支ヘルト思フノデアリマス、今
日ノ時局柄、外國語ヲ勉強スルコトガ色々
ナ點ニ於テ難カシクナツテ來タ、不便ニナ
ツテ來タ、サウ云フヤウナ關係上、政府ノ
豫算デ以テ文部省ノ内部ニ於テ、或ヘ外局
デモ宜イデスガ、之ヲヤラシテ、サウシテ
戰後ニ來ル惡イ思想ノ防遏ニモ當リ、共榮
圈建設ニモ當リ、同時ニ世界ニ知識ヲ求メ
ルト云フ御教ヘノ上ニモ具體化スルト云フ
ヤウナコトニ付テ、私ハ是非ヤツテ貴ヒタ
イト思フノデアリマスガ、文部省ハ斯ウ云
フ點ニ付テ御考ヘニナツタコトガアリマセ
ウカ、又其ノ御用意ガアリマセウカ、承リ
タイト思ヒマス

既ニ著手シテ居リマス、其ノ内容へ只今御
述ベニナリマシタヤウニ、主トシテ外國ノ
科學文獻ノ翻譯デアリマス、實ハ當初ノ計
畫ヨリモ豫算ノ都合上縮小セザルノ已ムナ
キニ至リマシテ、十分トハ考ヘテ居ラナイカ
ノデアリマスガ、一方出版能力ノ制約モア
ト云フヤウニ考ヘテ居ル次第アリマス、
本年度既ニ著手致シマシテ、目下翻譯シテ居
ルト云フコトヘ、今日稍、困難デハナイカ
ノデアリマスガ、一方出版能力ノ制約モア
ト云フヤウニ考ヘテ居ル次第アリマス、
マシテ刊行サレル、明年ハ更ニ之ヲ出來得
ル限り擴張致シタイト思ツテ居ルノデアリ
マス、印刷能力ノ制約モゴザイマスト同時
ニ、斯ウ云フ科學文獻ノ翻譯ト云フモノハ
非常ニ難カシイ仕事デアリマシテ、唯語學
ガ出來ルト云フダケデハ出來ナイ、相當專
門的ノ知識ヲ持チ、而モ語學ニ熟達シテ居ル
人ガ其ノ衝ニ當ラナケレバナラナイノデア
リマシテ、文獻ノ種類ノ選定、竝ニ適當ナル
翻譯者ヲ選定致シマスル爲ニ、大學ノ教授
中ヨリ約五十人ノ翻譯委員ヲ委嘱致シマシ
テ、選定致シマシタ結果、嚴選サレタノガ
先程申上ゲマンシタ二十五部デ、其ノ適當ナ
ル翻譯者ヲ得ルコトモ必ズシモ容易デハナ
イノデアリマス、此ノ譯ハ今日サウ云フヤ
マス、其ノ研究ノ暇ニ翻譯シテ貰ハナケレ
バナラヌ、只今其ノ程度デアリマス、併シ
御意見ノ點ハ全ク御同感デアリマシテ、サ
ウ云フヤウナ色々ノ困難ナ事情ヲ克服致シ
マシテ、出來ルダケ其ノ規模ヲ擴大致シタ

○ 薩摩委員 モウ時間ガ來マシタノデ止メ
マスガ、唯私ガ文部當局ニ御願ヒシタイノ
ハ、同僚委員ノ仰シヤツタ意見ヲ反駁スル
ヤウデアリマスガ、習字教育ヲ廢止シタラ
ドウカト云フヤウナ同僚委員ノ御意見ガアリ
マシタガ、是ハ私ハ全然反対デ、今日大學ヲ
卒業シタリ、専門學校ヲ卒業シタ者ノ字ハ
見ラレタモノデハナイ、履歴書一ツ書カシ
テモ、十人ノ中八人、九人マテハ實ニミツ
トモナイ字ヲ書イテ居リマス、日本ガ日本
語ヲ以テ將來永久ニ進ンデ行ク以上、習字
教育ハ、何モ授業時間ガ少ノニ多クスル
必要ハナイガ、是ハ一ツ徹底的ニヤツテ戴
キタイ、セメテ日本人ガ日本語ヲ以テスル
ニ付テ、直グニ分ルヤウナ字ヲ書イテ貴
ヒタイ、私ハ五年餘リ私立大學デ教鞭ヲ執
ツテ居ツタガ、其ノ答案ハ厭ヤニナル位拙
イ字ヲ書クノデアリマス、サウ云フ點カラ
點數ノ不公平ガ出テ來ルヤウナコトモアル、
同僚委員カラ習字教育ヲ廢シタラドウカト
云フ意見ガアリマシタガ、オ寺ノ坊サ
ン、是ハ恐ラク宗教大學ヲ出ラレタ人ガ多
十分效果ガアルヤウニ考慮シテ貴ヒタイ、
又同僚委員ノ質問ニ對シテ、大臣ハ教員ノ
不足ヲ告ゲテ居ラレマシタガ、オ寺ノ坊サ
ン、是ハ恐ラク宗教大學ヲ出ラレタ人ガ多
イト思ヒマス、各自ノ職場ニ挺身的ニ働イ
テ居ル人モアリマスシ、或ハ教員トナツテ
居ル人モ相當アリマスガ、教員タルノ資格
ヲ提出致シマシテ、目下御協賛ヲ求メテ居
ルヤウナ次第デアリマス、一ツ左様御諒承
ヲ願ヒマス

スカラ、斯ウ云フ人々ヲ一ツ文部省カラ督
勵シテ、此ノ不足ナル教員ヲ補フ上ニ代用
教員、囑託ニデモスル、朝六時位ニ起キテ
本堂ノ前デオ經ヲ上ガレバ一日ノ勤メハ終
ル、其ノ後ハ碁ヲ打ツタリ何カシテ居ラナ
イデ、學校へ行ツテ教ヘル、相當ヤツテ居
ルト思ヒマスガ、マダ十分トハ言ヘナイト
思ヒマス、ソレカラ恩給ガ付イテ退職サレ
タ人デ、マダ人格的ニモ知識ノ上ニ於テモ、
國民學校ノ教員タルノ資格ノアルハ非常
ニ多イノデアリマス、サウ云フ人々デ昔ノ
教ヘ子ヲ頼ツテ保險ノ勸誘員ヲヤツタリ、
何モシナイデ遊ンデ居ルヤウナ人モ地方ニ
ハ多クアルヤウニ聞イテ居リマス、我々ノ
見聞スル所ニモアリマス、サウ云フ人々ヲ
又動員シテ囑託ニデモ代用教員ニデモシテ
教員ノ不足ヲ補フト云フコトヲヤツテ、若
イ教員ハ體育的方面トカ、作業方面ニ廻ハ
スト云フコトニ付テ十分御考慮ヲ煩ハシタ
イ、此ノコトヲ御願ヒシマシテ私ノ質問ヲ
終リマス

○小柳委員長 開會致シマス、午前ニ引續キ質疑ヲ行ヒマス——森田君
○森田(重)委員 時間ノ關係上、大東亞省ノ次官ニ外地ニ居リマスル教育關係者ノ待遇問題ニ付キマシテ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス、私ハ過般皇軍慰問使ノ一行ニ加ヘリマシテ、支那ノ方へ行ツテ參リマシタ、北京、濟南、開封、南京、上海等ノ市に參リマシタ際、在留日本人ノ教育ニ携ハツテ居リマスル教育ノ實際家ニ御集マリヲ願ヒマシテ、色々大東亞ニ關スル教育方針ノ問題等ヲ御伺ヒ致シテ參ツタノデアリトハ、是等ノ土地ニ在留致シテ居リマスル教育者ノ待遇ノ問題デアリマシタ、是等ノマスルガ、偶、其ノ席上問題ニナリマシタコトハ、是等ノ土地ニ在留致シテ居リマスル方々ハ最初ハ内地カラ引抜イテ行クノデアリマスルカラ、相當ノ條件デ相當ノ覺悟デ行ツタラシイノデアリマシテ、其ノ事情等モ能ク聽イテ參ツタノデアリマス、是ハヨリモ次官ノ方ガ能ク御分りダト思ヒマスカラ、私ハ何モ申上ゲマセヌガ、唯最近外地ノ物價が非常ニ高クナリマシテ、生活ガ相當壓迫サレテ居ルト云フ實情ヲ看取スルコトガ出來ルノデアリマス、而シテソレニ付テハ若干之ニ應ズルヤウナ施設ヲヤツテ居ナイデモナイヤウデアリマスルケレドモ、其ノ施設デハ追付カ又程、物價ノ方ガ先走ツテ行クト云フヤウナ實情デアリマス、實生活ノ經濟上ノ詳細ナ調査等ヲ、私數字的ニモ持ツテ參ツタノデアリマスケレドモ、斯ウ云フ席デ發表スルコトモドウカト思ヒ般官吏ノ方々ハ、同ジヤウナ狀況ニハアル

ヨリモ遅レ勝ダト云フヤウナ實際ニアリマシテ、甚ダシキニ至リマシテハ、果シテ是ハ先生ノ面目ト云フヤウナモノカラ考ヘテドウカ、ト思ハレルヤウナ面マデ現ハレテ來ルト云フコトニナリマシテ、非常ニ浮足立ツテ居ル、其ノ結果ドウ云フコトヲ言ウテ居ル人ガアルカト云ヒマスト、ドウモ大東亞省ハ我々ノ面倒ヲ見テ吳レナインダ、外ノ方ガ大事ナモノダカラ我々ハドウシテモ二番目ニ見テ下サル、サウスルト文部省ノ方ハ我々ノ本當ノオ母サンダカラ、文部省ニ管轄ヲ移シテ貰ツタ方ガ宜イノデハナイカト云フヤウナコトマデ、窃カニ私ニ囁ケイト云フコトヲ懇々ト説イテ參ツタノデ私ハソレハアナタ方ノ僻ミデ、決シテオ上トシテハサウ云フ意味デヤツテ居ルノデハナイト云フコトヲ懇々ト説イテ參ツタノデスガ、兎ニ角サウ云フヤウナ實際ノ狀況ナシニアリマス、之ニ對シテハ、大東亞省トシテハ速カニ其ノ措置ヲ講ジテ、今申上ゲタヤウナ實情ヲ一掃シテ、安心シテ向フデン教育ノ出來ルヤウナ態勢ヲ執ツテ戴キタイト考ヘテ居リマス、之ニ對シテハ何等力來年度ノ豫算ナリ何ナリニ、適當ナ方法ヲ御講ジニナツテオイデニナルダラウト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ對スル大東亞省ノ御見解、竝ニ實際ヤラウトシテオイデミナル御計畫ガオアリデシタラ、其ノ點ヲ承ハリタイト思ヒマス

ノ待遇が甚ダ遺憾ノ状態ニアリマスルコト
ハ、私共ニ於キマシテモ篤ト認メテ居リ、
一方日華ノ關係ヲ處理シテ行ク上ニ於キマ
シテモ、青少年ノ教育ト云フコトガ大切デ
アリ、又其ノ教育ヲ通ジテ、其ノ支那側ニ
對スル接觸部面ニ於テ仕事ヲスル人ガ、苟
クモ後顧ノ憂ヒガアル爲ニ其ノ本分ヲ十分
ニ盡シ得ナイト云フヤウナコトガアリマシ
テハ、是コソ日本ノ國家ニ取リマシテモ、
テハ、是コソ日本ノ國家ニ取リマシテモ、
或ハ兩國ニ取ツテモ好マシカラザルコトト
存ジマシテ、昨年來、殊ニ一兩年前ヨリ支
那ニ於ケル物價ガ異常ノ騰貴ヲ致シマシテ
以來、色々工夫ヲ致シテ、是ガ待遇ノ改善
ニ努力ヲシテ居ルノデアリマスガ、思フヤ
ウニ進ミマセヌノデ、今後モ續ケテ研究シ
テ、出來ルダケ實行ニ移シタイト考ヘテ居
リマス、唯實例ヲ申シマスルト、實ハ昨年
ノ春以來研究致シマシタ結果昨年ノ十月カ
ラ待遇ノ改善ヲ一部實施致シテ居リマス。
御承知ノ如ク支那ニ於キマスル教職員ハ、
從來本俸ノ外在勤俸ト致シマシテ十割ダケ
出シテ居リ、ソレ以外ニ臨時手當ト致シマ
シテ在勤俸ノ約五割ヲ支給致シテ居リマス、
其ノ外ニ更ニ家族手當等ハ内地ノ約三倍ダ
ケヲ支給致シテ居リマシテ、其ノ以外ニ宿
舍等ハ出來ルダケ現物ヲ支給シテ、關係ノ
方面カラ之ヲ出シテヤルト云フヤウナ途ハ
從來講ジテ居ツタノデアリマスルガ、先程
申シマシタヤウナ現下ノ情勢ニ鑑ミマシテ、
ト申シマシテモ在勤俸ヲ増ストカ云フヤウ
ナ方法ニ致シタノデアリマス、殊ニ在勤俸
スルダケノ特別手當ヲ出ス、是ハ特別手當
ニ付キマシテハ、臨時手當ノ方ハ從來在勤

俸ノ五割デアリマシタガ、十幾割ト云フヤ
ウニ増額致シテ居リマス、以上ノ外更ニ本
俸ノ月額ヲ大體ニ於テ五割乃至十五割引上
ゲテ居リマス、是ハ初任級ヲソレダケ引上
ゲ、其ノ結果トシテ全體ノ引上ヲ行フト云
フヤウナコトモヤツテ居リマス、以上ノ外
ニ更ニ僻陬手當ハ、特別ニ其ノ土地ノ状況
ニ應ジテ、從來ニ比較致シマシテ相當多額
ニ之ヲ支給シ得ルヤウナ制度ヲ設ケマシテ
實行サレテ居ルノデアリマス、尙ホ其ノ後
ニ於キマシテモ色々ノ状況ハ、以上申シマ
シタ如キ程度デハ實ハ私共率直ニ申シマス
レバ、燒石ニ水ダト云フヤウナ状態ニアリ
マスノデ、手當其ノ他ノ引上ニ茲行政シマ
シテ、出來ルダケ現地ニ於テ食糧或ハ必需
物資——是ハ餘リ多クハ渡リマセヌガ、何
レモ廉價ニ供給シテヤル、斯ウ云フ方法ヲ
考案致シテ居リマス、現ニ現地ニ於キマス
官吏ニ付キマシテハ、昨年暮以來軍其ノ他
ノ非常ナ御協力ノ下ニ、相當廉價ナ食料品
ヲ大東亞省ノ出先機關ニ於テ世話ヲ致シマ
シテ、之ニ支給スルヤウナ形ニマデシテ、此ノ
リマス、此ノ方法ハ現地ノ教職員ニ既ニ及
ボシテ行キタイト思ツテ居リマシテ、出來
レバ週ツテヤルヤウナ形ニマデシテ、此ノ
間ノ苦難ニ堪ヘテ居ル教職員諸君ノ苦衷ヲ
和ラゲテヤリ、且ツ安ンジテ其ノ本分ニ邁
進セラレルヤウニ措置ヲシタイト存ジテ居
リマス

ガ高等學校、大學、中等學校、小學校等ヲ含メマシテ現在相當數居リマス小學校ダケデモ三百五十九人、中等學校四百一人、高等學校三百七人、是ハ大學モ含ンデ居リマス、是グケノ人ガ居リマスガ、是等ニ付キマシテモ同様ニ今ノヤウナ方法ニ依リマシテ、其ノ現下ノ狀況ヲ救フト云フ措置ヲ執ツテ居ルノデアリマス、何レニ致シマシテモ、日華關係ヲ律シテ行ク上ニ於テ最莫大切ナ任務ニ服シテ戴イテ居ル是等ノ教職員ハ、選擇致シマスル時ニ於テモ、内地ニ於テ粒選リノ人ヲ特ニ文部省ニ御願ヒシテ派遣致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、今後其ノ任務ノ遂行ニヘ支障ノナイヤウニ、出来ルダケノ努力ヲ致シマシテ、サウンシテ御助ヶシタイト云フ考ヘデ、折角具體的措置ヲ講ジ、又考案致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

實情デゴザイマスカラ、ドウカ今後トモ是等ノ改善ニ付キマシテハ特ニ御努力ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、ソレトモウツハ、折角アナタノ方カラ一定ノ措置ヲ講ゼラレテモ、向フニハ中間折衝機關トシテ所謂民團ナルモノガアル、此ノ民團ニアナタノ方デ御指令ナリ御措置ナサレテモ、ソレガ直チニ先生方ニ及ブコトニハナラナイデ、若干ソコニ距離ガアリ、時間ガアルト云フヤウナコトニナルノデ、是モ相當困ルコトニナツテ居リマスカラ、是等ノ點ニ付キマシテモ、ドウカアナタノ方カラ特ニ御督勵下サイマシテ、アナタ方ニ御意思ガ直グ下ノ方ニ徹スルヤウナ措置ヲ講ジテ戴キタイト思ヒマス

○山本(熊)政府委員 支那ノ如キ現地ニ於

キマシテ、日本側ノ教職員自體ガミスピラシイ狀態デアレバ、ソレガ自然的ニ向フニ對シテ惡影響ヲ及ボスト云フ事實モ從來澤山アリマスノデ、是等ノ點モ考慮致シマシテ、待遇ノ改善ニ努メテ居リマス

尙ホ先程申落シマシタガ、昨年ノ秋以來興亞教育會ト云フモノヲ拵ヘテ居リマス、是ハ支那ニ派遣致シマスル教職員等ノ待遇ノ改善等ヲ眞面目ニ面倒ヲ見テヤル機關ト致シマシテ、實ハ私ガ其ノ興亞教育會ノ會長ニナツテ、全支ニ於ケル各方面ノ情報ヲモ集メ、サウシテ或ハ派遣教員ノ厚生施設、或ハ待遇ノ改善、斯ウ云フモノニ常ニ氣ヲ付ケテ、之ヲ實施シテ行クト云フ機關ニ致シテ居ルノデアリマス、從來サウ云フノヲバラヽニヤツテ居リマシタノデ甚ダ不徹底デアリマシタガ、昨年秋以來興亞教育會ニ統合致シマシテ、其ノ待遇改善ニ専念セルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、ソ

折角アナタノ方カラ一定ノ措置ヲ講ゼラレテモ、向フニハ中間折衝機關トシテ所謂民團ナルモノガアル、此ノ民團ニアナタノ方デ御指令ナリ御措置ナサレテモ、ソレガ直チニ先生方ニ及ブコトニハナラナイデ、若干ソコニ距離ガアリ、時間ガアルト云フヤウナコトニナルノデ、是モ相當困ルコトニナツテ居リマスカラ、是等ノ點ニ付キマシテモ、ドウカアナタノ方カラ特ニ御督勵下サイマシテ、アナタ方ニ御意思ガ直グ下ノ方ニ徹スルヤウナ措置ヲ講ジテ戴キタイト思ヒマス

ソレカラ第二點ノ出先機關ヲ通ジテノ仕事デアルカラ、底ニ徹底サセル必要ガアルト云フコトハ、至極御尤モナコト存ジテ居リマス、單リ是ハ教員ニ對スルノミナラズ、一般ノ出先機關ニ於テモ、我々ノ從來ノ經驗カラ見レバ、帝國ノ政策ナリ其ノ他ノ實行振リガ不徹底ナコトガ多イノデス、殊ニ教員ニ關スル如ク、民間ノ一ツノ團體タル民團ヲ通ジテノ仕事ハ、動モスレバ下部ニ不徹底ナコトガアリマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ從前モサウデアリマシタガ、昨年一月九日新政策ノ實施以來ハ特ニ注意致シマシテ、屢々嚴重ナル訓令モ致シ、又相談モ致シマシテ、政府ノ考へテ居ルコトガ其ノ儘徹底シテ下部機構マデ行クヤウニ、凡ユル機會ヲ通ジ、凡ユル方法ヲ以テ徹底スルヤウニ努力致シテ居リマスノデ、其ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森田(重)委員 大東亞次官ニ對スル質問ハ是デ宜シウゴザイマス、有難ウゴザイマシタ

○小柳委員長 御異議ハナイト認ヌマス、ソレデハ祕密會ニ入リマスカラ、議員及ビ政府關係以外ノ方ノ御退席ヲ願ヒマス、尙ホ祕密會ニハ速記ヲ付シマスガ、是ハ嚴封ノ上保管スルコトニ致シマス、是ヨリ祕密會ニ入りマス

○池田(克)政府委員 祕密會ニ願ヒマス、○小柳委員長 祕密會ノ要求ガアリマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○小柳委員長 御異議ハナイト認ヌマス、ソレデハ祕密會ニ入リマスカラ、議員及ビ政

○森田(重)委員 ソレデハ其ノ次ノ問題ト致シマシテ、國民教育局長ニ御伺ヒ致シタマスガ、萬事是ハ育英會當局ノ考へ方ニ任

ト云フヤウナ場合ガナイデモナイカト思ヒマスガ、萬事是ハ育英會當局ノ考へ方ニ任

セテ行キタイト思ツテ居リマス

○小柳委員長 御異議ハナイト認ヌマス、ソレデハ祕密會ニ入リマスカラ、議員及ビ政

○森田(重)委員 ソレデハ其ノ次ノ問題ト致シマシテ、國民教育局長ニ御伺ヒ致シタマスガ、萬事是ハ育英會當局ノ考へ方ニ任

セテ行キタイト思ツテ居リマス

〔午後一時五十七分祕密會ニ入ル〕
〔午後二時五十三分祕密會ヲ終ル〕

○小柳委員長 祕密會デハ森田委員ヨリ國內思想

ニ對シマシテ、司法政府委員ヨリ國內思想

事情ニ付テ説明ガアリマシタ——森田君

○森田(重)委員 大臣カ次官ガ見エル前ニ、

ニ對シマシテ、司法政府委員ヨリ國內思想

事情ニ付テ説明ガアリマシタ——森田君

○森田(重)委員 大臣カ次官ガ見エル前ニ、

ニ對シマシテ、司法政府委員ヨリ國內思想

事情ニ付テ説明ガアリマシタ——森田君

○永井政府委員 只今寄附金トシテ集ツテ

サウ云ツタヤウナモノヲ立デル意味ニ於テノ基礎的ナモノトシテ、日本國內ノ思想トノ實情ニ付相当ノ方法ヲ立テ、集メテ貴ヒタイト思ツテ居ルノデスガ、是等ニ對シテハドウ云フヤウナ御考ヘヲ持ツテオイデニナリマスカ、之ヲ一つ簡單ニ御説明願ヒタイ

居リマスノハ、多分五萬圓餘ト思ヒマス、唯是ハ何等育英會トシテ勸誘シタモノデハ

所ニ、非常ニ考へナケレバナラヌ問題ガア

ルト考ヘテ居ル、最近ニナリマシテ特ニ地

域性ヲ持タセナケレバイケナイト云フコト

ハ、凡ユル面カラ考へ且ツ要請サレテ來テ

居ルヤウナ事情モアリマスノデ、其ノ二點

カラ考ヘマシテ、師範學校ノ附屬小學校ニ

ハ必ズ地域性ヲ持タセルヤウナ風ニ改組ス

ベキモノダ、斯ウ云フ風ニ私等ハ考ヘルノ

デアリマス、此ノ點ニ對シテハドウ云フ御

見解ヲ御持チニナリマスカ、結論的ニ一ツ

ノ方法ヲ考ヘテ、最高級ノ人モ日本全國デ
ハ何人カ持ヘテ貴フト云フコトデナケレバ、
折角御作りナサレタモノモ結局畫龍點睛
ヲ失フアキナシトナゾ、シナド、思フンダ

ハドウモ私等ハイカヌト思フ、益々戦争ガ苛烈ニナリマスト、男ノ手ト云フモノガ少クナツテ來ル、是ハ明カナコトデアリマス、ドウシテモ女ノ先生ガ之ニ代ルト云フ態勢ニナルノデアリマスカラ、文部省ハ舊來ノヤウナ間ニ合セノ方法デ行クト云フコトデ

○森田(重)委員 次ニ教員組織ノ問題ニ付
テ御所見ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス、御存
ジノ通り、今申上ゲタヤウナ實情デアリマス
シテ、中々男ノ有能ナ経験者ト云フモノハ
アルト私ハ思ツテ居リマスカラ、將來モ其
ノコトニ付テハ十分考究致シタイト考ヘテ
居リマス

體問題トシテ御伺ヒシタイ點デアリマス
○阿原政府委員 只今ノ御意見、洵ニ御高
見ニ存ジマス、十分ニ取調べマシテ研究致
シタイ、斯様ニ考ヘマス

○森田(重)委員 次ニ教育界ノ戰時態勢ノ
一方法トシテ御願ヒ致シタ伊點ヲ申上ガテ
見タイト思ヒマス、是ハ昨日樋口委員カラ
食糧増產協力ノ問題、或ハ學徒戰時協力ノ
問題等ニ付テ、適切ナ御意見ガアリマシテ、
私モ司惑ナノデアリマス、ソコデ比ノ點ハ

○阿原政府委員 御尋ネノヤウニ國民學校
教職員ノ優遇ノ余ハ開カレタノデアリマス

ルガ、併シ從來規定ガゴザイマシテ、其ノ規定ニ依リマシテヤルモノデゴザイマスカラ、現在ノ實情ハ御話ノ通り極メテ少イコトニナツテ居リマス、此ノ問題ハ私共單ニ國民學校ダケヂヤナシニ、中等學校、青年學校ノ教職員ノ問題ニ付キマシテモ、相當者ヘナケレバナラヌ問題ガアルノデハナイカト云フ風ニ實ハ考ヘテ居リマス、サウ云フ點デ今色々其ノ點ニ付テ私ノ方デ研究致シテ居リマシテ、何トカ一ツ途ヲ開キタイ、

○森田(重)委員 其ノ次ハ教員養成ノ問題
デゴザイマスガ、是モ簡単ニ御質問申上ゲ
マス、兎ニ角師範學校ヲ出マシテモ、相當
或ル方面ニ流レテ行ツテ、現實ニ教職ニ携
ハル者ノ數ト云フモノハ益々減^テテ來テ居ル、
サウシテ其ノ領域ト云フモノニ、女ノ方々
ガ非常ナ勢ヒデ入ツテ來テ居ル、是ハマア
萬已ムヲ得ナイコトダツ思フ、ソコデ舊來
ノ女ノ先生ノ入り方ヲ見マスルト、先生ノ
教養ト云フモノヲ重視スルト云フヨリモ、
兎ニ角人ヲ充タサウト云ツタヤウナ氣持ノ
動キ方ガ非常ニ顯著ニ現ハレテ居ル、是デ

ハドウモ私等ハイカヌ思フ、益、戦争ガ苛烈ニナリマスト、男ノ手ト云フモノガ少クナツテ來ル、是ハ明カナコトデアリマス、ドウシテモ女ノ先生方之ニ代ルト云フ態勢ニナルノデアリマスカラ、文部省ハ舊來ノヤウナ間ニ合セノ方法デ行クト云フコトデナク、女子師範學校ノ生徒ノ募集ト云フヤウナモノヲ、特ニ臨時措置カ何カデ特別ニ擴大シテ行ツテ貰ヒタイト云フ感ガ致スノデアリマス、唯將來ノ問題トシテハ、女ノ先生ヲ澤山募集スルコトハ、戰爭ノ熄シング後デ男ノ先生ノソレト食合フヤウナ時代ガ來ヤシナイカト云フヤウナコトガ御考ヘノ中ニアラレルノデ、煮切ラナイヤウナ態度ニナラレルノデハナイカトモ思ハレル節モアルノデアリマスケレドモ、戰後ノ世界ト云フモノハ、決シテ衝突シナイヤウナ事情ニナルノダト私ハ見透シ得ルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、ドウカ此ノノ邊デ相當多數ノ女ノ先生ノ募集フヤツテ貰ヒタイト者ヘルノデアリマスガ、之ニ對シテハドウ云フ處置ヲ執ツテオイデニナリマスカ、又私ノ希望ニ對スル御見解モ伺ヒタイ

○阿原政府委員 現下ノ情勢ニ於キマシテ段々國民學校ノ女ノ先生ガ殖エテ參リマスコトハ、已ムヲ得ナイ狀態デハナイカト私ハ考ヘテ居リマス、男子ヲ十分得ラマセス關係デ、女子ガ其ノ職場ニ代ルト云フ状態デゴザイマス、サウ云フ状態ヲ考ヘマシテ十九年度ノ豫算ニ於キマシテモ、先般申上ゲマシタヤウニ東京、大阪、愛知ノ第二師範ニ女子部ノ新設ヲ計上致シテ居リマス、又女子部ノ學級増加モ十六學級ノ増加ヲ全國的ニ考ヘテ居リマス、斯様ニ今回ハ豫算ヲ計上致シマシタガ、將來ニ於テモヤハリ

相當女子ヲ澤山使ハナケレバナラニ必要ガアルト私ハ思ツテ居リマスカラ、將來モ其ノコトニ付テハ十分考究致シタイト考ヘテ居リマス
○森田(重)委員 次ニ教員組織ノ問題ニ付テ御所見ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス、御存ジノ通り、今申上ゲタヤウナ實情デアリマシテ、中々男ノ有能ナ經驗者ト云フモノハ得ラレナイト云フ實情デアル、所ガ現在國民學校ニ於ケル先生ノ責任ノ執リ方ヲ見マスト、助教ノ方デモ、又ソレ以上ト申シテモ、詰リ正訓導ニ準ズル資格ヲ持ツテ居ル方デモ、果シテ今ノヤウナ形デ全責任ヲ持タセテヤツテ宜イノカドウカト云フコトニ付テハ、餘程考ヘナケレバナラナイ面ガアルト思フ、一方師範學校ヲ出マシテ相當力ヲ持ツテ居ル人モ、其ノ人ノ充ガハレテ居ル學級ト云フモノハ、其ノ學級ダケナルノデアリマス、ソコニドウモ綜合性ト立體性ヲ缺クヤウナ教員組織ニナツテ居ル、成程校長ハ校長デ專任、首席訓導ハ首席訓導ト云フモノデ一ツ建前ハ設ケテアルガ、私ハ相當大キイ學校等デハサウデナクテ、教頭ト校長ノ外ニ何學級カノ、詰リ指導的ノ地位ニ立ツヤウナ人ヲ中心トシタ連帶責任的ナ立體性ヲ持ツタ教員組織ト云フモノヲ此ノ際執ツテ、サウシテ全體ノ力ト云フモノガ付クヤウナ形ニ持ツテ行ク方法モ一ツ良イ考ヘ方デハナイカトスウ私ハ考ヘテ居ル、又實際教育家ノ研究會等ニ臨ンデ見マシテモ、サウ云フ要望ガアルノデアリマス、ソコデ斯ウ云フ方法ヲ國民學校ニ於ケル教育ノ運用ノ一方法トシテ、一ツ御採用ナサル御意思ガアルカドウカ、ト云フノハ、私ハ是ガ制度化出來ナイカト云フコトガ、具

○阿原政府委員　只今ノ御意見、洵ニ御高見ニ存ジマス、十分ニ取調べマシテ研究致シタイ、斯様ニ考ヘマス

○森田(重)委員　次ニ教育界ノ戰時態勢ノ
一方法トシテ御願ヒ致シタイ點ヲ申上ゲテ
見タイト思ヒマス、是ハ昨日樋口委員カラ
食糧増産協力ノ問題、或ハ學徒戰時協力ノ
問題等ニ付テ、適切ナ御意見ガアリマシテ、
私モ同感ナノデアリマス、ソコデ此ノ點ハ
相當眞劍ニ考ヘテ貰ヒタイト私ハ思フノデア
スガ、今マデヤツテ居ル學校ノヤリ方ヲ見
マスト、文部省カラ一定ノ方向ヲ示スノデア
リマスガ、學校ノ先生ハ生徒全體ニ命令ヲ
下スヤウナ形デ動イテ居ル所ガアル、是デ
ハ先生ノ手ヲ離レルトモウ動カヌト云フ恰
好ニナリマス、ソコデ今年コソ本當ノ決戰
態勢デ、食糧ガ最モ重大ナ國內問題ニナル
ノダグト云フコトデアリマスカラ、是ハ一ツ
特ニ別箇ノ方法ヲ考ヘテヤツテ戴キタイ、
サウシテ能率ヲ上ゲテ貰ヒタク、其ノ別箇
ノ方法トハ何デアルカト云フト、「子供ノ隣組」
ト云フモノヲ作ツテ貰ヒタイト云フコトデ
アリマス、是ハ小サイ問題ノヤウデアリマ
スガ、若シ全國的ニ子供ノ隣組ガ出來タラ
相當ノ力ニナル、ソレデハ具體的ニ目標ヲ
ドウ掲ガルカト云フト、子供達ノ手ニ依ツ
テ空閑地解運動ヲ起ス、先生モ忙シイノ
デスカラ、全部ノ生徒ヲ集メテ號令ヲ掛ケ
ルヤウナ恰好デ動イテ居ツタノデハ持続性
ガアリマセヌ、時間的ニモ駄目デス、ソコ
デ子供達ノ自發的ナモノトシテ隣組ヲ作リマ
ス、子供達ハ實ニ能ク時局ヲ認識シテ
居テ、旨ク指導サヘヤレバ、先生ノ眼ヲ離
レテモ國家ニ御奉公申上ゲヨウト云フ氣持デ

大人以上ノ効キヲシマス、サウ云フ點ヲ
ヘマスト、昨日樋口委員カラ御話アリマシ
タ兎ヲ飼フトカ、豚ヲ飼フトカ、或ハ私ノ只今申
上ガ夕空閑地解消運動、村ノ中ノ空地ハ全部
斯ウ云フ氣持ヲ全國ノ國民學校ノ生徒ニ徹
底サセマシタラ、此ノ生徒ノ動キカラ逆ニ
父兄ガ教育ヲ受ケテ、空閑地ト云フモノガ
ナクナルバカリデナク、其ノ結果日本ノ食
糧問題ニ非常ニ大キイ效果ヲ齎スモノダト
云フコトヲ考ヘルノデアリマス、ドウ云フ
モノカ學校ノ先生方ハ、子供達ノ自發的愛
國心或ハ奉公心ヲ啓培シテ行ク方法ニハ出
テ居ナイヤウデアリマス、直グ軍隊的ナ號
令デダケ行ツテ、直グ號令デ奉仕申上ゲル、
ソレガ一ツノ團體訓練デモアルカノヤウナ
觀念ニ陥ツテ居ルノデハナイカト思ハレル
節ガアリマスノデ、此ノ點ハ一ツ何トカ出
來ナイモノカト云フコトデ私ハ實ハ提唱致
シタインデアリマス

點ヲ特ニ考ヘテ欲シイト云フコトデアリマス、ソレハ先生方ノ戰時協力態勢ノ具體的
ナ目標トシテ申上ゲルノデアリマス、問題ハ非常ニ小サイヤウデアリマスガ、之ヲヤ
ラナクテハ本當ノ協力態勢ニハナリマセヌ、漫然トシタ激勵トカ何トカデハ意味ヲナシ
マセヌカラ、ドウカ其ノ點ヲ十分ヤツテ戴キタイモノダト思ヒマス

居リマシテ、マダサウ云フヤウナ點ニ若王リマシタノデ、御参考ニ申上ゲルノデアリマスガ、是ニ對シマシテモ御所見ヲ承ツテ置キタインデアリマス

ゴザイマセウト存ジマス、ソレ等ニ付キマシテハ、先日來此ノ問題ニ付テ御答ヘ申上ダマダ現狀デハ足リマセヌノデ、今後一層能ク研究ヲ致シマシテ、適切ナ方法ヲ講ズルヤウニ致シタイト存ジテ居リマス、只今具體的ナ方法トシテ、子供ノ隣組ト云フ御話ガゴザイマシタガ、子供ノ隣組ヲ作りマス、云フ風ニ、只今、ノチリ神戸事ハノ

點ヲ特ニ考へテ欲シイト云フコトデアリマス、ソレハ先生方ノ戰時協力態勢ニナリマセヌ、問題ナ目標トシテ申上ゲルノデアリマス、問題ハ非常ニ小サイヤウデアリマスガ、之ヲヤラナクテハ本當ノ協力態勢ニナリマセヌ、漫然トシタ激勵トカ何トカデハ意味ヲナシマセヌカラ、ドウカ其ノ點ヲ十分ヤツテ戴キタイモノダト思ヒマス

尙昨年以來學徒ガ、生産増強ニ非常ニ精進シテ居ル姿ヲ凡ニル方面デ聽キマシテ、其ノ效果ノ非常ニ顯著ナコトヲ聽キマシテ、私等ハ非常ニ感謝致シテ居ルノデアリマス、併シ良キ上ニモ尙ホ良カレカシト御願ヒ申上ゲル所以ノモノハ、マダ此ノ方法ノ上ニ於テ若干不徹底ニ點ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、ソコデ結局私ハ項目ヲ申上ガマスト、モソト合理的ニ能率ノ上ルヤウナ方法ヲ確立シテ欲シイト云フコトデアリマス、ソレハ其ノ日働く目的ヲ生徒ニ、先づ前以テ徹底サシテ置クト云フコトナノデアリマス、其ノ場ニ臨ンデ先生が居テ説明スルヤウナ方法デハ、是ハ問題ニナリマセヌ、目的ガ確認サレマシタラバ、ソレハドウ云フヤウナ順序デ、ドウ云フ方法デ、効イタラ最モ能率ガ上ルノカト云フコトヲ、生徒自ラノ力デ考ヘサセルト云フコトガ、子供等ノ自發心ヲ創造サスペキモノダ、斯ナラバ、能率ハ今ヨリモグット上ツテ來ル方ニ此ノ點ヲ十分徹底サシテ、先生方ガ此ノ態度デ生徒ノ自發心ヲ本當ニ啓培致シマス、ウ云フ私ノ見解デゴザイマス、ドウカ先生コトハ、極メテ明力ナコトダト考ヘマスノデ、此ノ點特ニ考へテ戴キタイト思フノデアリマス、多分色々ノ御指示等モオアリニナルダラウトハ思ヒマスガ、地方ヲ廻ハツテ

居リマシテ、マダサウ云フヤウナ話ヲ聽イテ学
改良ノ餘地アリト云フヤウナ話ヲ聽イテ学
リマシタノデ、御参考ニ申上ゲルノデアリ
マスガ、是等ニ對シマシテモ御所見ヲ承ル
テ置キタノデアリマス

○小笠原政府委員　學徒ノ食糧増産協力、
及ビ一般ノ勤勞勤員ニ付キマシテ御話ガゾ
ザイマシタガ、食糧増産ノ問題ニ付キマシ
テハ、昨日樋口サンカラモ御話ガゴザイマ
シタシ、御趣旨ハ全ク御同感デゴザイマス
食糧増産ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ
學徒ノ勤勞ノ中デ、特ニ力ヲ入レテ是マデ
モ指導シテ居リマスガ、其ノヤツテ居リマス
スコトハ、オ二人カラ御話ガゴザイマシタ
ヤウニ、實ハ人ノ所ヘ手傳ヒニ行クト云フ
種類ノコトガ、從來ハ多ウゴザイマシタ
又其ノヤリ方ニ付キマシテハ、實ハ農商省ト
モ能ク連絡ヲ致シマシテ、文部省ト農商省
ダケデハ中々細カイ所マデ分リマセヌカラ
地方ノ農業會、現地ノ農業ニ從事シテ居ツタ
人達ト十分連絡ヲ取ツテ、實地ノコトヲレ
レ、斯ウ云フ風ナ指示ヲ致シマシテ、ソレ
デ具體的ニヤツテ行カウト致シテ居ツタ
ウナ次第ゴザイマスガ、今般ハドウシテ
モ人ノ所ヘ手傳ヒニ行クト云フコトガ多
ゴザイマシテ、御指摘ノヤウナ學生自身ノ
奉公心、或ハ愛國心ト云フモノニ訴ヘテ、
又出來レバ學生自身ノ創意ニ俟ツテト云フ
ヤウナ點ニ於テハ、從來ハマダ我々ノ指道
御趣旨ノヤウナ方向ニ益、努力ヲ致シタ
考ヘテ居リマス、一般ノ勤勞ニ付キマシニ
モ、其ノ方法ニ付キマシテハマダ／＼今後
今後ハ一層サウ云フ點ニ注意ヲ向ケマシテ、
一層ニ改善ヲ加ヘテ行カネバナラヌ點ガ澤山

ゴザイマセウト存ジマス、ソレ等ニ付テ御答ヘ申上シテハ、先日來此ノ問題ニ付テ御答ヘ申上
ゲタ中ニモ申シテ居ルノデゴザイマスガ、マダマダ現狀デハ足リマセヌノデ、今後一層
能ク研究ヲ致シマシテ、適切ナ方法ヲ講ズ
ルヤウニ致シタイト存ジテ居リマス、只今
具體的ナ方法トシテ、子供ノ隣組ト云フ御
話ガゴザイマシタガ、子供ノ隣組ヲ作りマ
スト云フ風ニ、只今ハツキリ御返事スルダ
ケノ用意ハゴザイマセヌケレドモ、兎モ角
其ノ趣旨ノアル點、モツト子供ノ自治的
ナ氣持、茲ニ自身ノ創意ト云フヤウナモノ
ヲ活カス、又教員モサウ云フ方ニ工夫ヲ凝
ラシテ活用シテ行クト云フ、其ノ趣旨ニ向
ツテ努力ヲ致シマスコトハ、モウ極力致シ
タイト存ジテ居リマス、此ノ點ヲ御答ヘ申
上ゲテ置キマス

ヲ獎勵スルコトヲ幾ラ家庭ニ言ツテモヤランケレドモ、兒童ノ辨當ヲ學校デ先生ガ検メマスト、兒童ノ辨當ダケヲ炊ク譯ニハ行ルモノデヤナイカト思フノデス、是等ニ付テハ全國一齊ニ兒童ヲ通ジテ厲行サセルト云フコトニ致シマスレバ、必ズ私ハ出來ルト思フノデゴザイマス、尙ホモウ一ソレニ付テ願ツテ置キタイコトハ食フコトデゴザイマスガ、元來咀嚼ヲセズニ食フコトガ日本ノ習慣ニナツテ居ル、現在何處ノ食堂へ參リマシテモ、私共能ク考ヘテ見マスルト、斯大抵白米ノ飯ヲ食ベルノト同ジヤウニロ一 杯頗張ル、サウシテ咀嚼ヲセズニ嚥下スルコトガ十中ノ八、九デゴザイマス、斯様ニ致シマスレバ、折角總理大臣カラ國民ニ向ツテ玄米食ヲ御獎勵ニナリ、尙ホ玄米食ノ榮養價值ニ付テモソレドモ指示指導ヲセラレテ居ルニモ拘ラズ、是ハ消化ヲ妨ゲルノミナラズ、榮養分ト云フモノハ無論吸收スル譯ニハ行カヌノデゴザイマス、兒童ガ辨當ヲ食フ時ニ、先生自ラ咀嚼ヲシテ四十回トカ五十回、兎ニ角嚼ンデ食ベルノダゾト教ヘテ、兒童ノ時カラ今少シク物ヲ咀嚼シテ食べル慣習ヲ付ケテ行クコトガ、戰時ノ現在ノ國策タル四「バーント」擣キヲ實行スルバルカリデナク、將來我ガ國ノ體位ノ上ニモ必要デアルト思フノデゴザイマス、ソレニハ先生自ラガ教室デ共ニ辨當ヲ食フコトデス、例ヘバ製絲工場デアル場長ガ先ヅ先ニ食ベテ、サウシテ工場長ト同ジヤウニ食べサセルノデゴザイマス、

ソレテ假令否込ンテシマツテモ、口ハ重ヌシテ居ラヌコトニハ工場長ガ承知ヲセヌ、ソレヲ一週間カソコラ續ケテヤツテ居リマスカラ此ノ四「パーセント」搗キ、即チ今ノ規定セラレタ米ニ致シマスレバ、節米ノ上ニ大變效果ガゴザイマス、辨當ヲ一ツ統一サセルヤウニ、例ヘバ郷土食ノ獎勵ニ致シマシテモ、明日ハ芋ノ辨當ヲ持ツテ來ルノダゾ或ハ芋ヲ半分混ゼテ來イト言ヘバ、芋ノ產地デアレバ是ガ常食デアリマシテ、何モ怪シムニ足ラヌ、サウスルト兒童ダケニ食べサセル譯ニハ行カヌカラ、勢ヒ家ノ者モソレヲ食ベル、サウナルト今ノ節米ノ上ニ非常ナ效果ガゴザイマス、若シ夫レ農家ガ一戸デ一日一合ヲ節米致シマスレバ、五百萬戸デ一年ニ丁度二百萬石違フノデゴザイマス、ゴザイマス、ソレヤ是ヤヲ考ヘマスト、ド現ニ於テ國家ガ外米ニ賴ル數ハサウ澤山デハナイ、農家ガ一日僅カ一合カ二合ヲ節約スレバ、外米ニ依存スル必要ハナインデゴウモ先生自ラガソレニハ贊成ガナイト見エル、ダカラ大抵ノ所ハイカヌガ、中ニハ中々勵行シテ居ル學校モアルノデゴザイマス、例ヘバ何デモサウデゴザイマス、自給肥料ヲ作レト言ツテ學徒勤員トシテヤラレマスル際、何々中學トカ何々學校ハ何處其處ノ山ノ草ヲ刈レト言ツテ刈ラセマス、サウシテ學校ノ校庭ヘ持ツテ來テ堆肥ヲ作ル、ソレハ宜シイ、成程堆肥ハ作リマスルガ、ソレハ子供ガ作ツタ堆肥ト云フダケデアリマシテ、今日ノ農村ハドチラカト言ヘバ、

肥料不足ト言ヒカガテモソレミリヨ生産ニ對スル心構ヘガ不足シテ居ルノデゴザイマス、例ヘバ他ニ錢儲ケガアリマスルガ爲ニ、農家ハ生産ハ減退シテモ農家ノ財政ハ裕カニナツテ居リマス、隨テ屋敷ノ利用スベキ肥料スラモ之ヲ利用セズシテ、一ニ政府ノ配給肥料ニ依存ヲシ、又勤勞奉仕ニ手傳ヒニ來テ貰フコトガ段々癡ガ付キマスト、是レ又依存シテシマヒマシテ、自ラ勵ム心構ヘガ不足シテ來ル、ダカラ同ジ草ヲ刈ラシテ堆肥ヲ自給サセルトシマシテモ、生徒ノ自分ノ家ノ附近ノ草ヲ刈ツテ自分ノ家ノ堆肥ヲ作レト云フ指揮ヲ致シマスルト、子供ハ早クカラ出テ野ノ草ヲ刈リニ行キマス、サウスルト親モ自然ニ之ヲ見セ付ケラレテ、當然出掛けルト思フノデアリマス、大抵ノ學校ハ校庭ニ堆肥ヲ作ラセルコトヲヤラセテ居リマスガ、教育ノ方ハソレデ宜イカモ知レマセヌガ、今日家庭ヲ刺戟スルト云フコトニナリマスト、個々ノ農家ニ堆肥ヲ作ラセルコトヲ先生ガ指揮ヲシタ方ガ效果ガアルノデゴザイマス、子供ハ御承知ノ通り親ノ言フコトハ聽キマセヌガ、先生ガ斯ウ言ツタト言ヘバ、ドンナニ朝寝ノ子供デモ必ズ起キテ來マス、ソレデ先づ敬神ノ觀念ヲ養成スル爲ニ、朝ハ神前ニ拍手ヲ打ツノダゾト言ツテ教ヘル、子供等ガ洵ニ幼キ手ヲ以テ神前デ拍手ヲ打チマスレバ、家ノ者マデモ知ラズ識ラズニ子供ニ教ヘラレテ、サンハ皆満洲ノ雪ノ降ル中、骨マデ凍ルアノ曠野ニ夜モ寢ズニ立ツテ居ル、サウシテスレバ、兎ヲ飼へト云ツテ、先生ガ、兵隊御苦勞ニナルノダカラ、其ノ人達ニ寒サヲ

農會ニ集メニ行キマシタ時ニ、二人ノ小サ
イ子供ガ兎ヲドウシテモ離サナイ、農會ノ
技手ヤ何カガ離セト言ツテモ、抱ヘテ居ツ
テ離シマセヌ、鞆ニ掛けテ商人ガ錢ヲ渡ス
ト言ツテモ、中々離サナイ、ソレカラ村長
ガ出テ來デ、坊ヤ、ナゼ渡サヌト言ツタス、
私ハオ父サンノ所ヘ送ルノダト言フ、錢ヲ
貰ツテ行ケト言ツタラ、私ハ賣リニ來タノ
デハナイ、親ガ出征ヲシテ居ルカラオ父サ
ンノ所ヘ送ル積リデ飼ツタノダ、村長サン
デナケレバ渡サヌト言ツテ、村長ニ素直ニ
渡シテ、御願ヒ致シマスト言ツテ錢モ貰ハ
ズニ歸ツテ行キマシタ、私ガ此處デ斯ウ言
ツテモ沟ニ情ガ移リマセヌガ、居延ブ者ガ
皆之ヲ見テ涙ヲ零サヌ者ハナカツタノデア
リマス、此ノ兎ニ匹ヲ二人ノ兄弟ガ一匹ヅ
ツ抱ヘテ來デ、村長サンニ渡シテ行クノダ
ト言ツテ渡サナカツタ、サウンシテ錢モ貰ハ
ズ御願ヒシマス、是ハ私ノ戰地ヘ行ツテ居
ル親ヘ送ルノダト云フヤウニ、子供ニハ先
生ガ戰地ノ兵隊サンニト言ヘバ、單純ニ深
クソレガ徹スルコトデアリマスカラ、兒童
ノ此ノ純眞ナ所カラ家庭ニ及ボス影響ト云
フモノハ、實ニ想像以上ニ重大ナ力ヲ帶ビ
テ居ルモノダト思フノデアリマス、斯様ナ
點カラ私ハ文部省ガ農商省ト御協議ヲナサ
ランデモ、積極的ニ文部省トシテ、全國ニ
一千萬モアル兒童ヲシテ國策ニ順應シ、サ
ウ云フ材料ヲ以テ精神的ニモ、今ノ戰意昂
揚ニモ、戰力增强ニモ活用スベク、私ハ指
揮命令ヲ下サレル必要ガ大イニアルト思フ
ノデゴザイマス、行フコトハ洵ニ零細ナリ

ト雖モ、昨日大臣モ言ハレマシタ通り數ノ
多イコトデゴザイマスカラ、是レ位徹底セ
ルモノハゴザイマセヌ、私共實地ニ居リマ
シテ、此ノ食糧ノ増産ヲ致シタイト思ツテ
居ル中デ猫ノ手モ借りタイ、本當ニ先生ガ
指揮サレテ、學校ノ子供ノ力ガ借リタイノ
デゴザイマス、此ノ點ニ於テ私ハ教育上ハ
勿論ノコト、食糧確保ノ上カラ切ニ御願ヒ
ヲ致ス次第デアリマス

シテ、學籍簿委員會デ記載サレタ所ノ學籍簿ヲ、其ノ儘報告書ニ轉記スルト云フヤウナ方法ヲ執リマシテ、ソコニ情實ノ起ラナイヤウニ十分ニ於キマシテ起リマシタ、身體検査ニ付テノ色々ナ問題ニ付キマシテモ、從來採點ノ方法ガ餘り階段ガ多ク分レ過ギテ居ツタト云フ點ニ無理ヲ生ジテ居ツタト云フヤウナ點モ是正致シマシテ、又一般的ニハ出來ルダケ綜合考査制、或ハ又學區制ヲ採リマシテ、成ベク優秀ナ生徒ハ漏レナク何處カノ學校ニ入り得ルヤウニ致シマシテ、父兄ノ不安ヲ除クト云フ方法ヲ原則的ニ全國ニ執ラセルコトニ致シマシテ、制度上ノ缺陷ヲ出來ルダケ是正スル方法ヲ執ツタノデアリマス、尙又一面考ヘナケレバナラヌコトハ、此ノ問題ハ大キナ社會問題デアリマシテ、特ニ父兄ガ現在入學制度ニ對シマシテ、十分ナ理解ヲ持タルコトガ必要デハナイカ、自分ノ子供ヲ可愛ガルコトハ父兄トシテハ當然ノコトデアリマスケレドモ、其ノ結果自分ノ子供ノ能力以上ノ學校ヲ志願セラレルト云フ所ニ色々々ナ問題ガアルノデハナイカ、或ハ父兄ノ虚榮デアルトカ、或ハ又名譽慾ト云フヤウナコトガ絡ミマシテ、サウ云フ問題モ出テ來ルノデハナイカト私ハ思ヒマス、斯ウ云フ點ニ付テハ、私共教育ニ關係シテ居ル者ガ、全體トシテ此ノ問題ニ對シマシテ、將來トモ十分慎重ナル研究ヲ致サナケレバナリマセスト共ニ、父兄側ニ於カレマシテモ、十分現在ノ制度ニ對シマシテ心カラ御理解願ヒマシテ、兩者相俟チマシテ、將來不正事件ヲ無クナラシメルヤウニ致サナケレバナラヌト思ツテ居リマス、今後トモ私共ハ出來ルダケ努力致シマ

○水谷委員 只今詳細ナル御説明ヲ承リマシタガ、結局私等ノ憂フル所ハ、此ノ大日本育英會法ノ第一條ニモ「優秀ナル學徒ニシテ經濟的理由ニ因リ修學困難ナルモノ」云々ト云フコトガアリマスガ、從來ア、云フヤウナ疑獄ガ起リマシテ、入試問題ト云フモノガ歪メラレタキニハ、如何ニ優秀ナ學徒デアツテモ、家ガ貧シクシテ先生ニ付ケ届ケガ十分行届カナイ爲三入學ガ出來ナイ、親ガ今度ノ育英法案ニ依ツテ金ヲ借りルト云フノデナシニ、親ガ食フ物モ食ハズニ子供ヲ進學ササウト云フモノニ對シテ、非常ナル暗影ヲ投ジテ居ルコトハ事實デアリマシテ、私ノ子供ハ非常ニ良ク出來ルノデスマガ、家ガ貧乏デ入ルコトガ出來ナカツタト云フヤウナ苦情ヲ度々聞カサレタノデゴザイマシテ、此ノ度ノ育英法案ガ出來ルト共ニ、其ノ問題ハ十分文部當局ニ於テ能ク善後處置ヲ執ツテ戴キタイト思フノデゴザイマス、ソレデ今度文部當局案ト致シマシテ——是ハ私へ京都選出ノ代議士デ京都ノコトヲ自慢スルノデハナイノデスガ、大體前ノ内申制度ダケデハ缺點ガアルト云フノデ、京都ニ於キマシテハ、口頭試験ヲ簡單ニ行ヒマシテ、人物考査ト申シマスカ、ソレデヤツテ居ツテ、其ノ弊害ヲ幾つか除去出来タノデアリマス、此ノ度ノ文部省ノ案ニ依リマスト、一ト二トハ京都ノ案通りデゴザイマシテ、三ハ場合ニ依レバ簡單ナ筆記試験ヲ行フ、是ハ岡部文部大臣ガ去年ノ暮デスカ、京都へ來ラレタ時ニハ、新聞ノ發表スル所ニ依レバ、京都ノ案ヲ非常ニ褒メテ

○阿原政府委員 只今沟ニ御注意深イ御示唆ヲ戴キマシテ洵ニ有難ウゴザイマス、今回改正致シマシタ入學考査制ニ付テモ、御準備ノ方法ガナイ、又教ヘル先生ノ方ニモ準備ガ非常ニ難カシイノデ、例ヘバ高等學校ヲ卒業ヲシテ帝大ノ法科ヘ入ルト云フ時ニ、皆一應經驗スルノデアリマシテ、例ヘバ「ローマ」文明史ニ付テ試問サレタ時ニ、偶然「ギボン」ノ「ローマ」史デモ讀ンデ居レバ其ノ答案ガ書ケルノデスガ、普通ノ高等學校ノ生徒ハ、「ローマ」文明史ト云フヤウナ漠然タル問題ガ出ルト、非常ニ間誤ツクカラ、簡單ナ筆記試験ト云フモノハ寧ロオバ其ノ上ニ單ニ口頭試験ダケラ行ハレ、バソレデ宜イノデアリマシテ、場合ニ依レバ簡単ナ筆記試験ヲ行フト云フコトハ、其ノ運用如何ニ依リマスレバ、又昔ノ筆記試験中心主義ト云フコトニナリマシテ、兒童ノ負擔或ハ豫備教育、ソレニ絡マル兒童ト教員トノ交渉取引ト云フヤウナモノガ起ツテ來マシテ、其ノ運用如何ニ依リマスレバ、前ノ試験制度ノ弊害ニ戻ルノデハナイカト思フノデアリマス、是ガ一點デアリマス

ソレカラ更ニ又此ノ度ノ文部省案ハ、今度ノ疑獄問題トハ獨立シテ入學試験問題ト云フモノハ講ゼラレナケレバナラヌト云フ通ジテ私ハ知ツタガ、場合ニ依レバ簡單ナ筆記試験ヲ行フト云フコトハ、文字デ表ハセバ何デモナイノデスガ、是ハ運用如何ニ依リマスト、非常ニ又難カシイ問題デアリマシテ、筆記試験ヲ行フナラバ行フデ、ハツキリシタ科目デ十分ナ筆記試験ヲ行フト云フコトニナレバ、ソコニ兒童ノ努力心ヲ向上サセ、十分ノ準備モ出来テ、又準備ノ見當モ付キマスルガ、簡單ナ筆記試験ト云フコトニナリマスト、中々兒童ノ方ニモ其ノ準備ノ方法ガナイ、又教ヘル先生ノ方ニモ準備ガ非常ニ難カシイノデ、例ヘバ高等學校ヲ卒業ヲシテ帝大ノ法科ヘ入ルト云フ時ニ、皆一應經驗スルノデアリマシテ、例ヘバ「ローマ」文明史ニ付テ試問サレタ時ニ、偶然「ギボン」ノ「ローマ」史デモ讀ンデ居レバ其ノ答案ガ書ケルノデスガ、普通ノ高等學校ノ生徒ハ、「ローマ」文明史ト云フヤウナ漠然タル問題ガ出ルト、非常ニ間誤ツクカラ、簡單ナ筆記試験ト云フモノハ寧ロオバ其ノ上ニ單ニ口頭試験ダケラ行ハレ、バソレデ宜イノデアリマシテ、場合ニ依レバ簡単ナ筆記試験ヲ行フト云フコトハ、其ノ運用如何ニ依リマスレバ、又昔ノ筆記試験中心主義ト云フコトニナリマシテ、兒童ノ負擔或ハ豫備教育、ソレニ絡マル兒童ト教員トノ交渉取引ト云フヤウナモノガ起ツテ來マシテ、其ノ運用如何ニ依リマスレバ、前ノ試験制度ノ弊害ニ戻ルノデハナイカト思フノデアリマス、是ガ一點デアリマス

立ツテヤツタモノカト云フ御尋ネデアリマスガ、大體今回ノ改正ハ、從來ノ趣旨ヲ根

本的ニハ變ヘテ居リマセヌノデ、其ノ點ニ
於キマシテハ文部省ト致シマシテハ、不正
事件ガアツタカラ臨時のニ斯様ナ處置ヲシ
タト云フ者ヘデハゴザイマセヌ、其ノ點御
諒承願ヒタイト思ヒマス

○岡部國務大臣 今政府委員カラ申上ゲタ
ヤウナ趣旨デアリマシテ、私カラ申添ヘル
ヤウナコトハナイト思ヒマス

○水谷委員 他ノ質問ハ留保シマシテ私ノ
質問ハ一先ゾ是デ打切りマス

○小柳委員長 森田重次郎君

○森田(重)委員 先程事務的ナ問題ニ付キ

マシテ局長ノ方々ニ御伺ヒ致シタノデアリマ

スガ、併シ一應是ハ大臣ニモ御聽取ヲ願ツテ

置キタカツタノデアリマス、ドウカ後デ一應

御調べ下サイマシテ、實施ノ出來ルコトハ速

カニ實行ニ移シテ戴クヤウニ御願ヒ致シマス

ソコデ一ツ大臣ノ御意見ヲ御伺ヒ致シ

タイコトハ、創造教育ニ關スルコトデア

リマス、是ハ昨年ノ豫算總會ニ於テモ若

干私質疑ヲ致シタコトガアリマスガ、日

本ノ教育ハ創造教育ト云フコトヲ忘却致

シテ來タモノデアルト言ハレテモ、辯解ノ

餘地ノナイ程形式的ナモノニ陥ツタコトハ、

大臣御承知ノ通リデアリマス、唯一タビ今

ヨリ十數年前ニ、日本ノ國ニ創造的ニ教育

學ト云フヤウナ一ツノ傾向ガアツタノデア

リマス、ソシテは自由主義的教育學ト云

フヤウナ名ニ於テ採用セラレマシタ、併シ

是ハ道徳的ナ面デ、人間ヲ放縱ナランムル缺

點ヲ暴露致シマシタノデ、文部省トシテモ

是ハ非常ニ御憂慮ノ餘リデアツタラウト思

ヒマスガ、斯ウ云フ方向ノ教育方法ト云フ

モノハ、阻止シテシマツタ云フ次第デアリ

マス、當時又學界ニ於キマシテモ、之ニ對

テ居ル次第デアリマス、是ハ文部省トシテ

シテ相當ノ反擊ガアツタ事實モアリマス、

ソコデ創造教育ト云フ方面ノ研究ハ爾來足

踏ミニノ姿デアリマス、談偶、創造教育ニデモ

及ビマスト、文部省カラ睨マレルデハナイ

カ、雜談ナドニ書イテモ文部省カラ睨マ

レテ、オ小言ヲ頂戴スルト云フノデ、學者

現在日本ノ教育界全般ヲ通ジテ見マシテモ、

此ノ教育方法ヲ助長シテ行カウトスル面ハ

除カレテシマツテ居ルノデアリマス、是ニ

ハ一ツノ理由ガアリマス、ソレハ先程申上

ゲマシタ通り人間ノ道徳面ヲ放縱ナラシメ

ルヤウナ缺點ヲ包藏シテ居ルモノデアリマ

スカラ、此ノ面ハ當然是正シナケレバナラ

スノデアリマス、併シ乍ラ其ノ創造的教

育學ノ含ム内容ニ果シテ良イ方同ガナカツ

申上ゲマスルガ、文部省ノ今マデヤツテ居

ラレル教育デハ駄目ダト云フ聲ガ或ル方面

デハ非常ニ高イ、ナゼ高イカト言フト、今

ヘサセラレル節ガアル、是ハ大臣ニ率直ニ

却サレルヤウナ形ニナツテ來タ、是ハ憂フ

ベキ現象ダト思ヒマス、大東亞戰爭ニ勝チ

ガラ内ナル創造ノ面ト云フモノガ非常ニ閑

見ヲ御伺ヒ致シタイコトハ、私ノ只今申シ

マシタ前提ガ正シイト致シテ下サルナラバ、

大臣ハ今マデ文部省ノ中ニ横タハツテ居ル空

氣、即チサウ云フ創造教育ノ研究ト云フ様

ナコトヲ成ベク止メテシマハウト云フ空氣

ヲ、文部省内カラ一掃致シテ頂キタイノデア

リマス、今デハ文部省モマサカソンナコト

ヲ考ヘテ居ラナイデセウガ、學者ノ面デハ

ソンナコトヲ考ヘテ居ルモノガ澤山アリマ

ス、ダカラ此ノ空氣ヲ一掃スル意味ニ於テ、

創造發見ノ最モ適當ナル教育方法ヲ研究サ

セルヤウナ空氣ヲ醜醜シテ貰フヤウニ指導

シテ戴キタイ、隨テサウ云フヤウナ教育學

ノ研究ト云フヤウナモノガ、將來學者ニ依

ツテ助長サレテ行クヤウナ一ツノ方向ヲ大

臣ニ採ツテ戴キタイ、斯ウ思フノデアリマ

ト私ハ思フノデアリマス、ソレデアリマス
カラ我々ハ此ノ目的ヲ完成スル爲ニハ、今
直面シテ居ル現戦局ニ全力ヲ傾注シナケレ
バナラスコトハ無論ノコトデアリマスガ、
是ト同時ニ聖戦ノ持ツテ居ル全人類的意義
ヲ世界ニ宣明致シマシテ、敵國ノ持ツテ居
ル不法ナル戦争目的ヲ粉碎シナケレバナラ
ナイ思フノデアリマス、固ヨリ我ガ肇國ノ
理想ガ天皇歸一ノ國體ニ體現セラレマシ
テ、「理事一如」ノ姿ニ於テ實現セラレ居リ
マスルコトハ、三千年ノ歴史ニ照シマシテ明
カナコトデアリマスルカラ、今更言舉ゲノ
必要ハナイデハナイカト、斯ウ言ヘバ言ヘ
ナイコトモアリマスマイ、併シナガラ私ハ
サウハ思ヒマセヌ、道が明カナラウトスル
ニハ必ズ其ノ道ノ對比者ヲ求ムルト云フノ
ガ自然ノ原則デアリマス、ソレデアリマス
カラ、我ガ皇道發展ノ歴史ヲ見マシテモ、
古來儒教ガ渡ツテ參りマスル際ニハ、儒教
ニ依ツテ日本ノ光ト云フモノハ益輝キ、又
佛教ノ渡來致シマスルヤ、若干ノ摩擦ハア
リマシタケレドモ、是レ亦日本ノ本當ノ
皇道ノ姿ヲ説明、註釋スルニ役立ツタト云
フ次第ナノデアリマス、明治ノ世ノ中ニ
ナリマシテカラ、泰西ノ思想ガアリマシ
テ、ソコニ色々々ノ經緯ガアツタニハ致シ
マシテモ、兎ニ角ソレ等ノ色々々ノ諸思想ト
云フモノヲ超剋致シマシテ、統一サレタ姿
ニ於テ今日ノ戰爭ニ私ハ突入スルコトガ出
來タモノダト、斯ウ見ル、ソコデ我々ト致シ
マシテハ此ノ湛ヘラレタ生命力、「皇道ノ體現
者我ガ日本」ハ對立スル思想ニ遭遇スル毎
ニ、一ツノ根本態度ヲ持ツテ居リマス、ソレハ
決シテ思想的自己閉鎖ニ陥リマセヌ、能ク
之ヲ攝取シ、能ク之ヲ選擇シ、益其ノ本質

ヲ闡明ナラシメテ、愈、生成發展ノ度ヲ加ヘ
テ參ツタモノガ今日ノ姿デアリマス、此ノ
コトヲ考ヘマスルト、全ク是ハ我ガ國體ノ
特質ト我ガ民族生命力ノ拔群ナルモノデア
ルコトヲ物語ルモノデアリマシテ、此ノ生
活態度ト云フモノハ、我ガ民族ノ生活指針
トシテ將來モ取ラルベキモノデアルト云フ
コトヲ私ハ確信シテ疑ヒマセヌ、今ヤ固牢
デアル蔣政權竝ニ米英的霸道主義打倒ヲ具
體的目標ト致シマシテ、思想的ニモ一大鬪
爭ヲ展開シテ居ルノデアリマスルコトハ、
過般ノ大東亞會議ニ於ケル大東亞宣言ニ徵
シマシテモ、洵ニ大東亞共榮圈建設ノ原則
的礎石ヲ置カレタト見ルノデアリマシテ、
私等ハ非常ナ喜ビトスルモノデアリマス、
ソコデ此ノ際我々ガ考ヘナケレバナラナイ
ノハ、宣言ガ分ルシ、大體ノ綱領ハ只今大臣
居ルノデアリマスガ、其ノ綱領ハ只今大臣
ノ御意見デモ、必ズシモ十分ダトハマダ考
ヘラレナインデ、モット研究ノ度ヲ進メル
必要ガアルト云フ御意見ノヤウニ承ツタノ
デアリマスガ、洵ニ其ノ通リナノデアリマ
シテ、我々ハ只今ノ大東亞宣言ノ根本基調
ヲナシテ居ル皇道ニ對スル根本的思想體系
ト云フモノヲ茲ニ創造形成シ、而モ此ノ上
ニ立ツタ政治、經濟、文化等、萬般ニ瓦ル
實踐原理ヲ茲ニ確立シナケレバナラス、バ
ラバラデハ駄目デアル、皇道的體觀ハ皇
道的世界觀、其ノ他ノ經濟ノ原理ハ經濟ノ
原理トバラ／＼デハ駄目デアル、ヤハリ一
貫シタルモノトシテは樹テラレナケレバ
ナラナイ、斯ウ云フ風ニ根本哲理ガ立ツテ
而モ其ノ裏ニ根本的ナ日本ノ信仰ガ要ル、
ソレカラ根本哲理、其ノ次ニ此ノ根本哲
理ガ實際生活ニ下ウ具現スルカ、世界經營

ニドウ具現スルカト云フ、其ノ一貫セル一
ツノ體系ト云フモノガ其處ニ立ツ、是ノ闡
明ト大宣布ニ依ツテ初メテ世界各民族ノ間
モノガ樹立スルモノダト私ハ思フノデアリ
マス、此處マデハドナタモ御贊成ダラウト
思ヒマス、ソコデ私其ノ次ニ一步入ツテ申
上ゲタイコトハ、一體此ノ思想體系ノ根本
的性格ト云フモノハドウナラナケレバナラ
ナイモノカ、ソコデ私ハ此ノ片鱗ニ觸レテ
見タイ、ソレハ結局、我ガ國體ノ本義ヲ明
徴ナラシメ、我ガ國ニ妥當スルバカリデハ
ナク、同時ニ全人類ニ妥當スル普遍價値ヲ
見タイ、ソレハ結局、我ガ國體ノ本義ヲ明
徴ナラシメ、我ガ國ニ妥當スルバカリデハ
ナク、同時ニ全人類ニ妥當スル普遍價値ヲ
持ツモノデナケレバナラナイト云フコトデ
アル、換言スレバ、ソレハ日本の具體特殊
個性デアルト共ニ、世界的普遍價値ヲ持ツ
テ居ル具體即普遍ノ哲理ニ立脚スルモノデ
ナケレバナラナインデアリマス、ソレニ依
ツテ米英的自由主義等々ノ思想ヲ超剋致シ
而モソレハ燦然トシテ世界ニ其ノ比疋ヲ見
ザル底ノ綜合價値ヲ持ツモノトナラナケレ
バナラナインダト私ハ思フ、固ヨリ斯ウ云
フ思想體系ヲ樹立スルニ當リマシテハ色々々
方法ガアリマセウ、日本ニモ色々々ノ方法ガ
アルヤウデアリマス、併シナガラ若シソレガ
古イ方法ニ泥ンデ、固牢ナル觀念的ナ方法ニ
立籠リ、他ノ方法ヲ排擠スルコトヲ是レ事
トスル、所謂私ノ言フ閉鎖的態度ニ陥リコ
トガアツタナラバ、是ハ私ハ斷ジテイケナ
イト思フ、ト同時ニ他面思想統一ノ時代的
役割——即チ今ノ日本ハ思想統一ガ大事ダ
ト云フ意味ニ於テ、其ノ思想統一ノ面ニバ
カリ目ガ眩レ、其ノ統一ノ方法ニ急ナル餘
リ、我ガ民族ノ持ツテ居ル叡智的創造力ト
云フヤウナモノヲ抑制スルヤウナコトデアリ

マシテハ、純ニシテ淳乎タル皇道的世界觀ノ
樹立ト云フコトハ到底望ミ得ナイコトニナル
ト思フノデアリマス、若シサウ云フヤウナ態
度ガアツテ、サウシテ私ノ申上ゲルヤウナ
ニ、本當ニ根本的ナ皇道了解ノ基調ト云フ
コトヲ考ヘマスルト、是ノ闡明ト大宣布ニ依
ツテ初メテ世界各民族ノ間の體系が出來ナイト云フコト
活態度ト云フモノハ、我ガ民族ノ生活指針
トシテ將來モ取ラルベキモノデアルト云フ
コトヲ私ハ確信シテ疑ヒマセヌ、今ヤ固牢
デアル蔣政權竝ニ米英的霸道主義打倒ヲ具
體的目標ト致シマシテ、思想的ニモ一大鬪
爭ヲ展開シテ居ルノデアリマスルコトハ、
過般ノ大東亞會議ニ於ケル大東亞宣言ニ徵
シマシテモ、洵ニ大東亞共榮圈建設ノ原則
的礎石ヲ置カレタト見ルノデアリマシテ、
私等ハ非常ナ喜ビトスルモノデアリマス、
ソコデ此ノ際我々ガ考ヘナケレバナラナイ
ノハ、宣言ガ分ルシ、大體ノ綱領ハ只今大臣
居ルノデアリマスガ、其ノ綱領ハ只今大臣
ノ御意見デモ、必ズシモ十分ダトハマダ考
ヘラレナインデ、モット研究ノ度ヲ進メル
必要ガアルト云フ御意見ノヤウニ承ツタノ
デアリマスガ、洵ニ其ノ通リナノデアリマ
シテ、我々ハ只今ノ大東亞宣言ノ根本基調
ヲナシテ居ル皇道ニ對スル根本的思想體系
ト云フモノヲ茲ニ創造形成シ、而モ此ノ上
ニ立ツタ政治、經濟、文化等、萬般ニ瓦ル
實踐原理ヲ茲ニ確立シナケレバナラス、バ
ラバラデハ駄目デアル、皇道的體觀ハ皇
道的世界觀、其ノ他ノ經濟ノ原理ハ經濟ノ
原理トバラ／＼デハ駄目デアル、ヤハリ一
貫シタルモノトシテは樹テラレナケレバ
ナラナイ、斯ウ云フ風ニ根本哲理ガ立ツテ
而モ其ノ裏ニ根本的ナ日本ノ信仰ガ要ル、
ソレカラ根本哲理、其ノ次ニ此ノ根本哲
理ガ實際生活ニ下ウ具現スルカ、世界經營

デアリマスガ、洵ニ結構ナモノガ澤山アリマスノデ、此ノ點ニ對シテハ私ハ敬意ヲ表スルモノデアリマス、併シ今申上ダマシタヤウナ、日本ノ世界的ニ持ツテ居ル役割、ソレニ對シテ應ヘル思想體系ノ樹立トシテハ、其ノ研究ノ方法ナリ研究ノ方向ナリ、又其ノ規模ニ一大革新ヲ加ヘテ、サウシテ私ノ今御願ヒ申上ガ夕方向ニ合フヤウニ、是ハ擴充サレテ行カナケレバナラナイモノダ、斯ウ云フ風ニ私ハ信ズルノデアリマス、其ノ具體問題トシテノ國民精神文化研究所ノ研究方法ノ再検討、ソレカラ日本ノ叡智的適格者ノ動員ト云フコトノ二ツノ點ニ付テ、具體問題トシテ大臣ノ御所見ヲ承リタル通リ「之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニイ、ソレト同時ニ、今私ノ申上ダマシタ大體ノ方向ニ付テノ御批判ヲモ得タイト思フノデアリマス。

○岡部國務大臣 只今ノ御意見ハ是レ亦全然御同感デアリマシテ、眞ニ日本の世界觀ト云フモノハ、教育勅語ニ仰セラレテ居ル通リ「之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス」ト云フノガ、眞ノ日本ノ相ダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ大御教ニ副フヤウナ眞ノ日本人ヲ造ツテ行ケバ問題ナイト考ヘテ居リマスガ、今御話ノ通り叡智的適格者ヲ動員シテ此ノ理念ヲ確立スルト云フコトニ付キマシテハ、昨日モ御答辯申シタノデアリマスガ、思想對策ニ付テノ追加豫算モ此ノ度出テ居ルヤウナ譯デアリマシテ、ソレ等ニ依リマシテ出來ルダケノコトハヤツテ行キ、又サウ云フヤウナ適格者ニ研究題目等モ與ヘテ、所謂動員ヲシテ行キタイト考ヘテ居ル譯デアリマスソレカラ國民精神文化研究所ノコトデアリマスガ、是ハ昨年ノ整理ノ際ニ國民鍊成

所ト合併致シマシテ、教學鍊成所ト云フコトニ致シマシタ、是ハ研究ト同時ニ鍊成ト云フコト、所謂行學一致ノ修練ヲ積ミツ、私ノ今御願ヒ申上ガ夕方向ニ合フヤウニ、是ハ擴充サレテ行カナケレバナラナイモノダ、斯ウ云フ風ニ私ハ信ズルノデアリマス、其ノ具體問題トシテノ國民精神文化研究所ハナクナツタノデアリマス、併シ此ノ仕事ハ固ヨリ必要ナコトデアリマスノデ、益、ヤツテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ル譯デアリマス、此ノ思想對策ノ上カラ申シマシテモ、是等ノ點ガヤハリ取上ゲラレテ行クコト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ斯ウ云フ研究トカ云フヤウナモノハ、動トモシマスト作文ニ終ル、或ハ出版ニ終ルト云フヤウナコトガ多イノデアリマシテ、ソレガ實社會ノ實生活ニ滲ミ込シ行クト云フ所ニ、中々困難ガアルノデアリマス、サウ云フヤウナ研究ヲシ、色々ノ良イ智慧ヲ拜借シテモ、唯其ノ人達ガ研究ノ報告ヲシタト云フダケデハ何ニモナラナイノデアリマシテ、ソレヲ如何ニシテ活カシテ行クカト云フ所ニ又非常ナ工夫モ要リ、努力モ要スルコト考ヘルノデアリマス、是等ハ文教ノ府ト致シマシテハ、出來ルダケイ努力ヲシテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ル譯デアリマスガ、固ヨリ是ハ各方面努力モ要スルコト考ヘルノデアリマス、ハ幸ヒト云ヘバカシイデスガ、此ノ戰爭ガ起ツタ爲ニ文科ガ一應半ば閉鎖フヤウナ相ニ變リマシタ、隨テ先生方ハ手ノ空イテ居ル方ガアル、是ハ天ノ與ヘタ機會デアルト思フ、之ヲ有利ニ利用スルコトヲ御考ヘ下サツタナラバ、私ハ非常ニ意味ガアルコトデアルト思フ、禍ヲ轉ジテ福トナス、是ハハーツノ政治的ナ契機デヤナイカト私ハ考ヘル、ソコデ今申上ダマシタ根本的ナ理念體系ガ確立シテ、ソコカラ整然タルハーツノ政治的ナ契機デヤナイカト私ハ考ヘル、ソレカラ精神科學者ガ丁度手ガ空イタカ研究方法ト云フモノガ確立サレマスカラ、其ノ分ケラレタモノハ常ニ根本的ナモノト連繫アルヤウナ相ニ於テ部分ケシテ研究シテ行クノダ、斯ウ云フヤウナ方法ヲ文部省ガ指導シ、且ツ今闇ニナラレタ先生方ヲサ戴キタイト私ハ思ヒマス、ソレトモウ一ツウ云フ方面ニ動員スルト云フコトモ、非常リマスガ、是ハ昨年ノ整理ノ際ニ國民鍊成附加ヘテ申上ゲテ置キタイコトハ、日本諸學

研究ト云ツタヤウナコトデ、相當ノ豫算ヲ取ラレテオヤリニナツテ居ルヤウデアリマス、併シ是ハ成程日本諸學ト云フコトニナ学問研究ヲ進メテ行クト云フコトニ改マリマシテ、今日ハアノ元ノ儘ノ國民精神文化研究所ハナクナツタノデアリマス、併シ此ノ仕事ハ固ヨリ必要ナコトデアリマスノデ、益、ヤツテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ル譯デアリマス、此ノ思想對策ノ上カラ申シマシテモ、是等ノ點ガヤハリ取上ゲラレテ行クコト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ斯ウ云フ研究トカ云フヤウナモノハ、動トモシマスト作文ニ終ル、或ハ出版ニ終ルト云フヤウナコトガ多イノデアリマシテ、ソレガ實社會ノ實生活ニ滲ミ込シ行クト云フ所ニ、中々困難ガアルノデアリマス、サウ云フヤウナ研究ヲシ、色々ノ良イ智慧ヲ拜借シテモ、唯其ノ人達ガ研究ノ報告ヲシタト云フダケデハ何ニモナラナイノデアリマシテ、ソレヲ如何ニシテ活カシテ行クカト云フ所ニ又非常ナ工夫モ要リ、努力モ要スルコト考ヘルノデアリマス、是等ハ文教ノ府ト致シマシテハ、出來ルダケイ努力ヲシテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ル譯デアリマスガ、固ヨリ是ハ各方面努力モ要スルコト考ヘルノデアリマス、ハ幸ヒト云ヘバカシイデスガ、此ノ戰爭ガ起ツタ爲ニ文科ガ一應半ば閉鎖フヤウナ相ニ變リマシタ、隨テ先生方ハ手ノ空イテ居ル方ガアル、是ハ天ノ與ヘタ機會デアルト思フ、之ヲ有利ニ利用スルコトヲ御考ヘ下サツタナラバ、私ハ非常ニ意味ガアルコトデアルト思フ、禍ヲ轉ジテ福トナス、是ハハーツノ政治的ナ契機デヤナイカト私ハ考ヘル、ソレカラ精神科學者ガ丁度手ガ空イタカ研究サセタラドウカ、是レ亦御同感デアリマシテ、既ニ先般ノ閣議決定ニ於テモ、文科系統ノ學者ハ教育面カラ大分手ガ空キマスノデ、此ノ精神科學方面ノ研究ニハ補助金ヲ出シテ之ヲヤラセヨウト云フコトニシ

テ居ル譯デアリマス、ソレカラ尙ホ今御話ノ學術研究會議、之ニヤハリ文化面ヲ設ケラコトニナリマシテ、本年度ノ豫算ニ既ニ一部費用ハ取レテ居ルノデアリマス、此ノ科學方面ノ研究ガ、御承知ノ通り今マデバラデアツタモノヲ、今度ノ必要カラ委員會等モ設ケマシテ、連絡ヲ図ツテ其ノ效果ヲ舉ゲテ行クコトニ今ヤツテ居ル譯デアリマス、文科系統、精神科學方面ニ於キマシテモ同様デアリマシテ、研究ガ連絡アリ、又オ互ヒニ力ヲ協セテ行クト云フコトニナリマスト、ソレガ本當ニ役ニ立ツ生キタ立派ナモノガ出來上ルト考ヘテ居リマスノデ、先ヅ兎ニ角此ノ學術研究會議ニ於ケル精神文化系方面ノ會員ト云フモノモ連絡ヲ十分ニ緊密ニシテ、所謂共同研究的ナ形ニ於テ其ノ實績ヲ舉ゲテ行クヤウニシテ戴キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、今大東亞文化研究所ト云フヤウナモノヲ設ケタラドウカト云フ御意見、是ハ洵ニ結構ナ御意見ト考ヘマス、是ガ實現ニハ努力ハシテ見タイトト考ヘマスルガ、直チニ御約束ハ致シ兼ネル次第デアリマス

テハ分ツテ居ルモノノヤウデハアリマスル
ガ、遲々トシテ實現ノ方向ニマデハマダ達
シテ居ナイ、何カシラマダ明朗ヲ缺クモノ
ガアルヤウデアリマスカラ少シ理窟ヲ申上
ゲテ見タイト思ヒマス、私ノ理窟ヲ申上ゲ
マシテ大臣ノ御所見ヲ御伺ヒシタイ、我ガ
皇道ハ決シテ單ナル理ノ道デハアリマセヌ、
又單ナル實理ノ道デモアリマセヌ、全ク天
皇歸一ノ信ニ依據スル理事一如ノ綜合的體
驗ヲ根本性格トシ、全人類解放ノ願ニ立ツ
モノデアリマシテ、中外ニ普遍シ、古今ニ
通ジテ謬フザル三千年不斷ノ傳統的血脈デ
アルト私ハ考ヘテ居リマス、併シテガラ是
ハ先憂藤田東湖先生モ嘗テ正氣ノ歌ニ於テ
誦ジマシタル通り、時ニ依ツテ危機ガナカ
ツタノデハアリマセヌ、唯不思議ニモ其ノ都
度身ヲ挺シテ國體ヲ擁護スル「國師」「正師」
ガ現ハレマシテ、以テ皇國ヲ萬代ノ安キニ置
クコトヲ得タノデアリマス、此ノコトハ實
ニ不可思議ナコトデアリマシテ、我等國民
ノ銘記シナケレバナラナイ一大因縁事ダト
生シテ來ルト云フ姿ノ儘ニ、所謂「師道」ト云
私ハ考ヘテ居リマス、所デ斯ウ云フ風ニ何
カ國家ノ危機ニ際會シタ時ニノミ自然ニ發
カは問題ナノデアリマス、私ハ茲ニ日本
教育界ノ反省スベキ根本問題ガアルト考ヘ
テ居リマス、大東亞戰爭ノ開始ハ、國民ノ
フモノヲ任シテ置イテ宜イノデアルカドウ
カ是ガ問題ナノデアリマス、私ハ茲ニ日本
總テニ國體ノ本義ニ省ミルノ機會ヲ與ヘテ
育ノ根本契機トナルモノダト思フ、ソコテ
私ハ今回ノ此ノ戰爭ヲ契機トシテ今マデ自然
發生的ニ出テ來タ皇道ノ傳統的、血脉、滴々
相續ノ師道、此ノ確立ヲ意識的ニ取上ガ
ル時代ガ來タ存ジマス、サウシテ之ヲ常

佳化スル爲ニ教育本來ノ場ニ師道ト云フモノヲ取上ゲテ、確實ニ之ヲ把握シ、之ヲ直流サセテヤルト云フヤウナ時期ニ到來シタモノダト私ハ思ヒマス、其ノ意味ニ於テ歴史的因縁ト云フモノハ正ニ熟シテ居ルト見ルノデアリマス、無論先生ト言ヒ、師ト言フノデアリマスカラ、ソレハ其ノ人ノ職域ニ關スル「理」ト云フモノニ透徹シテ居ルモノデナケレバナリマセヌ、又其ノ與ヘラレタ「技」、即チ技術ニ徹スルモノデナケレバナラナイコトハ明カデアリマス、併シナガラ國ノ師、人ノ師トナル者ハ是ダケデハ足ラヌ、即チ理ニ通ジ技ニ徹スルト云フダケデハ足ラナイノデアリマシテ、一番大事ナ條件ト致シマシテハ國體ノ本義ニ徹スル、肇國ノ理想ニ燃ニユル理事一如ノ傳統的血脉ヲ最高ノ姿ニ於テ如實ニ體驗スルト云フコトガ、其ノ先行的ナ資格デナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、之ヲ缺如スル者ニ至リマシテハソレハ單ナル知識ノ師デアリ、技術ノ師デアリマシテモ、決メテ本當ノ意味ノ國ノ師トナルコトハ出來ナイト私ハ考ヘルノデアリマス、明治、大正、昭和ノ御代ヲ通ジ、此ノ基準ニ照シテ見マシテ不適當デアツタ云フ大學、專門學校ノ先生が果シテナカツタデアリマセウカ、文理科大學、高等師範學校ノ教育ヲ、果シテ從前ノ儘デ宜イトスルノデアリマセウカ、本立ツテ道生ズデアリマス、其ノ本源ヲ忘レ去ツテ枝葉末節ニ拘泥シテ居ルト云フコトハ、洵本當ノ大政治デアルトハ言ヘマセヌ、曩ニ一大達見デアリ、文部省ニ敬意ヲ表シマハ師範學校ノ昇格ヲ見マシタ、今又青年學ス、併シナガラ今昇格致シマシタ是等ノ學校ノ

先生ノ養成ヲ舊來ノ儘ニ放置シテ置クト云
フコトデアリマスナラバ、結局是ハ道統ノ
本源ヲ培フコトヲ忘レタ仕儀トナリマスル
ノデ、恐ラクハ畫龍點睛ヲ缺クモノデアル
ト云フ譏リヲ免レナイデアラウ、此ノ故ニ
我々ハ過年來、支那事變及ビ大東亞戰爭ノ
現局ト我國ノ世界的使命ノ重大ナルニ鑑
ミ、師道ノ根本ヲ一元的ニ確立スルコトガ我
ガ國教育界ノ重要命題デアルト信ジマシテ、
屢々當局ニ對シテ具申シ、師道ノ根本道場ト
シテノ師範大學、或ハ師道大學ナルモノヲ創
設スルヤウニト云フコトヲ何遍モ御願ヒ申
上ゲタノデアリマス、而モ前ノ橋田文部大
臣ハ此ノ前ノ議會ノ委員會ニ於テ、來年度
ハ是非實現サセルト云フヤウナ責任アル答
辯ヲ得テ居ツタト思ノノデアリマス、然ル
ニ今回ノ議會ニ於テハ、マダ是等ニ對シテ
其ノ具體案ガ講ゼラレタト云フコトヲ聞イ
テ居リマセヌ、私ハ政治ト云フモノハ機ダ
ト思ヒマス、其ノ機ヲ失シタナラバ駄目ダ
ト思フ、ソコデ戰ヒノ現況ト戰ヒノ現段階
ト云フモノハ、師範大學ヲ設ケル機ニ到ツ
テ居ルト斯ウ思ヒマス、實際今マデノ先生
ヲ養フ方法ト云フモノハ、洵ニ殘念ナ方法
ガ澤山アリマス、本當ニ人ノ先生トナル人
ヲ養成スル場所トシテハ不充分デアルト思
ハレル所モアルニモ拘ハラズ、ヤハリ其ノ
儘ニシテ置クト云フゴトハ、非常ニ遺憾ニ
ノ施設ガナザルベキモノダト思フノデアリ
マス、ソレハ文部省ト致シマシテハ色々ノ
現實的ナ御苦ミガアリマセウ、アレモヤリ
タイ、是モヤリタイガ、一遍ニハ中々出來

○岡部國務大臣 御意見傾聽致シマシテ洵
ニ其ノ通リト考ヘマヌ、教育ノ問題、師道ノ
確立ト云フコトハロデハ屢々申シマスケレド
モ、實際ソコニハマダ到達シテ居ラナイ點
ガ多々アルト考ヘマス、今ノ師範大學ト云
フ問題ノ如キハ、殊ニ其ノ最モ頂點ヲ現ハ
ス重大ナ問題デアリ、必要ナ問題デアルコ
トトハ考ヘマスガ、今日一ツノ困難ハ施設、
設備ト云フコトガ非常ニ困難デモアリマス
ルシ、又他ニモ大學或ハ他ノ高等師範、普
通師範、其ノ他ノ學校トノ關係等ニ付キマ
シテモ關聯ガナイトハ申セナイノデアリマ
ス、是等ニ付テモ色々研究ハシテ參リマシ
タ、併シマダ結論ニ到達致シマセヌノデ、
今回ハ提案スルニ至ラナカツタノデアリマ
スガ、昨年ノ大臣ノ御答辯ハ私モ聽イテ居
リマシタ、決シテ之ヲ無視シテ居ル譯デハ
ナインデアリマスガ、遺憾ナガラ今年ハ提
案出來ナカツタ譯デアリマス、篤ト是ハ研
究モシ、唯間ニ合セデナク、本當ニ此ノ師
範教育全般ヲ通ジテ考ヘテ行カナケレバナラ
ハ私等ノ申上ゲルコトガ若シ適當デアルト
云フ御考ヘデゴザイマシタラ、是非是ガ實
現ヲ圖ツテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、
大變理窟ツボイコトヲ申上ガマシタガ、何
カシラ今マデ解決サレテ居ナイト云フ所ニ
理念的ニ明瞭ニナラナイ所デモアルカト自
分ガ考ヘマシタモノデアリマスカラ、少シ
理窟ツボイコトヲ申上ゲタヤウナ次第デア
リマス、ドウカ大臣ノ率直ニシテ明快ナル、
而モ勇氣ニ満チタ御答辯ヲ承リタイト思ヒ
マス

○岡部國務大臣 御意見傾聽致シマシテ済

○森田(重)委員 私ノ御願ヒ致シタイコトハ、來年是非ヤリタイト云フ御答辯ヲ得タシテ明瞭ニナラナイト云フコトニナリマスレバ、是ハ仕方ガナイト思ヒマス、併シ是ハ只今ノ御答辯ニモアリマスルヤウニ、來年度ニハ是非一つ實現サセテ戴キタイ、此ノ問題ニ付テ文部省トシテ現實的ニ御困リニアル點ハ、只今大臣ノ御答辯ニモアリマスルヤウニ、東西兩文理科大學竝ニ高等師範ノ存在トノ關係ガドウナルカト云フ點ニ、私ハ御苦心ガアラレルト思ヒマス、學校大改造ノ問題デアリマスカラ、ソレ等ノ點ヲ御考ヘナサルコトハ固ヨリ大切ナコトダトハ考ヘマスガ、併シ是ハ更始一新ノ時代ガ大偉業ト大創業ヲヤツテ居ル日本デアリマスカラ、教育ノ體制ト云フモノモ是ニ相應ハシイ偉大ナル生命ヲ裏付ケルヤウナモノヲ必要トスルト思フノデアリマス、一體私は文部省ハモツト生命力ヲ充實サセナケレバイカヌノデヤナイカト云フコトヲ考ヘセラレマス、稅ノ委員會ニ參リマスルト皇國租稅觀、財政ノ部へ參リマスルト皇國財政觀、勤勞ノ部へ參リマスルト皇國勤勞觀、ソシテ其ノ言フ所ハ總テ魂ダ、斯ウナンデス、而モ其ノ魂ノ根本ヲ培フ大本山デアル文部省ト云フモノヲ、何カシラ大藏省デモ繼子扱ヒニスルノデハナイカト思ハレルヤウナ傾向ガアリマスルコトハ、私ハ非常ニ殘念ナコトダト考ヘテ居ル、私ノ見方カラスレバ、文部省ノ最負ニナルカモ知レマセヌガ、軍部ハ別トシテ、外ノ各省ガ全部束ニナツテ丁度文部省一ツト同ジ位ノ力デ對

立スル位デ宜ノダ、ソコマデ文部省ノ指導力ガ出テ來ナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、是ハ是非文部大臣一世ノ知勇ヲ揮ウタ實行ニ入ツテ戴キタイ
ソコデ最後ニ一ツ御願ヒガアリマス、文部省ノ局長サントカ次官ノ方々ヲ少シ地方へ廻ハシテ、先生方ノ實際ノ苦心ト、働く人居場面ヲ見サシテ戴キタイ、大臣モ機會アル毎ニ外、出テオイデニナラレルヤウデアリマス、是ハ洵ニ良イ事デアリマス、私等代議士ヲヤツテ居リマスモノガ、東京ニ一寸長ク居リマシテ田舎ニ歸リマスト、實情ガ直グ變ツテ居リマス、實ニ今日程目マダルシイ位日本ノ實勢ノ變ルコトハアリマセヌ、ソレヲウツカリ中央ニダケ居リマシテ、中央ノ政務ニ精ヲ出シテ居サヘスレバ何デモ巧ク行クノダト御考ヘニナラレタラ、本末顛倒ノコトガ起ル危險性ガアル、而モ其ノ時官ノ威力ヲ以テヤルノダカラ、之ニ從フノデナケレバ駄目ヂヤナイカト云ツタヤウナコトニナリマスレバ、是ハ能率ノ上ラナイ大キイ原因トナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ第一線ニ立ツテ實證的ナ場面、現實ノ苦心ノ所ニ觸レテ見ナケレバ、文部省ハ其ノ點ニ於テ宙ニ浮イテ居ル點ガアルノデハナイカ、ソレハドウシテモ局長サンノ部屋ニ入ツテ居ラレテ、毎日見ルモ實相把握ガ困難ダト思フノデアリマス、文部省ハ其ノ點ニ於テ宙ニ浮イテ居ルダケデハ本當ニ事務的ニナツテ、日本ノ實地ノ苦悶ト生命力カラ離レ去ル虞ナシトシナイノデアリマス、此ノ點ヲ私ハ大臣ニ特ニ御願ヒ申上ゲタイト思フノデアリマス、是ハ餘談ニ亘ツテ恐入リマスガ、私ハ島木赤彦先生ニ私淑シテ居リマス、アノ人ノ民謡

セヌ、ソレヲウツカリ中央ニダケ居リマシ

論ニ依リマスト、日本民族ノ生命力ハ古事記ト萬葉ニ限ル、ソレ以下ノ古今、新古今ニ至ツテハモウ生命力涸渴シテ問題ニナラシテ、其ノ以後ノ短歌ト云フモノハ日本民族ノ素朴ナル生命力ヲ表徵シテ居ナイ、斯ウ云フノデアリマス、私ハウカリスルト文部省モ貴族化致シマシテ、平安朝末期ノヤウナ風ニナツテ、實勢ニ乏シイ、能率ノ上ラナイヤウナ姿ニ陥ルノデハナイカト云フコトヲ憂ヘマス、是ハ洵ニ憂フベキ事柄デアリマスカラ、ドウカ文書ノ處理ナドハ課長サンニ御任せ下サルナリ何ナリシテ、勇敢ニ局長サンヲ地方へ出シテ戴キ、同時ニ大臣モ是非各方面ヲ御廻ヘリ下サツテ、先生方ト膝ヲ突キ合セテ激勵ヲ與ヘルト同時ニ、アノ方々ノ率直ナ苦心ヲ一ツ御聽取下サルヤウナ機会ヲ御作リ下サルヤウニ、特ニ御願ヒ申上ゲマス

ナ才商ニ揚ガシ
或ノ言葉ノ大キ通キルカ
モ知レマセヌガ、指導モシテ行キタイト考
ヘテ居ル譯デアリマス、尙ホ古事記等ノコ
トデアリマスガ、是ハ中等學校教科書等ニ
ハ古事記ヲ相當多く採入レマシテ、今ノ御
趣意ニ副フヤウナコトニ編修サレテ居リマ

ス、一應御意見ヲ承リマシテ尙ホ能ク御教ヘヲ戴キタイト思ヒマス
○森田(重)委員 私是デ終リマス
○小柳委員長 ソレデハ水谷君

○水谷委員

シタイト思ヒマス、學制改革ハ昭和十七年
十二月四日ニ閣議決定ニハ相成ツタソデゴ

ノ権密院ノ本會議デ正式認可ガアツカト
ザイマスガ、其ノ後権密院ニ於テ非常ニ論
議ヲ重ネラレテ、ヤツト十八年一月十三日

ハ御承知ノ通りデゴザイマス、此ノ學制改
革ハ國防、産業、或ハ人口政策ノ立場カラ

行ハレタモノデゴザイマシテ、我々ノ目ニ
強ク映ズレリハ修業半畢ノ頃宿ト云フコト

強久財不ハハハ御美金附、短絆ト云不ニ
デアル、隨テ樞密院ノ場合ニ於テモ、此ノ

學制改革ト共ニ學生生徒ノ學力ノ倒下ト云
フコトガ、非常ニ大キナ問題ニナツタノデ
シテ、ハハハ、二郎君、七、利用力、

士サイマスが文部省に此ノ計劃的ナル
學制改革ヲ斷行スルニ當ツテ、修業年限ヲ短

縮シテ漸カニ學徒ヲシテ實務ニ就カシメル
ヤウニスルト云フ以外ニ、文部當局ノ學制

改革ノ猶ビハ一體何處ニアツタカ、ソレニ
對シテノ對策ハドノヤウニサレテ居ルカト

云フ點ヲ、先ヅ最初ニ御聽キシタイト思ヒ
マス

○藤野政府委員 昨年ノ七月カラ實施ニ移
サレマシタ中等學校制度乃至高等學校、專

門學校ニ通ジマスル學制ノ改革ハ、仰セノ

通り國防、商業、人口等の要請に基いたモノ
ノデアリマシタガ、此ノ狙ヒトスル所ハ年
限ノ短縮ノミデナク、是ト共ニ其ノ教育ノ
セラレマシタ國民學校制度ト一貫セルモノ
トシテ、所謂國民ノ鍊成ヲ以テ一貫致シマ
ス、即チ其ノ教育内容ノ刷新ガ、既ニ改革
育ヲ通ジマシテ、國民ノ鍊成ト云フコトヲ
カ、其ノ後ノ有様ヲマダ一年モ經タナイ今日
云フコトニ主眼ヲ置イタ次第ゴザイマス
○水谷委員　此ノ學制改革ノ功罪ト申シマス
カ、其ノ後ノ有様ヲマダ一年モ經タナイ今日
ニ於キマシテ御尋ネスルコトハ、非常ニ無理
デアルコトハ私モ十分了承スルノデゴザイ
マス、併シナガラヤハリ大體ノ目安、見透
シハ立テ、今後ニ於ケル努力目標トスルコ
トハ非常ニ必要デアラウト思ヒマス、仰セ
ヌ通り去年ノ四月カラ行ハレタ學制改革ハ、
單ニ戰時下ノ臨時措置デアツテハナラナ
イ、戰時下ノ臨時措置トハ根本的ニ異ツタ
モノデナクテハナラナイコトハ私モ十分認
ヌル、隨テ是ガ單ニ十六年ニ行ハレタ卒業
ノ繰上ト同ジヤウニ、修業年限ノ短縮ダケ
デアツテハナラナイト云フコトモ十分ハツ
キリシナクテハナラスト思ヒマス、即チ言
フマデモナク教育内容ノ根本的刷新ト云フ
モノハ、國民學校令ニ依ツテ面目ヲ一新シ
タ初等教育ニ對應シテ、中等學校教育、或
ハ高等學校教育及ビ專門學校教育竝ニ師範
教育ヲ通ジマシテ、皇國ノ道ニ則リ、國民
鍊成ヲ一貫不動ノ教育目標トシナクテハ
ナラナイト云フコトハ、私モ十分分ツテ居
ルノデゴザイマスガ、ソレデハ此ノ一年ニ
垂ントスル初年ノ一年ニ於キマシテ、此ノ

畫期的ナル學制改革ト云フモノハ、良不
ニ於テハドノヤウニ現ハレテ來タカ、又亞
イ面ニ於テハドノヤウニ現ハレテ來タカトモ、
云フコトハ、大體察知出來ルデヤナイカ、良不
隨テソレニ對スル今後ノ對策ト云フコトモ、
是ハ十分文部當局トシテハ考ヘナクテハナコトデ
ラヌノデハナイカト思ヒマス、私ハ劃期的
ナル學制改革ト云フモノハ、高度國防國家
完成ノ上カラ申シマシテ、是ハ尤モノコトデハ
アリマスガ、併シ又他面教育ノ問題ハ所謂
國家百年ノ大計デヨザイマシテ、サウ云フ
點モ能ク考ヘマシテ、文部當局ノ責任ト云
フモノハ極メテ重且ツ大ナリト言ハナケレバ
ナリマセス、隨テ劃期的ナル學制改革ガ、
僅カ一年デハゴザイマスガ、其ノ現ハレタ
ル良イ面、惡イ面ト云フモノニ對シテハ、
文部當局トシテ十分御研究ニナツテ居リ、
又其ノ對策ガナクテハナラヌト思ヒマスガ
其ノ點ニ關スル御所見ハ如何デアリマスカ
○藤野政府委員　只今重ネテ御質問ヲ賜
マシタ點ニ付キマシテハ、仰セノ通りマダ
一年ノ経過デアリマスカラ、之ヲ的確ニ
上ダルコトモ出來マセスガ、大體ノ我々
觀測致シテ居リマス所ヲ率直ニ申上ゲテ目
マスト、昨年四月以來學制ノ改革ハ、教育
界ハ固ヨリデアリマスガ、學徒一般ニ非常
ナ影響ヲ及ボシ、其ノ精神的方面ニ於テ此
ノ非常時局ニ對處スペキ學徒ノ責任ト云フ
コトニ付テハ、內省的ナル、反省的ナル、
シマシタ學徒戰時勤員體制確立要綱ニ基キ
ノデアリマス、現ニソレ等ノ現ハレノ一例
トシテ申上ダマスレバ、昨年ノ六月實施致
サウ云フ面ハ非常ニ強クナツタト思ハレル
マスル、或ハ國防方面ノ訓練乃至勤務動員
方面、各方面ニ於ケル學徒ノ総進努力ノ

最近ニ於ケル學徒ノ出陣ト云フヤウナ場
ニ際シマシテモ、學徒ノ心構ヘハ洵ニ我
トシテ心強ク又力強ク感ズルモノガアリマ
ス、是等モ亦一面最近ニ於ケル教育ノ趨
ト、ソレカラ學徒ノ自ラ求メテ精進努力
ル氣持ガ、ソコニ具現セラレタモノト云
風ニ思ハレルノデアリマス、同時ニ又一
ニ於テ訓練のナモノ、指導的ナモノニ對
テ、學徒ハ實ニ率直ニ又素直ニ之ヲ受入
ルト云フ氣持ト同時ニ、我々ハ實ハ屢々斯
云フコトヲ聞クノデアリマス、學徒ノ方
ニ於テ自立的ナル、自發的ナル一ツノ態
ト、研究的ナ働く活動ト云フモノガ、
ル虞ガアルマイカト云フコトヲ屢々耳ニス
ノデアリマス、此ノ點ハ最モ留意スベキ
ト心得マシテ、其ノ方面ノ者トモ會合其
他ノ際ニ於テ、此ノ點ニハ十分注意ハ致
テ居リマスモノハ、幾分ソレ等ノ點ニ於
ハ今後一層用意致サナケレバナラヌモ
ノアルヤウニ感ジテ居ル所デアリマス
○水谷委員 只今學制改革其ノ後ニ於テ
ハレタル良キ面ト惡イ面トノ文部當局ノ
研究ヲ承リマシテ、是ハ單リ學制改革ダ
デナシニ、其ノ他統制場面ニ現ハレタル
所ト缺點ガ、ヤハリ其ノ儘之ニ現ハレテ
ルヤウニ私ハ拜承スルノデアリマス、是
一つ篤ト其ノ對策ヲ文部當局トシテモ御
究ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、就中

大研ハ居長ケ御現 ノテシノ點麁度面ウレシ面フス向マ々合文ルシ常自ノ事

臣ニ於カレマシテ特ニ御留意ア願ヒタイン
ハ、日支事變此ノ方我ガ國內體制ニ統制ト
云フコトガ非常ニ強化サレテ參ツテ來タコ
トハ、私ガ茲ニ説明スルマデモナインデゴ
ザイマス、併シナガラ其ノ統制ノ進行ノ順
序ト云フモノガ間違ツテ居リマシテ、先ヅ
價格ノ統制、或ハ物ノ統制、企業ノ統制ト
云フヤウナコトガ先ニ立チマシテ、サウシ
テ此ノ頃ヤツト思想問題ノ確立ト申シマス
カ、思想ノ統制——ト云フ言葉ハ惡イコト
デアリマスガ、サウ云フ場面ガ取上ゲラレ
テ來タ、是ガ私ハ物心兩方面ノ統制體制ニ
非常ナ矛盾ヲ來タス大キナ原因デアラウト
思フノデアリマス、東條總理大臣ハロヲ開
ケバ機構ヨリモ人デアル、總テハ人ノ問題
デアルト云フコトヲ言ツテ居ラレル、所ガ
其ノ人ノ問題ト云フモノガ、所謂物質ノ方
面ノ統制ガ行ハレテ、肝腎ノ人ノ問題ニ對
スル所ノ頭ノ切替ヘ、戰時編成替ヘト云フ
ヤウナコトガ、非常ニ等閑ニセラレテ來タ
ト云フコトガ大キナ缺點デアラウト思フ、日
支事變以來大東亞戰爭ニ至ルマデ——人ノ
問題、人ノ思想ノ問題ノ確立、戰時編成替
ヘト云フモノガ行ハレナイデ物ノ統制ガ行
ハレタ、私ハ茲ニ衝學的ニ「ドイツ」ノヒト
ラーフ引キ出スマデモナク、「ドイツ」ハ物
ノ統制ヲヤル時ニハ、必ず先づ國民ニ呼ビ
掛ケテ國民ノ頭ヲ切替ヘル、「ヒトラー」ハ、
自分ハ國民ニ對シ自國ノ兵隊ニ對シテ、
自分ガ爲スコトガ出來ル以上ノモノハ
要求シナイト云フ、アノ有名ナ演説ノ中ニ
モソレガハツキリ現ハレテ居ルノデアル、
所ガ日本ハ逆ニ物ノ方ダケガ先ニ行ク、サ
ウシテ總理大臣其ノ他ノ大臣ハ、議場ニ於
テハ機構ヨリモ人デアルト云フコ

トヲ何時モ言ツテ居ラレルガ、ソレガ施策ノ上ニ現ハレタコトハ逆ニ現ハレテ居ル、是ハ大キナ問題デアラウト思ヒマス、併シナガラ此ノ大日本育英會法案カラ申シマシテ、遅レナガラニモ斯ウ云フ問題方現ハレテ來タコトハ決シテ惡イコトデハナインデアリマシテ、文部當局ト致シマシテハ、此ノ遅レタル場面ヲ能ク御考ヘニナリマシテ十分ノ御努力ヲサレナイト、結局日本ノ統制體制ト云フモノガ物本位ノ統制ニナリマシテ、人ト物トヲ兼ネ合セタ能ク調整ノ取レタ統制ガ行ハレナイト云フ所ニ、大キナ缺點が現ハレテ來ルト云フコトヲ惧レルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シマシテノ文部大臣ノ忌憚ナキ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス○岡部國務大臣 全然御同感デアリマシテ、實ハ支那事變勃發當初、昭和十二年ノ十月ニ國民精神總動員中央聯盟ト云フモノガ出来マシテ、當時私事務局長ヲ仰セ付カリマシテ、精神動員ガ非常ニ必要デアルト云フコトヲ痛感シテ居ツタ者デアリマス、然ルニ其ノ後二年バカリニシテ大政翼賛會ガ出来テ、私モ其ノ方ハ關係ガナクナツタ譯デアリマスガ、此ノ統制經濟、所謂物質方面ノ統制ト云フモノハ、窮屈ナ物ヲ如何ニ適當ニ配給スルカト云フヤウナ問題デアリマシテ、個々ノ人間ガ物質的ニ満足ガ得ラレル筈ハナインデアリマス、之ヲ適當ニ圓滑ニ遂行スルノニハ、之ヲ扱フ人間ノ心構ヘガ此ノ方ガ後廻ハシニナツテ居ツタト云フコトハ、私全然御同感ニ思ツテ居ル者デアリマス、就任以來モ此ノ點ニ付テハ常ニ機會アル毎ニ考ヘモシ、話モシ、又施策ニ於キ

マシモ、出來ルダ精神方面ノ動員ト申シマスカ、指導ト申シマスカ、サウ云フ方
面ニ付テヤツテ參リタイト考ヘテ努力シテ居ル譯デアリマス、御話ノ通り其ノ順序ガ
逆ニ發展シテ來タコトハ遺憾デアリマス
ガ、遲レタリト雖モ、益々今日カラ此ノ方面ニ
ニ力ヲ加ヘマシテ、今日ノ戰時經濟ガ圓滑運營セラレマスヤウニ、心構ヘヲ作ツテ
行クコトニ重點ヲ置イテ參リタイト考ヘル
ノデアリマス

考へルベキモノカ、色々我々ハ考ヘナケレバ、道義ニ基クト言ヘバ別ニ具體的內容ヲ掘下ダクテモ、ア、ア、云フコトヲ言ツテ居ルノダト云フコトガ分リマスケレドモ、是ハ單ニ日本國民ダケヲ相手ニスルモノハデハナシニ、大東亞共榮圈ノ諸民族ヲ相手ニスルモノデアリマスカラ、此ノ具體的ノ内容ヲ容ト云フモノガ如何ニ重大ナモノデアルカ、是ハ私ガ説明スルマデモナイト思フノデゴザイマス、斯ウ云フ點ニ關シマシテ、一體道義ニ基ク共存共榮ノ新秩序ト云フヤウナモノニ對シマシテモ、是ハ文部當局ト致シマシテモ十分ニ御考慮ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、大東亞共同宣言ノ五箇條ハ、所謂道義ニ基ク新秩序ヲ建設スル道義的意義ヲ重視スベキモノデアルカ、或ハ經濟繁榮ヲ重視シテ、大東亞共榮圈ノ資源ヲ開放シ、世界ノ進進ニ寄與スルト云フ、サウ云フ經濟的場面ヲ重視スベキモノデアルカ、更ニ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、大東亞共榮圈ノ理念ト云フモノヲ何處ニ置カナクテハナラナイカト云フコトニ對スル文部當局ノ責任ト云フモノモ、是レ亦重且ツ大デナクテハナラヌト思フノデゴザイマス、滿洲事變以來人ハ勤モスレバ、日本國民ハ誰デモ贊成デアツテ、ソレ誰デモ反對出來ナイオ題目ヲ、自分ノ一手販賣ノヤウニ言フ癖ガ行ハレタコトハ、是リマスガ、國外ニ出ルト云フコトニナルトコトハ非常ニ遺憾ナ事デアリマシテ、ソレガ國內ダケニ蔓延ツテ居ル時ハ宜ノデアシテモ、文部當局トシテハ高イ所カラ十分

○岡部國務大臣 御答へ申シマスルガ、確
カニ大東亞共同宣言ガ單ナル作文ニ終ツテ
ハナラスト云フコトハ、申スマデモナイノ
デアリマシテ、豫算總會ニ於テ總理大臣モ
其ノ點ハ答辯セラレテ居ルノデアリマス、
又はハ決シテ單ナル方便的ナモノデハナク、
日本ノ眞ノ道義的精神ヲコニ織込ンデア
レガ出來テ居ルト云フコトハ、申スマデモ
ナイノデアリマス、ソレニ付キマシテ今御
話ノ通り、之ヲ具體的ニモツト解説スルモ
ノヲ文部省トシテモ考ヘナケレバナラヌダ
ラウト云フ御意見、是モ亦御尤モデアリマ
シテ、現ニ文部省ト致シマシテハ内閣ノ方
カラノ話モアリマシテ、大東亞共同宣言ノ
解説ヲ今起草中デアリマス、何レ遠カラズ
オ目ニ掛ケルコトガ出來ルヤウニナルグラ
ウト考ヘテ居リマス

ルト云フヤウナコトヲ聞カサレテ居ルノデ
ゴザイマスガ、文部當局ト致シマシテハ學
制改革ニ伴フ語學力ノ低下、隨テ外國ノ文
化ノ正シキ移植ニ付テノ缺點ヲ補フ爲ニド
ウ云フ御用意ガアルカ、又ドウ云フ仕事ヲ
今後ナサル積リデアルカ、其ノコトヲチヨ
ツト御聽カセ願ヒタイト思ヒマス
○小柳委員長 水谷君、午前ニ薩摩君カラ
ソレト同ジコトノ質疑ガアリマシテ、詳シ
イ答辯ガアリマシタカラ…
○水谷委員 ソレデハ其ノ點ハ重複致シマ
シタカラ、只今委員長ノ御注意ニ依リマシ
テ、御答辯ハ薩摩君ノモノヲ戴クコトニ致
シマセウ、ソレニ關聯致シマシテ文部省ト
大日本言論報國會竝ニ技術院ノ關係ニ付キ
マシテ、チヨツト御尋ネシタイト恩フノデ
ゴザイマス、思想問題ニ付キマシテハ是マ
デモ委員ノ方カラ色々問題が提供サレテ居
ツタノデゴザイマスガ、ソレニ關スル御答
辯モ皆アツタノデゴザイマスガ、此ノ度生
レマシタ大日本言論報國會ト云フモノト文
部省トノ關係ハ一體ドウナツテ居ルカ、即
チ大日本言論報國會ノ大キナ使命ハ、國民
ノ思想動員ト申シマスルカ、國民ニ日本の
世界觀ヲ植エ付ケルト申シマスルカ、サウ
云フ場面ガ非常ニ強調サレ居ルニ拘ラズ、
報國會ト思想ノ總本山デアル所ノ文部省ノ
關係ト云フモノガ、非常ニボヤケテ居ルノデ
アリマス、成程現在ノ行政機構ノ下ニ於キ
ケガハツキリシテ居リマシテ、大日本言論
報國會ト思想ノ總本山デアル所ノ文部省ノ
報局ガオヤリニナルコトハ、是ハ或ハ、尤
モデアルカモ知レマセヌガ、併シナガラソ
レニモ拘ラズ、文部省ト大日本言論報國會

ト云フモノノ關係、所謂大日本言論報國會ノ目的ニ鑑ミマシテ、餘リニソレガ稀薄デハナイカト思フノデゴザイマス、即チ大日本言論報國會ト云ヘバ、我々讀書人カラ見マスレバ、皆ソレドノ立場カラ尊敬措ク能ハナイ所ノ思想人バカリヲ集メテ居リマシテ、ソレ等ノ人々ノ發セラレル言動ト云フモノガ、現在ノ戰時ニ於ケル日本國民ニ與ヘル影響ハ可ナリ大キイノデアル、隨テソレト文部省トノ關係ト云フモノハ十分考慮シナケレバナラヌト思フ、更ニ又是ト同ジヤウニ技術院ノ問題ニ關シマシテモ、是ハ内閣直屬ト云フコトニナツテ居リマスルガ、其ノ技術院ノ「メンバー」ハ文部省ノ管轄内ニアル各大學ノ專門教授、サウ云フヤウナ方ヲ主タルモノトシテヤツテ行ク、ソレニモ拘ラズソレハ内閣直屬ニナツテ居ツテ、文部省トノ繫リハ非常ニ緩ヤカニナツテ居ル、コラニモヤハリ大キナ缺點ガアルノ押付ケラレタ仕事バカリデ、コチラカラ自發的ニヤツタノハ少イノハ遺憾デアル、相撲デ云ヘバ双葉山が受ケテ立ツト云フノハ横綱ノ常道デアルケレドモ、官廳ノ仕事ニ於テ受ケテ立ツト云フヤウナコトハ大キナ間違ヒデアル、就中現在ノ戰爭ガ經濟戰、生産戰デアルト共ニ思想戰デアルト云フコトヲ強調シテ居ル今日ニ於キマシテ、ソレ等ノ點ニ關シマシテ、或ハ生産ノ問題デハナイカト思フノデアリマスガ、之ニ上カラ申シマシテモ、此ノ兩方ト文部省ノ關係ヲハツキリサセテ、出來レバ文部省ニ元化スルト云フヤウナコトヲ者フベキ所

○岡部國務大臣　私ハ大キナコトヲ言フヤ
ウデアリマスガ、敵國側カラ文部省ハ恐レ
ラレルヤウナモノニシナケレバナラスト云
フ風ニ考へテ居ルノデアリマス、其ノ目標
ニ向ツテ、又其ノ使命ヲ感じツ、努力ハシ
テ居ルノデアリマスガ、個々ノ問題ニ付キ
マスルト、甚ダ其ノ期待ニ反スルモノガ少
クナインオデアリマシテ、洵ニ遺憾ニ存ジテ
居ルノデアリマス、今ノ言論報國會トカ技
術院トカ云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ又
ソレゝ成立ノ沿革、理由モアリマスルノ
デ、十分連絡ハ緊密ニシテ居ルノデアリマ
スガ、固ヨリ思想面ニ於キマシテハ、又言
論報國會等ニ於テハ特ニ文部省トシテモ重
要視シテ居ル譯デアリマス、尙ホ具體的ニ
政府委員ノ方カラ御説明申上ゲマス
○藤野政府委員　先づ大日本言論報國會ト
ノ關係ニ付テ色々承リマシタガ、洵ニ御尤
モト存ジマスガ、現狀ハ一應言論報國會ハ、
其ノ成立並ニ考へ方ガ大體啓發宣傳ト云フ
コトヲ主ニシテ考ヘラレタ爲ニ、一應情報
局ニ於テ指導監督サレテ居リマシテ、文部
省ハ直接ノ關係ヲ持ツテ居リマセヌ、併シ
ナガラ一昨日或ハ昨日大臣カラ御答ヘガア
リマシタヤウニ、最近ハ此ノ思想關係ノ各
廳ガ隔月ニ内閣ニ集マリマシテ會合ヲシテ
居リマスガ、此ノ機會ニ於キマシテ、一應
行政上ノ諸般ノ連絡ト、又注文ナリ要請ナ
リ致シテ居リマシテ、其ノ點ニ於テハ斯ウ
云フ機會ヲ通ジテ、言論報國會等ニ付テモ
文部省カラ、或ハ情報局ニ連絡ヲ取ルヤウ
ナコトガ出來ル狀況ニアリマスシ、又今後
ハ之ヲ十分ニ活用シテ參りタイト思ヒマス、
尙ホ只今ノ水谷サシノ御意見ニ付キマシテ

臣カラモ御答ヘガアリマシタヤウニ、正ニ一體トナツテヤルベキ筋合ノモノデアリマス、最近ニ於キマシテハ本省科學局、技術院トノ關係ニ於テ、殊ニ連絡ノ密接ナルコトヲ要スル所謂科學動員ト科學研究動員トノ關係モアリマスルノデ、是ハ大臣竝ニ技術院總裁、副總裁トノ話合デ、實ハ毎月共同ノ會合ヲ以チマシテ、技術院ノ幹部ト文部省ノ幹部ト膝ヲ突合セテ色々御話合ビヲ致シ、其ノ間ニ色々共通ナ課題或ハ共ニ力ヲ協セテ解決ヲスベキ事項、例ヘバ研究資材ノ問題トカ云ウヤウナコトガアリマスノデ、ソレ等ノ點ハサウ云フ月例ノ懇談會デ以テ、相當ニ目標ガ話合ヒ出テ行クト云フヤウナコトモ行ハレテ居リマス、水谷君御示シノ如ク今後ハ十分ニ之ニ力ヲ用ヒマシテ、一體的ナ働きラスルヤウニ致シテ参リタイトト考ヘテ居リマス

云問題ハサウ云て矢詰人ガ啓發宣傳フル思
想ガ大キイ問題デアツテ、其ノ點ヲ我々ハ
考ヘルノデアリマス、ダカラ今更私ハ形式
的ニ、或ハオ役所式ニ、其ノ仕事ガ思想ノ
啓發宣傳デアルカラ情報局ノ管轄デ宜シイ
ト云フヤウナ答辯ヲ要求シタノデハアリ、マ
セヌ、其ノ啓發宣傳スベキ思想ガ現在ノ職
時下ニ於テ重大デアレバアル程、ソレハ文
部省トノ繫リガ十分デナケレハナラナイ、
隨テソレ等ノ人ヲ通ジテ宣傳啓發サル、所
ノ思想ハ斯クアルベキモノデアル、斯クナ
ケレバナラナイト云フモノヲ文部當局トシ
テハ十分ニ能ク考へテ戴キタイト云フノ
ガ、私ノ質問ノ要點デアリマス、重ネテ此
ノ點ニ關シマシテ文部當局ノ御答辯ヲ願ヒ
マス

○水谷委員 其ノ思想問題ニ關聯致シマシテ、日本的世界觀トカ、皇國勤勞觀、是等ニ關シテ前ノ委員ノ質問ニ觸レナイン程度デ御尋ネシタイノデアリマス、前ニ大臣ハ此ノ皇國勤勞觀、或ハ皇國租稅觀、或ハ皇國財政觀、サウ云フヤウナモノニ對シテ、ソレゾレノ省カラ頼マレテ目下研究中デアルト云フヤウナコトヲ御答辯ニナツタヤウデアリマスガ、是ナドモ、今ノ總務局長ノ言葉ヲ取ツテ言フノデハナイガ、ヤハリ全部立遜レニナツテ居ル、所謂皇國勤勞觀ガズ、ウカモノデアルカト云フハツキリシタ理念ヲ確立シナイデ、他ノ方デ皇國勤勞觀ト云フヤウナ言葉ヲ使ヒ、日本的世界觀ト云フヤウナ言葉ヲ使フ、サウシテソレヲ一體化ドウ云フ具體的內容デ裏付ケシナクデハナラナイカト云フコトヲ、一年モ二年モ經ツタ後ニ文部省ガ頼マレル、是ハ頼ム方モ頼ム万才ラ、頼マレル方モ頼マレル方デアリマシテ、實ニ悠長ナ話デアルト言ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、私ハ皇國勤勞觀、日本的世界觀ト云フモヲ今研究中デアルト云フコトデハ遲イト思フ、斯ウ云フモノハ既ニモソト早ク確立シテ居ラナケレバナラヌ理念デアラウト思ヒマス、例ヘバ皇國勤勞觀、是ハ前カラノ議會ニ於テモ、色々勞務關係ノ法案ガ出テ來ル、併シナガ眼目ハ、日本國民タルモノハ總デ勤勞ニ服スル義務ガアルト云フコトヲ明示シナケレヌ、サウシテ其ノ勤勞根本法ノ一番大キナベナラヌ、兵役ノ義務、或ハ納稅ノ義務ト

日本國民ノ國家ニ爲ニ奮發ニ服スル
義務ガアルト云フコトヲハツキリ作ラナケレ
バナラスト云フコトヲ、斷エズ私達ハ厚生
當局ニモ言ツテ居ツタ、ソレデ假ニ厚生
當局ガ勤勞根本法ト云フモノヲ作ル場合ニ
於テハ、簡單デハアル、法文ノ上デハ、日
本國民ハ總テ皆勤勞ニ服スル義務ガアルト
云フコトデ宜シイカモ知レヌガ、併シ其ノ
理念的裏付ケハヤハリ文部當局ガシナケレ
バナラヌ、即チ日本國民ハドウ云フ意義、
ドウ云フ名譽ヲ以テ國家ノ爲ニ勤勞ニ服サ
ニケレバナラナイカト云フヤウナコトハ、
文部當局トシテ十分用意ガナケレバナラヌ、
例ヘバ日本の世界觀ト云フコトハ、近頃盛
シニ使ハレテ居ル言葉デアル、併シナガラ
日本の世界觀ト云フモノハ果シテドウ云フ
裏付ケラシナケレバナラスカト云フコトニ
關シテハ、是ハマダハツキリシタコトガナ
イ、勿論日本人同志デアレバ、日本の世界觀
ト言ハ、成程ア、ダナト云フコトハ大體
見當ガ付ク、曾テ平沼總理大臣ハ豫算繪
會ニ於テ、日本主義トハ何ゾヤト云フ議題
ノ質問ニ對シテ、日本主義トハト問ハレタ
ナラバ、日本人デアレバア、ア、云フモノ
デアルト自問自答出來ル所ノ主義デアルト
言ハレタガ、是ハ平沼サントシテハ満點ノ
答辯デアルト思ツテ居リマス、成程日本人
同士ナラバソレデ宜イケレドモ、併シ日本
的世界觀ト云フ以上ハ、世界ノ人ニ呼ブ所
ノ言葉デアル、或ハ皇國勤勞觀ニシテモ、
單ニ日本人同士デナク、大東亞共榮圈ノ人
達ニモ呼ビ掛ケナケレバナラヌ、ソレハ言
葉ハ達フケレドモ、ヤハリサウ云フ理念デ
ナケレバナラヌ、サウ云フモノヲ既ニ經濟
ノ方面ニ於テ、或ハ又厚生ノ方面ニ於テ、

凡ユルモノノ方面ニ於テ唱ヘラレテ久シウ
ナツテ居ル今日ニ於テ、尙ホ文部當局ガサ
ウ云フ所カラ賴マレテ、サウシテ目下研究
中デアルト云フヤウナコトデハ、私ハイカ
スト思フ、前申上ゲマシタヤウニ、ヤハリ
文部當局ソレ自ラガ日支事變以來ノ統制體
系ノ過チヲ犯シテ居ルノデアツテ、サウ云
フ問題ハ文部當局ガ賴マレナクテモ、先ニ
ハツキリシタ裏付ケヲスルコトヲシナケレ
バナラヌノデアル、賴マレタカラヤルト云
フコトヲ、是ハ岡部文部大臣ガ極メテ無意
識ニ言ハレタガ、是マデノ文部省ノヤリ方
ヲ遺憾ナク表ハシテ居ル所ノ言葉デアツテ、
賴マレナクテモ積極的ニ、是ガ日本ノ國家
ノ爲ニ必要ナ問題デアルト云フコトガ分レ
バ、他ノ省ハ何ト言ハウト、文部當局ノ立
場カラソレハ、當然手ヲ著ケナケレバナラ
ヌト思フノデアリマス、斯様ナ皇國勤勞觀
トカ、日本の世界觀ニ付テ、是ハ今賴マレ
タカラ研究中デアルト云フヤウナコトデハ
イカヌ、之ニ對シテ文部當局トシテハ何カ
腹案ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、
此ノ點ニ關シテ大臣ナリ或ハ政府委員、ド
チラカラデモ結構デスカラ、成ルベクハツ
キリシタ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス
○岡部國務大臣 御説御尤モデアリマスガ、
所謂皇國理念ト云フモノニ付キマシテハ、
思想問題ト致シマシテ是非トモ確立シ、又
勤勞觀ニシテモ、租稅觀ニシテモ、或ハ法
律、制度總ニノ點ニヤハリ皇國觀ガ滲透シ
テ、ソレニ立脚シテ編ミ上ゲラレナケレバ
ナラヌモノデアリマシテ、是等ニ付テハ既ニ
諸學振興委員會等ニ於テモ、各方面ノ學者
ガ研究サレテ居リマスガ、之ヲ一ツ取纏メ、
文部省トシテソレヲ編ミ上ゲルト云フコト

ニ付キマシテ、今回思想對策ノ豫算等モ御審議ヲ願フヤウニ提案致シタ譯デアリマス、是ガ通過致シマスレバ、ソレ等ノ方面ニ對

コトニ付テハ、大臣カラ御答ヘガアリマシ
タヤウニ、可能ナ範圍ニ於テ、成ベク勧奨
等ノ方法ニ依リ、自發的ナ方法ニ於テ是ガ

○藤野政府委員 水谷サンノ御尋ネデアリ
極メテ明快ニ當局ノ御方針ヲ御聽カセ願ヘ
レバ非常ニ結構デアルト思フノデアリマス

シテ是カラ相當仕事ヲ進メ得ルト考ヘテ、
實ハ樂シミニシテ居ル譯デアリマス

實現ヲ圖ルト云フコトハ御承知ノ通リデア
リマス、サウシテ其ノ學校ノ統合ト云フコ
トハ、勿論閣議決定ノ中ニ疎開ニ關スル部
分モゴザイマスガ、是ハ疎開ノ爲ニ統合ス
ルト云フ次第デハナインデアリマシテ、疎

マスガ、其ノ點ニ付テハ昨日モ此ノ委員會ニ於キマシテ、大體同様ノ御趣旨ノ御質問ガアツタノデアリマスガ、實ハ只今ノ所ソコヲ確ト申上ゲルマデノ段取りリニナツテ居リマセヌノデ、御許シヲ願ツタノデアリマ

ガアツタノデザイマスガ、是ハ私ト致シ
マシテハ、學都ノ京都ニ生活シテ居ル關係
上、此ノ問題ハ單ニ教授ノミナラズ、學生
竝ニ父兄ト云フモノカラ非常ニ關心ヲ持タ
ニ居テ、是ノ問題ヲアーティスト、或ハ及ニ表

開ハ疎開ノ必要ノ爲ニ行フノデアリマス、
併シ疎開ト云フコトヲ考慮ニ入レテ學校ノ
處理ニ當ルト云フコトハ勿論考ヘテ居ル譯
デアリマス

云フコトハ勿論是ハ學校經營ノ上カラモ、
或ハ其ノ他授業ノ上カラモ、其ノ方ガ本當
ニ爲ニナル、又學校自體ノ爲ニナルト云フ
アクト易々ニ考へラレキ事丙デアリマス

レ居ル所ノ問題ヲアリマス、或ハ扱ヒ様
如何ニ依リマスレバ、無用ノ危惧ヲ抱カセ
ルカモ知レマセヌガ、併シナガラ適當ニ之
ニ付テノ文部當局ノ御意向ヲハツキリ御伺
ヒ出來マスルナラバ、學徒ハ勿論其ノ他ノ
關係者モ、或ル程度安心ヲ得マシテ、其ノ
運命付ケラレタ道ニ向ツテ進ンデ行ケルコ
トガ出來ルト思フノデアリマス、先ヅ最初
ニ御尋ネシタイノハ、此ノ學校ノ統合ト云
フコトハ、疎開問題ト直接非常ニ關係ガア
ル、更ニ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、私ノ聞
ク所ニ依リマスト、此ノ統合ヘ疎開問題ト關聯
シテ閣議ノ決定ガ行ハヒ、場合ニ依レバ法
的措置マデ執ルト云フ工合ニ、一旦ハ閣議
デ決定シタト云フヤウニ聞イテ居ルノデア
リマスガ、此ノ學校統合ト云フ問題ハ、疎開
問題ト結付ケテ考ヘルベキ問題デアルカ、
或ハ其ノ他ノ何カモツト大キナ立場カラ
此ノ學校ノ統合ト云フコトヲ考ヘナクテハ
ナラナイノカ、ソレ等ノ點ヲ先づ最初ニハ
ツキリサセテ戴キタイト思フノデゴザイマ

校ノソレゝゝノ傳統モアルカラ、自發的統合ニ俟ツト云フ大臣ノ言明デゴザイマシタガ、若シ各私立大學ガソレゝゝノ傳統其ノ他ヲ固執致シマシテ、統合ヲ自ラヤラナカツタ場合ニ於テハ一體ドウナルカ、或ハ文科系統ナラバ、生徒ガ少クナルカラ、經營難ノ爲ニモウ統合ヲシナクテハナラナイカラ、ソレマデ待ツテ居ルノカ、或ハ又文部省ハ單ナル産婆役ト云フヤウナ役ヨリモ、モウ少シ高イ立場カラ指導スルヤウニシテヤルトカ、或ハ私立大學ガ專門學校ニ轉身シタナラバ、進ンデソレノ存立ヲ許ストカ云フヤウニ、何等力ノ基準ガナクテハ、學校當局竝ニ其ノ父兄、或ハ學生ノ立場カラ申シマシテ非常ニ不安デアラウト思フ、就中此ノ度ノ學徒出陣ニ當リマシテ、學徒ハ勇躍シテ國家ノ爲ニ出陣シタ、其ノ留守ノ間ニ自分ノ母校が統合サレテ無クナルト云フヤウナコトニナリマスト、其ノ出陣學徒等ノ點ニ關シマシテ差障リノナイ程度デ、

ルガ、是ハ文部省ハ決シテ無理ニト云フコトハ實ハ考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、専ラ勸奨等ノ方法ニ依ル自發的ナ方法ニ依ツテ、是ガ實現ヲ期シタイト云フ氣持デ居ルノデアリマス、ソレ以上ノ基準的ナ方針ト云フヤウナモノハ、只今ノ所之ヲ申述ベルマデニ至ツテ居リマセヌ、此ノ點ハ只今マデ申述ベマシタ所ニ依ツテ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○水谷委員 私ハ其ノ點ガイケナイト思フノデス、例ヘバ公債ノ消化ノ問題デモ、何時モ大藏大臣ハ「公債ノ消化ハ強制的ニハヤラセマセヌト言フ、貯蓄ノ問題デモ、強制貯蓄ハ絶對ニ反対デゴザイマスト言ツテ居ル、併シナガラ實際行ハレテ居ルノハ、半バ強制的ニ行ハレテ居ル、今度ノ所謂學校ノ統合問題デモ、責任アル文部大臣ノオロカラ、私立大學ノ統合ハ自發的ノ意思ニ俟ツト言フコトヲ言ハレテ居ル、サウシテ其ノ實際ハソレガサウ行ハレナイト云フコトニナルト、是非常ニ弊害ガ起ル、普通ノ大臣ナラバイザ知ラズ、苟クモ文教ノ府ニ立ツ大臣ガ嘘ヲツ

此ノ點ニ關シテ大臣ナリ或ハ政府委員、ド
チラカラデモ結構デスカラ、成ルベクハウ
キリシタ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス
○岡部國務大臣 御説御尤モアリマスガ、
所謂皇國理念ト云フモノニ付キマシテハ、
思想問題ト致シマシテ是非トモ確立シ、又
勤勞觀ニシテモ、租稅觀ニシテモ、或ハ法
律、制度總デノ點ニヤハリ皇國觀ガ滲透シ
テ、ソレニ立脚シテ編ミ上ゲラレナケレバ
ナラヌモノデアリマシテ、是等ニ付テハ既ニ
諸學振興委員會等ニ於テモ、各方面ノ學者
ガ研究サレテ居リマスガ、之ヲ一ツ取纏メ、
文部省トシテソレヲ編ミ上ゲルト云フコト

ル、更ニ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、私ノ聞
ク所ニ依リマスト、此ノ統合ハ疎開問題ト關聯
シテ閣議ノ決定ガ行ハセ、場合ニ依レバ法
的措置マデ執ルト云フ工合ニ、一旦ハ閣議
デ決定シタト云フヤウニ聞イテ居ルノデア
リマスガ、此ノ學校統合ト云フ問題ハ、疎開
問題ト結付ケテ考ヘルベキ問題デアルカ、
或ハ其ノ他ノ何カモット大キナ立場カラ
此ノ學校ノ統合ト云フコトヲ考ヘナクテハ
ナラナイノカ、ソレ等ノ點ヲ先づ最初ニハ
ツキリサセテ戴キタイト思フノデゴザイマ

モウ少し高い立場カラ指導スルヤウニシテ
ヤルトカ、或ハ私立大學ガ専門學校ニ轉身
シタナラバ、進ンデソレノ存立ヲ許ストカ
云フヤウニ、何等カノ基準ガナクテハ、學
校當局並ニ其ノ父兄、或ハ學生ノ立場カラ
申シマシテ非常ニ不安デアラウト思フ、就
中此ノ度ノ學徒出陣ニ當リマシテ、學徒ハ
勇躍シテ國家ノ爲ニ出陣シタ、其ノ留守ノ
間ニ自分ノ母校ガ統合サレテ無クナルト云
フヤウナコトニナリマスト、其ノ出陣學徒
等ノ點ニ關シマシテ差障リノナイ程度デ、

○水谷委員 私ハ其ノ點ガイケナイト思フ
ノデス、例ヘバ公債ノ消化ノ問題デモ、何
時モ大藏大臣ハ、公債ノ消化ハ強制的ニハヤ
ラセマセヌト言フ、貯蓄ノ問題デモ、強制
貯蓄ハ絶對ニ反対デゴザイマスト言ツテ居
ル、併シナガラ實際行ハレテ居ルノハ、半バ強
制的ニ行ハレテ居ル、今度ノ所謂學校ノ統
合問題デモ、責任アル文部大臣ノオロカラ、
私立大學ノ統合ハ自發的ノ意思ニ俟ツト言
フコトヲ言ハレテ居ル、サウシテ其ノ實際ハソ
レガサウ行ハレナイト云フコトニナルト、是ハ
非常ニ弊害ガ起ル、普通ノ大臣ナラバイザ知
ラズ、苟クモ文教ノ府ニ立ツ大臣ガ嘘ヲツ

凡ユルモノノ方面ニ於テ唱ヘラレテ久シウ
ナツテ居ル今日ニ於テ、尙ホ文部當局ガサ
ウ云フ所カラ賴マレテ、サウシテ目下研究
中デアルト云フヤウナコトデハ、私ハイカ
スト思フ、前申上ゲマシタヤウニ、ヤハリ
文部當局ソレ自ラガ日支事變以來ノ統制體
系ノ過チヲ犯シテ居ルノデアツテ、サウ云
フ問題ハ文部當局ガ賴マレナクテモ、先ニ
ハツキリシタ裏付ケヲスルコトヲシナケレ
バナラヌノデアル、賴マレタカラヤルト云
フコトヲ、是ハ岡部文部大臣ガ極メテ無意
識ニ言ハレタガ、是マデノ文部省ノヤリ方
ヲ遺憾ナク表ハシテ居ル所ノ言葉デアツテ、
賴マレナクテモ積極的ニ、是ガ日本ノ國家
ノ爲ニ必要ナ問題デアルト云フコトガ分レ
バ、他ノ省ハ何ト言ハウト、文部當局ノ立
場カラソレハ、當然手ヲ著ケナケレバナラ
ヌト思フノデアリマス、斯様ナ皇國勤勞觀
トカ、日本の世界觀ニ付テ、是ハ今賴マレ
タカラ研究中デアルト云フヤウナコトデハ
イカヌ、之ニ對シテ文部當局トシテハ何カ
腹案ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、
此ノ點ニ關シテ大臣ナリ或ハ政府委員、ド
チラカラデモ結構デスカラ、成ルベクハツ
キリシタ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス
○岡部國務大臣 御説御尤モデアリマスガ、
所謂皇國理念ト云フモノニ付キマシテハ、
思想問題ト致シマシテ是非トモ確立シ、又
勤勞觀ニシテモ、租稅觀ニシテモ、或ハ法
律、制度總ニノ點ニヤハリ皇國觀ガ滲透シ
テ、ソレニ立脚シテ編ミ上ゲラレナケレバ
ナラヌモノデアリマシテ、是等ニ付テハ既ニ
諸學振興委員會等ニ於テモ、各方面ノ學者
ガ研究サレテ居リマスガ、之ヲ一ツ取纏メ、
文部省トシテソレヲ編ミ上ゲルト云フコト

ニ付キマシテ、今回思想對策ノ豫算等モ御審議ヲ願フヤウニ提案致シタ譯デアリマス、是ガ通過致シマスレバ、ソレ等ノ方面ニ對シテ是カラ相當仕事ヲ進メ得ルト考ヘテ、實ハ樂シミニシテ居ル譯デアリマス
○水谷委員 次ニ是ハ曩ニ文部大臣ガ同僚委員ノ質問ニ對シマシテ、私立大學ノ統合ハ各大學ノ自發的意思ニ俟ツト云フ御答辯ガアツタノデゴザイマスガ、是ハ私ト致シマシテハ、學都ノ京都ニ生活シテ居ル關係上、此ノ問題ハ單ニ教授ノミナラズ、學生竝ニ父兄ト云フモノカラ非常ニ關心ヲ持タレテ居ル所ノ問題デアリマス、或ハ扱ヒ様如何ニ依リマスレバ、無用ノ危惧ヲ抱カセルカモ知レマセヌガ、併シナガラ適當ニ之ニ付テノ文部當局ノ御意向ヲハツキリ御伺ヒ出來マスルナラバ、學徒ハ勿論其ノ他ノ關係者モ、或ル程度安心ヲ得マシテ、其ノ運命付ケラレタ道ニ向ツテ進ンデ行ケルコトガ出來ルト思フノデアリマス、先づ最初ニ御尋ネシタイノハ、此ノ學校ノ統合ト云フコトハ、疎開問題ト直接非常ニ關係ガアル、更ニ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、私ノ聞く所ニ依リマスト、此ノ統合ヘ疎開問題ト關聯シテ閣議ノ決定ガ行ハヒ、場合ニ依レバ法的措置マデ執ルト云フ工合ニ、一旦ハ閣議デ決定シタト云フヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、此ノ學校ノ統合ト云フ問題ハ、疎開問題ト結付ケテ考へルベキ問題デアルカ、或ハ其ノ他ノ何カモット大キナ立場カラ此ノ學校ノ統合ト云フコトヲ考ヘナクテハナラナイノカ、ソレ等ノ點ヲ先づ最初ニツキリサセテ戴キタイト思フノデゴザイマ

コトニ付テハ、大臣カラ御答ヘガアリマシタヤウニ、可能ナ範圍ニ於テ、成ベク勸奨等ノ方法ニ依リ、自發的ナ方法ニ於テ是ガ實現ヲ圖ルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、サウンテ其ノ學校ノ統合ト云フコトハ、勿論閣議決定ノ中ニ疎開ニ關スル部分モゴザイマスガ、是ハ疎開ノ爲ニ統合スルト云フ次第デハナインデアリマシテ、疎開ハ疎開ノ必要ノ爲ニ行フノデアリマス、併シ疎開ト云フコトヲ考慮ニ入レテ學校ノ處理ニ當ルト云フコトハ勿論考ヘテ居ル譯ニアリマス

○水谷委員 私立學校ノ統合ニハ、其ノ學校ノソレハノ傳統モアルカラ、自發的統合ニ俟ツト云フ大臣ノ言明デゴザイマシタガ、若シ各私立大學ガソレハノ傳統其ノ他ヲ固執致シマシテ、統合ヲ自ラヤラナカツタ場合ニ於テハ一體ドウナルカ、或ハ文科系統ナラバ、生徒ガ少クナルカラ、經營難ノ爲ニモウ統合ヲシナクテハナラナイカラ、ソレマデ待ツテ居ルノカ、或ハ又文部省ハ單ナル產婆役ト云フヤウナ役ヨリモ、モウ少シ高イ立場カラ指導スルヤウニシテヤルトカ、或ハ私立大學ガ専門學校ニ轉身シタナラバ、進ンデソレノ存立ヲ許ストカ云フヤウニ、何等カノ基準ガナクテハ、學校當局竝ニ其ノ父兄、或ハ學生ノ立場カラ申シマシテ非常ニ不安デアラウト思フ、就此中此ノ度ノ學徒出陣ニ當リマシテ、學徒ハ勇躍シテ國家ノ爲ニ出陣シタ、其ノ留守ノ間ニ自分ノ母校ガ統合サレテ無クナルト云フヤウナコトニナリマスト、其ノ出陣學徒等ノ點ニ關シマシテ差障リノナイ程度デ、

○藤野政府委員 水谷サンノ御尋ニテアリマスガ、其ノ點ニ付テハ昨日モ此ノ委員會ニ於キマシテ、大體同様ノ御趣旨ノ御質問ガアツタノデアリマスガ、實ハ只今ノ所ソコヲ確ト申上ゲルマデノ段取リニナツテ居リマセヌノデ、御許シヲ願ツタノデアリマス、繰返シテ申上ゲマスルヤウニ、統合ト云フコトハ勿論是ハ學校經營ノ上カラモ、或ハ其ノ他授業ノ上カラモ、其ノ方ガ本當ニ爲ニナル、又學校自體ノ爲ニナルト云フヤウナ場合ニ考ヘラルベキ事柄デアリマスルガ、是ハ文部省ハ決シテ無理ニト云フコトハ實ハ考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、専ラ勸奨等ノ方法ニ依ル自發的ナ方法ニ依ツテ、是ガ實現ヲ期シタイト云フ氣持デ居ルノデアリマス、ソレ以上ノ基準的ナ方針ト云フヤウナモノハ、只今ノ所之ヲ申述ベルマデニ至ツテ居リマセヌ、此ノ點ハ只今マデ申述ベマシタ所ニ依ツテ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

イタト云フコトニナレバ、是ハ文教ノ信地ニ墜チマシテソレコソ日本ノ思想界ニ與ヘル所ノ影響ハ非常ニ大キイ、曾テ政黨内閣時代ニハ、中橋サンガ二枚舌問題ヲ起シテ大キナ問題ヲ起サレタト云フコトハ、岡部文部大臣モ御承知ノ通リデアリマス、併シア、云フ船會社ノ人ガ文部大臣ニナラレタカラ、マアソレハ文部大臣ハ文部大臣デモ少シハ駆引ハ當リ前ダト云フコトニナリマスガ、苟クモ永年ノ間教育ニ非常ニ熱心デアリ、思想問題ニ對シテ非常ニ努力サレテ來タ所ノ岡部文部大臣ガ變ナコトヲ言ツタト云フコトデハ、是ハ世間ガ承知シナイ、ダカラ今度ノ所謂統合問題ハ、色々ニ立場カラ申シマシテ差障リガアルカモ知レマセヌガ、併シナガラ統合サレル方ノ學校、或ハ學徒、或ハ其ノ親御ノ立場カラ見レバ、是ハ堪ツタモノノヤナノデス、所謂オ殿様ノオ通リデハ通ラナイ問題デアル、ダカラ此ノ點ヲ能ク御考へ下サイマシテ、只今文部當局ガ、差詰メ四月ニ差迫ツテ居ル——所謂統合ナラ統合ヲドウシナケレバナラヌカ、ノオ通リデハ通ラナイ問題デアル、ダカラ或ハ私立大學ガ專門學校ニナツタラ生キテ行クカ、現ニ京都ナンカ立命館大學ノ如キハ、專門學校トシテ轉身シテ行カウト云フコトヲ文部當局ヘ出シタト云フコトヲ聞イテ居リマス、恐ラク專門學校トシテ更生スルノデアリマセウ、或ハ其ノ他ノ學校ニ於キマシテモ色々ノ對策ヲ持ツテ居ル、ソレハ文部當局ノ方針サヘハツキリ致シマスレバ、ソレニ依ツテ行ハレルノデアル、所謂凡ユル統制ト云フモノガ日支事變以來行ハレマシタ、中ニハ無理ナ統制モアリマスケレドモ、併シナガラ現在ノ日本ノ時局ニ鑑ミマシテ、皆其ノ苦シサヲ耐ヘ忍ンデ國家ノ

爲ニ御奉公シテ來タノガ、今日ノ日本國民ノ姿デアリ、歩イテ來タ形デアリマス、併シ獨り學校ノ統合問題ダケガ——色々ノ勢力ニ災サレルト云フ事デハ宜シクナ、サウ云フコトヲ顧慮スル所ナシニ、ヤハリ政府ガ、是ガ正シノダ、是ガ現在ノ時局ノ要請デアルト云フコトヲハツキリ信ジタナラバ、一日モ早ク其ノ具體的ナ方針ヲ明示サレマシテ、ソレ等關係者ニ一ツノ諦メト、一ツノ光明トヲ與ヘルト云フコトガ、文部當局ノナスベキ問題デアラウト思フノデアリマス、前ニ同僚議員森田サンハ、質問毎ニ勇氣ヲ振ツテ明快ニ言ツテ吳レト言ハレマシタガ、若シ勇氣ヲ振ハナケレバナラナイシラバ、此ノ問題コソ一番勇氣ヲ振ツテ、斷々乎トシテハツキリシタ所信ヲ明示サレナケレバナラナイト思フノデアリマス、文部大臣ハ前ニ同僚議員ノ質問ニ對シテ、私立大學ノ統合ハ自發的意思ニ待ツト云フコトヲ言ハレマシタガ、ソレハ飽クマデ自發的意思カ、ソレトモ文部省ハ產婆役トシテ指導的ナ立場ニ立ツテ、現在ノ時局ノ要請スルヤウニ學校ヲ整理統合ナサルノカ、又ソレニ對シテドウ云フ基準ヲ以テ、或ハ私立大學デ統合ノ厭ナモノハ、專門學校ニ轉身シテ更生ノ道ヲ踏ンデ行クノカドウカ、又ソレ等ニ對スルハツキリシタ指針ヲ與ヘテ戴キタイ、現ニ京都デハ立命館大學ガ專門學校トシテ更生スルト云フコトヲ文部省ニ御伺ヒシテ居ル、サウシテ四月一日カラ專門學校ニナツテ行クノダト云フコトヲ言ツテ居ル、斯ウ云フコトガアルノデアリマスガ、是ハ議會ヲ通ジテ、當然明カニシナケレバナラヌト思フ、是ハ先ニ申シマシタヤウニ出陣學徒ノ立場カラ申シマシテモ、

自分ガ出陣中ニ譯モ分ラナイヤウニ母校ガ消エテ無クナルト云フヤウナコトデハ困ル、母校愛ガアル學徒コソ、祖國愛ガアルノデシ、努力スル學徒デアルコトハ、忠孝竝ビ立ツ道ト同ジコトデアリマス、是等ノ問題コソハ極メテ重大デアリマシテ、單ニ水臭イ夷僚的ナ答辯デナシニ、大臣ノ高所大所ニ立タレタハツキリシタ御答辯ガ御伺ヒ出来レバ、非常ニ幸ヒデアルト思ヒマス。○岡部國務大臣 統合ノ問題ニ付キマシテ、色々ナ御質問ガアリマシタガ、昨日デアリマシタカ御答辯致シマシタヤウニ、統合ノ問題ハ出來得ル限リ自發的ニ行キタイ、可能ナルモノハ統合ヲ圖ルト云フコトニ、閣議決定ヲ致シテ居ル譯デアリマシテ、強制ニ之ヲヤルト云フコトハ先づ考ヘテ居リマセス、專門學校ヘノ轉換ト云フコトハ望マシキコトデアルト考ヘマス、ソレハ今日ノ兵役關係カラ申シマシテモ、十九歳デ入營スルコトニナリマスト、ソレマデニ一應學業ヲ完成スルト云フコトハ結構ナコトデアラウト考ヘマスルノデ、專門學校ノ方ガ寧ロ多クヲ收容シ得ルノデハナカラウカト考ヘマスカラ、轉換ヲスルト云フ方針ハ大いニ贊成モシ、援助モシテ行キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ今申シマシタヤウナ譯デ法文系統ノ大學ト云フモノハ、今日ノ儘デハ殆ド學生ガ無クナルヤウナ狀態ニナリマスノデ、是ハ官私ヲ問ハズ法文系統ノ大學ヲ如何ニスルカト云フコトニ付シニ、文科ノ專門學校ナドモ定員ガ二分ノ一ニナルカラ、當然起ツテ來ナケレバナラヌ又問題デアラウト思ヒマス、コ、デーツ政府委員ニ御尋ねスルノデゴザイマスガ、此

ヲ唯此ノ儘デ放ツテ置ク譯ニハ參ラナイト思ツテ居リマス、併シ同時ニ大學ト云フモノ非非常ニ充實シタモノニシテ、今後日本ノ學術ノ進歩發達ニ大イニ貢獻スルモノニシテ行カナケレバナラヌノデハナカラウカ、從來動モシマスト大學ニ入ル者ハ就職ノ爲ニ、大學ノ免狀ヲ得ル爲ノ入學ト云フ者モ少クナカツタヤウニモ考ヘマスガ、大學ト云フモノハ一體サウ云フモノデハナインデハナカラウカ、眞ニ高イ學問ヲ究メル所デナケレバナラヌノデハナカラウカト考ヘマス、サウ云フ意味カラ申シマスルト現在官立ト雖モ、マダ甚ダ足ラザルモノガアルノマシタカ御答辯致シマシタヤウニ、統合ノ問題ハ出來得ル限リ自發的ニ行キタイ、可能ナルモノハ統合ヲ圖ルト云フコトニ、閣議決定ヲ致シテ居ル譯デアリマシテ、強制ニ之ヲヤルト云フコトハ先づ考ヘテ居リマセス、專門學校ヘノ轉換ト云フコトハ望マシキコトデアルト考ヘマス、ソレハ今日ノ兵役關係カラ申シマシテモ、十九歳デ入營スルコトニナリマスト、ソレマデニ一應學業ヲ完成スルト云フコトハ結構ナコトデアラウト考ヘマスルノデ、專門學校ノ方ガ寧ロ多クヲ收容シ得ルノデハナカラウカト考ヘマスカラ、轉換ヲスルト云フ方針ハ大いニ贊成モシ、援助モシテ行キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ今申シマシタヤウナ譯デ法文系統ノ大學ト云フモノハ、今日ノ儘デハ殆ド學生ガ無クナルヤウナ狀態ニナリマスノデ、是ハ官私ヲ問ハズ法文系統ノ大學ヲ如何ニスルカト云フコトニ付シニ、文科ノ專門學校ナドモ定員ガ二分ノ一ニナルカラ、當然起ツテ來ナケレバナラヌ又問題デアラウト思ヒマス、コ、デーツ政

ノ四月ノ時期ニ私立大學カラ自發的ニ専門

學校へ轉身スル學校ハ、名前ヲ聞カセトハ
申シマセヌガ、大體ドノ位ノ數ニ上ツテ居

ルカ、更ニ此ノ四月一日ニ統合サレル學校

ノ數ハ、全體ノドノ位ノ數ニ上ツテ居ルカ、
更ニ此ノ私立大學ノ統合ハ自發的的意思デア

リ、教育ノ傳統ヲ重ンジテヤツテ行クト云

フ大臣ノ御方針ハ、極メテ結構デアルト思

ヒマス、併シナガラ東京、大阪、神戸、北

九州ト云フヤウニ、今度ノ疎開區域トシテ

指定サレタ學校ノ統合問題ト、他ノ土地ノ

學校ノ統合問題トハ、緩急其ノ差ガアラウ

ト思フノデアリマス、私ハ疎開ノ第一著手

ハ官廳ト學校、是ガ一番大キナ問題ニナツ

テ來ルノデヤナイカト思フ、隨テ其ノ統合

問題ガ自發的ニト云フコトハ尤モデアリマ

スガ、前ニ申シマシタ四大地方ニ於ケルヤ

ウナ、疎開區域トシテ内務省カラ指定サレ

タ所ノ學校ノ統合問題ハ、又別個ニ扱ハナ

ケレバナラスト思フノデアリマスガ、是等

ノ三ツノ點ニ關シマシテ御答辯ヲ煩ハシタ

イト思フノデアリマス

○藤野政府委員 只今水谷サンカラ文科系

ノ大學デ轉換ヲスルモノト統合セラレルモ

ノニ付テ、學校ノ名前ハ聞カヌガ、數ダケ示シ

テ吳レト云フ 御話デゴザイマシタガ、

只今ノ所之ヲ申上ゲルマデニ至ツテ居

リマセヌノデ、此ノ點ハ一ツ御許シヲ願

ヒタイト思ヒマス、ソレカラ疎開ノ爲ニ

ハ是ハ別ニ考ヘテ然ルベキデヤナイカ

ト云フ御話デアリマスガ、是ハ御尤モト

ヤウデアリマスガ、又別個ニ之ヲ防空法

其ノ他ノ關係ニ於キマシテ、疎開ニ付テハ

學校、或ハ公共團體、公共ノ色々ノ建物等

ニ付テ、別途ニ又考ヘラルベキ筋合デゴザ

イマシテ、是等ハ只今別ニソレノノ協議

機関等モ設ケ、内閣ニ疎開實行本部ト云フ

ヤウナモノガアリマシテ、文部省ト致シマ

シテハソレ等ト連絡ヲ執ツテ、別ニ考究ヲ

進メテ居ルト云フコトニ存ジテ居リマス

○水谷委員 次ニ大臣ニ今御伺ヒシタノ

デアリマスガ、適齡前ニ専門教育ヲ完了

スルト云フ方針ハ恒久的ノ方針デアリマス

カ、又ハ戰時のナ臨時措置トシテ御考ヘニ

ナツテ居ルカドウカト云フコトヲ御聽キシ

タイト思ヒマス、即チ十九歳マデニ専門教

育ヲ成ベク終ラセルト云フコトニナルト、七

歳カラ國民學校へ入り、直グニ入學試験ニ

及第シテ中學校へ入り、專門學校ニ行ク、是

デハイニナツテ來ル、先日同僚委員ノ質

問ニ對シテ、國民學校ノ年齡ヲ場合ニ依ツ

テハ引下ゲルト云フコトヲ言ツテ居ラレタ

ノデアリマスガ、是ハ單ニ戰時のナ臨時措

置トシテサウ云フコトヲ御考ヘニナツテ居

ルカ、或ハ又教育ノ大所高所カラ立テタ根

本的方針トシテサウ云フコトヲ御考ヘニナ

ツテ居ルノカ、更ニ又國民學校ノ入學年齡

ノ一ツ引下ゲルト云フヤウナコトモ、是モ

久策トシテ御考ヘニナツテ居レバ、當然國

民學校入學年齡ノ引下ニ伴ウテ、其ノ豫備

ト云フ御話デアリマスガ、サウ云フ特殊ナ私立經營ニ任ジテ

居リマスガ、此ノ國民教育年齡ヲ引下ゲル

ト云フコトニナレバ、幼稚園ト云フモノノ整備、或ハ是ト文部省トノ關係ト云フモノ

モハツキリ考ヘラレナケレバナラヌト思フ

ノデゴザイマス、私ハ現在戰フ日本ト致シ

マシテ、戰時のナ臨時措置トシテ、或ル程

度教育ノ場面ニ於テモ影響ガ現ハレテ來ル

コトハ已ムヲ得ナイコトデアラウト思ヒマ

ス、ソレト共ニ此ノ文教ノ問題ニ關シマシ

テハ、モウ少シ高イ所カラ長イ眼デ見ナケ

レバナラヌト思フノデアリマス、十九歳デ

スルト云フ方針ハ恒久的ノ方針デアリマス

カ、又ハ戰時のナ臨時措置トシテ御考ヘニ

ナツテ居ルカドウカト云フコトヲ御聽キシ

タイト思ヒマス、即チ十九歳マデニ専門教

育ヲ成ベク終ラセルト云フコトニナルト、七

歳カラ國民學校へ入り、直グニ入學試験ニ

及第シテ中學校へ入り、專門學校ニ行ク、是

デハイニナツテ來ル、先日同僚委員ノ質

問ニ對シテ、國民學校ノ年齡ヲ場合ニ依ツ

テハ引下ゲルト云フコトヲ言ツテ居ラレタ

ノデアリマスガ、是ハ單ニ戰時のナ臨時措

置トシテサウ云フコトヲ御考ヘニナツテ居

ルカ、或ハ又教育ノ大所高所カラ立テタ根

本的方針トシテサウ云フコトヲ御考ヘニナ

ツテ居ルノカ、更ニ又國民學校ノ入學年齡

午後六時五分散會

○岡部國務大臣 御質問ノ點ハ、大體ニ於

テ臨時措置トシテ御考ヘニナツテ居レバ

アリマスカ、キリス

ト教カ、サウ云フ特殊ナ私立經營ニ任ジテ

マス、本日ハ是ニテ散會致シ、明日ハ午前

十時ヨリ開會致シマス

○水谷委員 爾餘ノ質問ハ留保致シマス

○小柳委員長 水谷君、マダアリマスカ

レデ結構デアラウト思ヒマス、ソレ以上之

ニ對スル私ノ質問ハ致シマセヌ

○水谷委員 臨時措置トシテナラバ私ハソ

レデ結構デアラウト思ヒマス、ソレ以上之

ニ對スル私ノ質問ハ致シマセヌ

○小柳委員長 水谷君、マダアリマスカ

レデ結構デアラウト思ヒマス、ソレ以上之

ニ對スル私ノ質問ハ致シマセヌ

○水谷委員 爾餘ノ質問ハ留保致シマス

○小柳委員長 ソレデハ明日ニ御願ヒ致シ

マス、本日ハ是ニテ散會致シ、明日ハ午前

十時ヨリ開會致シマス

○水谷委員 爾餘ノ質問ハ留保致シマス

○小柳委員長 ソレデハ明日ニ御願ヒ致シ

マス、本日ハ是ニテ散會致シ、明日ハ午前

十時ヨリ開會致シマス

○水谷委員 爾餘ノ質問ハ留保致シマス

○小柳委員長 ソレデハ明日ニ御願ヒ致シ

マス、本日ハ是ニテ散會致シ、明日ハ午前

昭和十九年一月二十八日印刷

昭和十九年一月二十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局